

1180
第一九號

第三十六師團編成詳報

第三十六師團司令部

陸軍省
軍事機密

陸軍省
陸滿機密第一三號

陸軍省
13.2.16
衛生課

陸軍省
13.3.8
衛生課

陸軍省
13.2.19
衛生課

陸軍省
13.2.6
衛生課

陸軍省
13.2.16

陸軍省
13.2.7
衛生課

陸軍省
13.2.7
衛生課

陸軍省
13.2.3
軍事機密

陸軍省
13.2.18

陸軍省
昭和十三年
13.1.31
前午
衛生課

陸軍省
13.2.2
防備

陸軍省
13.2.2
衛生課

0812

軍事機密

第二十六師團編成詳報

第二十六師團司令部



第二十六師團編成（編制改正）詳報

第一、編成（編制改正）前、態勢

一、獨立混成第十一旅團一部、編制改正

獨立混成第十一旅團一部、編制改正中ニシ

テ昭和十三年三月ヲ以テ編成ヲ完結スル豫定

ナリキ

二、旅團ハ應急旅兵ヲ資給ニ北支ニ出勤ス

一、旅團ハ七月八日夜在錦縣獨立歩兵第十二聯

隊、主力及獨立野砲兵第十一聯隊ヲ應急旅

兵ニ準スル編成ヲ以テ山海關ニ前進待機セ

シムルト共ニ爾後ノ群下部隊ヲシテ應急旅
兵ヲ準備セシム

2. 旅團主力ノ應急派兵

七月十一日午前八時關參ハ電一三五ヲ以テ
關作命第一〇四一號要旨ヲ受領シ同日午後
八時三十分派兵業務ヲ完結ス

3. 旅團ハ七月十二日ヨリ滿支國境ヲ通過シ平
津地方ニ前進シ北支駐屯軍司令官ノ指揮ニ
入ル

三. 旅團ハ應急動員ヲ實施シ派兵部隊ヲ増強ス

七月十四日午後一時三十分左ノ命令ヲ受領ス

關參ハ電六七六

(一) 應急動員ノ要領ニ準テ應急派兵ヲ増強スヘ

之

(二) 増強着手第一日ヲ七月十五日トス

七月十七日午後七時動員ヲ完結シ追及部隊ハ

逐次前進シ二十四日迄ニ主力ニ追及シ之ヲ増

強セリ

四 旅團主力ハ高麗營及其ノ附近ニ集結ス

旅團主力ハ十九日ヨリ二十四日迄ニ高麗營及

ニ

其ノ附近ニ集積ヲ終ル

五 旅團出勤人馬ノ状況 附表第一ノ如シ

六 旅團残留人馬ノ状況 附表第二ノ如シ

七 北平西北方地區ニ轉戦シ次テ南口附近ヲ攻略
ス

旅團八七月二十六日高麗營^{附近}ヲ出發シ清河鎮附

近ヲ攻撃シ三十日八寶山北方地區ニ進出ス

月十日ヨリ南口附近ヲ攻撃シ二十日八達峯附

近ヲ突破シ延慶ニ入り次テ主力ヲ以テ張家口

附近ニ前進ス

更ニ旅團ノ大部ヲ擧ケテ篠原兵團及本多兵團
ニ配屬セシメラル

八前項戰鬥ニ於ケル人馬ノ死傷附表第三ノ如シ

九補充人馬ノ狀況附表第四ノ如シ

十編成（編制改正）直前ニ於ケル人馬ノ狀況附
表第五ノ如シ

十一編成（編成改正）直前ニ於ケル各部隊ノ態勢
附圖ノ如シ

第二編改（編制改正）實施ノ景況

一編改（編制改正）着手

(1) 十月二日午後九時左ノ電報ニ接ス

關參ハ電七四〇

九月三十日軍令陸甲ニ四ヲ以テ貴旅團ヲ第

二十六師團ニ編改改正ノ件發令セラル

約部ハ三日貴地ニ到着スヘキ吉井少佐ニ就

キ承知セラル度

(2) 之カ爲先ツ左ノ如ク處置セリ

(1) 直ニ各部隊ノ現在人馬數（人員ニアリテ

ハ役種階級特業別、馬匹ニアリテハ用役別
 一ノ調査ニ著手セリ

(四) 三日夜幕僚及各部長會同吉井少佐ノ説明
 ヲ聽取之編成(編制改正)ニ關スル大綱
 ヲ把握之各主管事項ニ關スル研究ヲ遂ケ
 タリ

(五) 四日關東軍參謀原田中佐來張左ノ書類ヲ
 受領ス

滿洲派遣第二十六師團總攻要領

同

細則

桂洲旅遣第二十六師團編成ニ關スル規定
 (一) 同日主任參謀宮永少佐ヲ原田參謀ト同行
 大同ニ派遣シ隷下各部隊ニ連絡セシメ編
 成ニ着手セシム

然ルニ各部隊ハ何レモ大原方向ニ攻撃
 前進中ニシテ大同附近ニ主力ヲ集結シ
 テ爾獨立歩兵第十一聯隊長ニ連絡シ得
 タルニ過キス

通信連絡モ亦充分ナラサルモノアリ

二編成(編制改正)ニ關シ各部隊ノ行動ヲ統制

指導ニノカム

(1) 五日滿洲派遣第二十六師團編成ニ關スル細部ノ規定ヲ制定ス

該規定別冊第一ノ如シ

(2) 六日京田關東軍參謀末張軍ノ方針ヲ聽取ス

編成上ノ方針

不編成細則第五條ノ要旨

只獨歩十三編成ノ為^{步兵}兩聯隊ヨリ建制一大隊

通信步兵砲ノ一部及其他人馬ノ差出ニ關

シ軍ニ於テ之ヲ規定ス

八師團長、到着ヲ以テ司令部ノ編成完結ト
見做ス

ニ現在人馬ヲ以テ編成ノ基礎確立ヲ以テ編
成完結ト見做ス

(3) 八日宮永參謀ヲ承德ニ派遣シ殘留隊長ニ對
シ指示セシムルトコロアリ

三、整備人馬ヲ軍ニ請求ス

八日整備人馬ヲ軍ニ請求ス

其ノ整備區分表別冊第二ノ如シ

本整備人員ノ調製ニ當リ各部隊ニ連絡ニ得タル

六

八兩歩兵聯隊ト輜重兵中隊ノミニシテ他ハ平
素ノ調査ヲ基礎トセリ

編成要領細則第五條

要領第四條ニ依リ編成又ハ編制改正スヘキ
部隊中(砲)隊長等ノ要員ニハ努メテ現獨立隊
成第十一旅團(獨立山砲兵第
十二聯隊ヲ除ク)ノ尉官ヲ以テ之ニ
充テ整備人員中ノ大(中)尉要員ノ請求ヲ最小
限度ニ止ムルモノトス

茲ニ於テ充足要員ヲ得サル者ヲ生セリ
其ノ缺員ノ狀況附表第六ノ如シ

四、將校各部將校職務命課意見ヲ軍司令官ニ上申ス

七日夜遜ク關人一九ニテ以テ陸軍大臣配屬者決定シタルヲ以テ八日將校各部將校職務命課意見ヲ軍司令官ニ上申ス

十月十日關參編第一一六號ヲ以テ附表第七ノ如ク内報セラル

五、戰鬪司令所要員ヲ大同ニ前進セシム

小林參謀、中山副官、其他要員ハ十一日張家口ヲ出發シ大同ニ前進シ準備セシム

六少尉候補者配屬セラル

十一日午後十一時左ノ要旨ノ電報ヲ受領ス
 關人ニ二六

近ク任官豫定ノ少尉候補者ヲ任官ノ際現在編
 成中ノ部隊ニ左記ノ如ク定員内ニ命課セラル
 ル豫定

千田、吉岡各部隊附ニ一名宛、久野村、入江各部
 隊ニ二名宛

右ハ現ニ在隊スル少尉候補者三名ノ外増加セ
 ラルモノニシテ新配屬者ノ氏名ハ内報セラレ

又
七師團長等著作又

十二日師團長後宮中將ハ參謀長白銀中佐參謀
 黒田少佐及高級副官鈴木中佐ヲ從ヘ午後一時
 張家口ニ到着直ニ鈴木中將ト職務ヲ交代シ午
 後三時張家口ヲ出發シ再ヒ飛行機ニ依リ午後
 五時大同ニ到ル

八第二十六師團司令部 第二十六師團歩兵團司
 令部 第二十六師團通信隊編成ヲ完結ス
 十二日午後三時兩兵團長引継ノ時機ヲ以テ師

團司令部 歩兵團司令部 師團通信隊ハ現在
部隊ヲ以テスル編成ヲ完結セルヲ以テ軍司令
官ニ報告セリ

又師團長大同到着ノ時ヲ以テ獨立混成第十一
旅團ハ其ノ指揮ニ入レリ

九將校職務命課ノ件

十四日午前九時左ノ電報ニ接ス

關參一電八六六

第二十六師團ノ將校各部將校（准士官ヲ含ム）
高等文官ノ職務ハ左記ノ外十月十日關參編第

一六號内報ノ通り命課ス(十月五日附)

(1) 獨歩十二附 矢野軍醫中佐ヲ田代軍醫ニ

獨歩十三附 田代軍醫中佐ヲ矢野軍醫ニ更

更ス

(2) 獨野砲十一 各口軍醫大尉ヲ定員外トナシ

獨歩十一附 軍醫大尉ヲ獨野砲十一附ニ更

更ス

十. 編成地及編成擔任官變更ニ關シ申請ス

十月十五日發二六師參電第八四號要旨

獨立歩兵第十三聯隊(第二大隊欠)ヲ大同ニ於テ

編成之千田部隊長ヲ編成擔任官ニ同第二大隊
ヲ張家口ニ於テ編成シ奈良部隊長ヲ編成擔任
官ニ變更致度申請ス

理由一編成、為大同附近ヨリ張家口ニ兵力ヲ
派遣ニ得サル狀況ニ在リ

ニ編成完結後大同附近ニ移駐スル關係上
收容設備ノ重複ヲ避クルヲ得

之ニ對シ編成地ノ變更ニ認可セラレタルニ編
成擔任官ノ變更ハ認可セラレサリキ
土編成業務ヲ一時中止シ討代ヲ敢行ス

各部隊ハ十月十七日ヲ以テ編成ヲ完結スル如ク諸般ノ業務順調ニ進歩シ得タルモ第五師團後方部隊ハ蔚縣廣靈附近ニ於テ敵ノ爲包圍攻撃ヲ受ケツ、アリ速ニ救出スルノ要アルヲ以テ編成業務ヲ一時中止シ出勤セリ

其大臣配屬者ハ全員到着ス

大臣配屬者二十八名ハ十月二十二日ヲ以テ全員到着ニ編成ニ入レリ

其編成ヲ完結ス

討伐部隊ハ二十三日ヨリ二十四日ニ亘リ逐次

歸還ニ諸報業ヲ進捗ニ二十五日午後一時
現地部隊ヲ以テスル編成ヲ完結セリ
完結時ニ於ケル人馬ノ状況附表第八ノ如シ

第三 將來ニ關スル意見

師團ハ戦闘中編成（編制改正）セシテ以テ幾多ノ支障困難アリシト雖軍ノ適切ナル指導援助ニ依リ概テ順調ニ之ヲ完結シタルモ若干ノ意見ヲ述フレハ左ノ如シ

一 當師團ハ戦地出勤中ニ編成セラレタルモノナルヲ以テ戦闘遂行ヲ主眼トセサルヘカラス然ルニ衛生隊野戦病院ヲ缺キ行李段列特ニ師團輜重ノ編成困難ナルモノアリシカ如キ或ハ多数ノ缺員ヲ存置シタルカ如キハ右ノ趣旨ニ副

ハサルモノト認メラル

二 指揮ノ轉換ニ就テ

編成(編制改正)ニ方リ其ノ完結時ヲ以テ第

二十六師團ハ成立シタルニ師團長著任ト同時

ニ旧旅團ヲ解消シ師團ヲ成立セシムルヲ現状

ニ即應セル處置ト謂フヘシ

今次ノ編成改正ニ方リテハ混成第十一旅團長

ハ依然存在シ編成完結ト同時ニ師團ノ成立ヲ

見タル次第ナリ

三 今次ノ編成改正ハ諸般ノ事情ニ依リ其ノ發令

ノ遅延シタルハ止ムヲ得サルトコロナルヘキ
 之勉メテ餘祐ヲ存スル如ク指示セラル、コト
 必要ナリ

例ハハ編成着手第一日ノ二日前ニ漸ク編成要
 領ヲ受領ス而モ旅團ハ戦闘中ニシテ其ノ大部
 ハ他兵團ニ配屬セラレ其ノ状況本冊附圖ノ如
 クニシテ通信連絡甚ク困難ナル為調査上支障
 ヲ受ケタルコト多シ

四 滿洲旅遣第二十六師團編成要領及同細則中檢
 討ヲ要スル事項左ノ如シ

歩兵部隊編成中

歩兵砲隊編制定員一四七名ナルモ

聯隊砲中隊及速射砲中隊ヲ編成スル爲ニ三四名ヲ必要トス

(之ニ對シ師團ハ若干ノ補備教育ヲナシ又對蘇作戰以外ニ於テハ速射砲ノ編成ヲ小ナラシムル等ノ方法ヲ採リツ、アリ)

之輜重隊編成中

自動車中隊兵器定数表中 自動貨車 三〇

車 輜中隊兵器定数表中 輜重車 六〇

共ニ過小ナリ 即チ戦場ニ位置セル當師團ハ
 微備ヲ絶對ニ許ササルモノアルヲ以テ平時定
 数即チ戰時定数タラサルヘカラス

然レトモ軍ノ配慮ニ依リ自動貨車六口輛ヲ配
 屬セラレ此ノ點ヲ大ニ緩和セラレタルモ師團
 ハ目下相當部隊ヲ分散シ各所ニ討伐ヲ實行シ
 アル為各地區ニ若干ノ自動車ノ配屬ヲ要スル
 ヲ以テ之カ分屬ヲ行ハ、依然師團輜重ノ編成
 ハ困難ナルノ状況ニアリ

五 編制ト訓練ニ就テ

例　ハ步兵中隊ノ編制定員八一九三名ナルヲ
 中隊定数ノ兵器器杖ノ性能ヲ遺憾ナク發揮シ
 操典草案ノ法則ヲ實行セシカ爲ニハ二〇五名
 ヲ要スヘシ

而シテ一九三名ヲ有スル現制中隊ニ於テモ指
 揮機關　行李監視員　本部要員等ヲ控除セハ
 一六〇名若クハ其以下トナリ常ニ不徹底ナル
 編成ヲ以テ戦闘セサルヘカラサル不利アルヲ
 以テ當師團ノ如キハ編成定員ヲ増加スルカ又
 ハ小ナル編成ヲ基礎トスル戦闘法ヲ採用スル

カ何レカニ徹底スルヲ可トセン

六 整備師團ハ速ニ連名簿ヲ送付シ輸送指揮官ヲ

シテ適時其ノ位置ヲ連絡セシムルヲ可トス

(未到著ノモノアリ之ヲ以テ兵員ノ分配ニ著シ

ク困難セリ)

附表第八

獨立混成第十一旅團出動人員一覽表

備考	計	獨立輜重兵第十大隊	獨立工兵第十中隊	獨立砲兵第十聯隊	獨立騎兵第十一聯隊	獨立騎兵第十中隊	獨立步兵第十聯隊	獨立步兵第十中隊	獨立步兵第十聯隊	計	階級			別種馬	
											大將	中將	少將		馬
	1									1	大將				
	2						1	1			中將				
	4			1	1		1	1			少將				
	20	1		1	2	1	5	5		5	大尉				
	41	1	1	6	5	1	9	14		4	中尉				
	103	3	2	14	3	3	42	36		4	少尉				
	92	3	3	4	8	2	43	29		9	中尉				
	107	2	1	8	8	2	40	37		9	少尉				
	358	10	7	24	23	12	134	147		1	大尉				
	680	20	24	64	60	16	265	231			大尉				
	2807	81	103	283	280	117	998	945			大尉				
	4215	121	141	405	390	154	1538	1446	20		計				
	9			1	1	2	3	1	1		大尉				
	6	1	1	1	1			1	1		大尉				
	2			1	2	1	2	2	2		大尉				
	11		1	1	2	1	2	2	2		大尉				
	3	1	1		1	2	5	3	4		大尉				
	18	1	2		1	2	1	1	1		大尉				
	3			1	1	1	3	3	1		大尉				
	12	1	1	1	1	1	4	4	1		大尉				
	1			2	3	1	10	11	1		大尉				
	17	1	1	3	2	1	16	16	1		大尉				
	29	1	1	3	3						大尉				
	40	1	1	3	3						大尉				
	1			1	1	1	1	1	1		大尉				
	6			2	1	1	1	1	1		大尉				
	8	1		1	1	1	1	1	1		大尉				
	4			2	3	2	2	2	4		大尉				
	19	1	1	7	4	1	10	22	12	32	大尉				
	100	7	5	7	4						大尉				
	2	2									大尉				
	291	18	15	24	23	13	58	67	73		計				
	4506	139	156	429	413	167	1596	1513	93		計				
	434	51	9	22	119	165	19	15	34		馬				
	530	160			210		38	33	89		馬				
	383			230		20	70	60	3		馬				
	1347	211	9	252	329	185	127	108	126		計				
											馬				
											馬				
											馬				
											馬				
											馬				
											馬				
											馬				
											馬				
											馬				

附表第二

獨立混成第一旅團殘留人員一覽表

備考	計	獨立混成第一旅團	獨立混成第二旅團	獨立混成第三旅團	獨立混成第四旅團	獨立混成第五旅團	獨立混成第六旅團	獨立混成第七旅團	獨立混成第八旅團	階級		部
										將	尉	
一本表中心左、幹部候補生ヲ含ム 獨立第一—三十六名 獨立第二—三十八名	1									1	尉	兵
	2									1	尉	兵
	2									1	尉	兵
	8									2	尉	兵
	12									1	尉	兵
	9									2	尉	兵
	37									1	尉	兵
	82									2	尉	兵
	469	6	6	24	8	10	170	245				計
	622	6	9	30	20	17	225	313	2			計
	1									1	尉	兵
	8									1	尉	兵
	1									1	尉	兵
	1									1	尉	兵
	11									11	尉	兵
6									5	尉	兵	
29	2		2	2		2	2	19			計	
651	8	9	32	22	17	227	315	21			計	
10	滿	日	滿	日		滿	日				別	
15	13					2					種	
11			1	10							馬	
36	19			11			6				計	

0840

附表第三

昭和十二年 自七月十日 至十月十四日 人馬損傷表

合計	獨逸軍第1聯隊			獨逸軍第2聯隊			獨逸軍第3聯隊			獨逸軍第4聯隊			獨逸軍第5聯隊			獨逸軍第6聯隊			獨逸軍第7聯隊			獨逸軍第8聯隊			獨逸軍第9聯隊			獨逸軍第10聯隊			合計			人員	
	病	傷	死	病	傷	死	病	傷	死	病	傷	死	病	傷	死	病	傷	死	病	傷	死	病	傷	死	病	傷	死	病	傷	死	病	傷	死		病
318	135	84	99	2	1		16			15	1	2	3	8	5	4				61	52	62	34	22	30									降以日十月	
710	118	461	131	4			7	18	3	17	4	3	9	8	1	22	1	1	25	262	97	33	168	26	1								月入		
166	96	66	4				5	7		2			16	9		9			34	7		27	41	4	3	2						月九			
1194	349	611	234	6	1		28	25	3	34	5	5	28	25	6	35	1	1	120	321	159	94	231	60	4	2						計			
																																		摘要	
656	522		134	54		10	7		2	142		35	71		22	63		4	72		35	66		23	29		3					起日十月			
																																		馬	
																																		要	

三三三
本本本
表表表
七七七
馬馬馬
死死死
七七七
馬馬馬
病病病
六六六
算算算
入入入
シシシ
カカカ

補充人員狀況

合計	獨立步兵第1聯隊			獨立步兵第2聯隊			獨立步兵第3聯隊			部隊階級
	地内	地内	地内	地内	地内	地内	地内	地内	地内	
	第1回	第1回	第1回	第1回	第1回	第1回	第1回	第1回	第1回	
27				14		2	8		3	尉(少)中
12				6	2	1	1		2	尉准
11			2	6		2			1	長曹
80	1			24	13	11	15	11	5	(長伍)曹軍
141	5	2	4	35	20	13	25	20	17	兵等上
668	14	8	16	179	100	170	109	100	72	兵等(一)
939	20	10	22	264	135	99	158	131	100	計
1						1				官尉醫軍
2				2						兵等上生衛
3				2		1				計
942	20	10	22	501			389			計合

附表第五

獨立旅隊第十一旅團人員一覽表

備考	計	獨立重砲兵連隊	獨立工兵第一中隊	獨立砲兵第一聯隊	獨立騎兵第一中隊	獨立騎兵第二中隊	獨立步兵第一聯隊	獨立步兵第二聯隊	獨立步兵第三聯隊	部	
										隊	階級
	1									1	將
	3									1	佐
	4			1	1					1	佐
	22	1		1	2	1	6	6	5	5	尉
	43	1	1	6	6	1	9	14	5	5	尉
	112	3	2	14	5	3	44	40	1	1	尉
	104	3	3	6	9	3	46	34			尉
	116	2	1	8	8	2	44	42	9	9	尉
	395	10	8	25	25	13	148	165	1	1	尉
	1762	20	26	67	66	21	296	266			尉
	3376	27	109	307	288	127	1168	1290			尉
	4938	127	150	435	410	171	1763	1859	23	23	尉
	9			1	1	2	3	1	1	1	尉
	6	1	1	1	1			1	1	1	尉
	3								2	2	尉
	11		1	1	2	1	2	2	2	2	尉
	3	1	1						1	1	尉
	26	2	2	2	3	2	6	4	5	5	尉
	3						1	1	1	1	尉
	13	1	1	1	1	1	4	3	1	1	尉
	1								1	1	尉
	17	1	1	2	3	1	4	4	1	1	尉
	29	1	1	3	2	1	10	11			尉
	31	1	1	3	3	-	12	11			尉
	1								1	1	尉
	6			1	1	1	1	1	1	1	尉
	8	1		2	1	1	1	1	1	1	尉
	5								5	5	尉
	19								19	19	尉
	49								49	49	尉
	240	9	9	17	18	10	44	41	92	92	尉
	5178	136	159	452	428	181	1807	1900	115	115	尉
	281	14	5	22	21	161	19	19	20	20	尉
	590	196			219		38	35			尉
	302		4	230		8	70	60			尉
	1242	210	9	252	290	169	127	114	20	20	尉


0843

附表第六

第三大組團整備人員中缺員(充足要員)一覽表

師團司令部	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第一師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第二師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第三師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第四師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第五師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第六師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第七師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第八師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第九師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一
第十師團	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一	大尉 一

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="496 521 965 772"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2	3	4		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため				
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>〇 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>					

附録

第三十六師團將校各部將校名簿

昭和十二年十月二十五日
第三十六師團司令部

師團司令部
師團長 中將 後宮 淳
參謀長 參謀 白銀重二
參謀 三航中佐

司令部
司令官 少佐 黒田重徳
副司令官 大尉 清本卓一
大尉 石川常吉

獨立歩兵第十一聯隊
隊長 大佐 千田貞雄
副隊長 少佐 福永勇吉
中尉 杉山義次
少尉 有田清樹
少尉 岩根清夫
少尉 木村雄三郎
少尉 欠一
少尉 欠二
少尉 三浦善吉

獨立歩兵第十二聯隊
隊長 大佐 奈良 晃
副隊長 少佐 小西秀雄
中尉 坂田善市
少尉 吉田修一
少尉 津川直志
少尉 堀本義晴
少尉 松田健太

獨立歩兵第十三聯隊
隊長 中佐 久野村桃代
副隊長 中尉 小野田善三郎
少尉 欠一
少尉 欠二
少尉 西川政一
少尉 柳村寛英

計
主計 大尉 関八洲
主計 中尉 高木卓一
主計 中尉 欠一
主計 中尉 欠二

計
主計 大尉 中嶋嘉之吉
主計 中尉 本宮十介
主計 中尉 欠一
主計 中尉 欠二

計
主計 大尉 沖山文明
主計 中尉 藤森鼎一
主計 中尉 欠一
主計 中尉 欠二

計
主計 大尉 矢野甚一
主計 中尉 青野三郎
主計 中尉 近森重治
主計 中尉 岡本若男

計
主計 大尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 山口達春
主計 中尉 桐谷幸昌
主計 中尉 大関恒雄
主計 中尉 棚田儀平
主計 中尉 田中勇
主計 中尉 岸良優
主計 中尉 堀地興次郎
主計 中尉 堀口磯二
主計 中尉 金田精治

計
主計 大尉 宇根本四六
主計 中尉 柳澤幸三郎
主計 中尉 西村堂吉
主計 中尉 欠一
主計 中尉 欠二
主計 中尉 欠三
主計 中尉 欠四
主計 中尉 欠五
主計 中尉 欠六
主計 中尉 欠七
主計 中尉 欠八
主計 中尉 欠九
主計 中尉 欠十

計
主計 大尉 下芝作造
主計 中尉 泉條英次
主計 中尉 西塚宗太郎
主計 中尉 小竹兵一郎
主計 中尉 岡野勝江
主計 中尉 下里直見
主計 中尉 三

計
主計 大尉 常岡 昇
主計 中尉 山本義雄
主計 中尉 椿攻 茂
主計 中尉 大島良秀
主計 中尉 堀谷健太郎
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

計
主計 大尉 坂本相良
主計 中尉 石川正市
主計 中尉 菅攻清次
主計 中尉 高田正一
主計 中尉 細見慎一
主計 中尉 加藤守正
主計 中尉 三

<p>第三十六師團司令部 獨立野砲隊第二聯隊</p> <p>隊長 岩田文三 副官 細谷豊 騎少佐 赤澤信雄 大尉 久二 中佐 一 主計 吉尾信義 軍醫 渡邊忠 獸醫 小川忠司 第一中隊長 豊田朝一郎 騎中尉 榎澤邦男 同 篠尾秀明 中佐 一 第二中隊長 豊 第三中隊長 池田 豊 中佐 三 計 一 整備豫定計 七名 欠 二名</p>	<p>隊長 入江莞爾 副官 相川聖吾 中尉 相川聖吾 少佐 相川聖吾 大尉 久二 中佐 久二 主計 久二 大尉 久二 中尉 久二 少尉 久二 大尉 久二 中尉 久二 少尉 久二 大尉 久二 中尉 久二 少尉 久二</p>	<p>大隊附 三 大隊長 三 中隊長 三 大尉 功 中尉 功 少尉 功 大尉 功 中尉 功 少尉 功 大尉 功 中尉 功 少尉 功 大尉 功 中尉 功 少尉 功</p>	<p>大隊附 三 大隊長 三 中隊長 三 大尉 功 中尉 功 少尉 功 大尉 功 中尉 功 少尉 功 大尉 功 中尉 功 少尉 功 大尉 功 中尉 功 少尉 功</p>
--	--	--	--

備考

一本表中(五下)八上(下)級職ヲ欠ハ欠員ヲ示ス


二定員外トアルハ重傷入院中ノ者ヲ示ス

三整備豫定トアルハ近ク在郷者ヲ以テ充足セラレ、モノナリ

<p>整備豫定計 二名 欠 二名</p> <p>大尉 小川勇次 中尉 吉西善四郎 副官 大尉 小川勇次</p>	<p>整備豫定計 五名 欠 一名</p> <p>大尉 久二 中尉 久二 少尉 久二 大尉 久二 中尉 久二 少尉 久二</p>	<p>整備豫定計 六名 欠 三名</p> <p>大尉 久二 中尉 久二 少尉 久二 大尉 久二 中尉 久二 少尉 久二</p>	<p>整備豫定計 七名 欠 一名</p> <p>大尉 久二 中尉 久二 少尉 久二 大尉 久二 中尉 久二 少尉 久二</p>
---	---	---	---

少佐	小出龍勇
同	欠一
大尉	欠二
少尉	杉山大藏
主計	
主任准尉	岩本周治
軍醫	
醫中尉	村上武夫
獸醫	
獸尉官	一
第一第二中隊	
中隊長	
大尉	坂井哲
中尉	萩原國雄
小隊長	
中尉	一
第三中隊	
中隊長	
中尉	寺田豊
小隊長	
中尉	三
計	九名
整備予定計	一八名
欠	三名

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1"><tr><td data-bbox="555 439 855 613">2</td></tr><tr><td data-bbox="555 613 855 788">1</td></tr></table>	2	1
2			
1			
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

備考	計	輜重第六聯隊現		第三師團通信隊現		工兵第二十六聯隊		獨立野砲隊第十聯隊		第三師團搜索隊現		獨立生隊第十聯隊		獨立步兵第十聯隊		獨立步兵第十聯隊	
		現	後	現	後	現	後	現	後	現	後	現	後	現	後	現	後
	1																
	3																
	11	1				1				2	1						1
	38	1				1				4	1						1
	42	1	1			2				6	1						5
	104	4	1			1				9	4						6
	88	2	1			3				9	3	7			13		18
	108	2	4			1				7	2			1	5		21
	387	10	3	1		8	1			41	18			1	2		29
	595	22	33			28		1		50	21	15		5	17		83
	160			1	4		1	3									140
	1132	35	39			39				58	50	12	40	15	50		77
	2448	57	3	4	10	74	2	15	207	77	27	107	546	2	144	479	23
	4708	135	85			158	3	19	394	178	39	169	1058	24	231	929	31
	11								3	1							2
	4	1				1			1								
	4					1			2	1							2
	13	1				1			1				2				
	35	2	1			2			2	2			6				6
	5												1				1
	13	1				1			1	1			3				3
	19		1			1			3	1			4				4
	24	1				1			2				4				9
	3												1				
	5	1				1			3								7
	22																
	1								1	1							1
	5	1							1								1
	2																
	13																
	30	7															
	2	2															
	221	10	2			9			20	9			29				36
	4929	152	87			189			436	187			1295				1220
	491	51	2	3		6			119	165	25	14	25	14			20
	766	130	22						210		702	22	106	18			96
	68										16		16				16
	1328	211	27			9			339	125			179				179

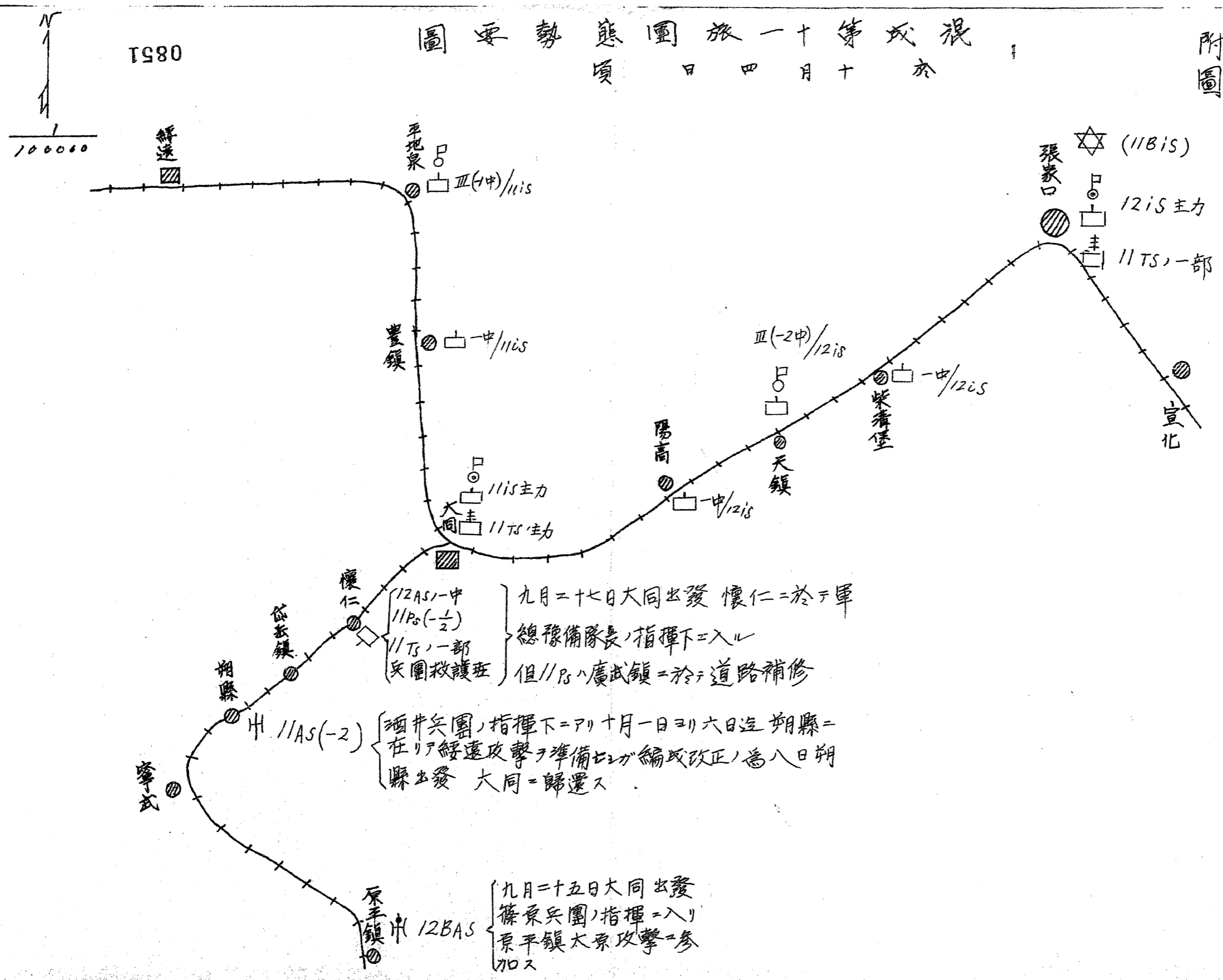
判任文官一三八、秘書二、教習查三、通譯生四、技士四トス
 獨立山砲隊第十聯隊、編成、變化トモトス
 職員表三、將校、定員外ハ本表ニ算入ニアラズ但獨立步兵隊高申尉ノ退院者ヲ以テ之ヲ含ムモノトス

編成完結時ニ於テノ人員一覽表

獨立駐屯隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	獨立步兵隊	部		計
														階級	種	
現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現
2	1		2			1								1	1	1
4	1		4			1								2	2	2
6	1		8			5								5	5	5
9	4		13			6								11	11	11
9	3		18			19								19	19	19
7	2		21			21								21	21	21
41	18		27			29								29	29	29
50	21		50			83								106	106	106
3			174			140								127	127	127
58	50	12	40			15								27	27	27
15	17	27	107			146								118	118	118
19	178	39	167			546								479	479	479
3	1		1058			24								31	31	31
1			1			2								2	2	2
2	1		2			2								1	1	1
1			2			2								3	3	3
2	2		6			6								8	8	8
1	1		1			1								2	2	2
3	1		3			3								1	1	1
3			4			4								1	1	1
2			4			4								9	9	9
3			1			1								7	7	7
1	1		7			7								7	7	7
1	1		1			1								1	1	1
1	1		1			1								1	1	1
														13	13	13
														22	22	22
20	9		29			36								35	35	35
436	187		1295			1220								7	7	7
														86	86	86
119	185	25	14			25								3	3	3
210	20	702	22			106								22	22	22
		16				16										
329	125		179			179								3	3	3
														22	22	22

混成第十一旅團態勢要圖
 於十月四日頃

附圖



軍事機密彙編 第五冊

滿洲派遣第二十六師團編成ニ關スル細部ノ規定

第六混成旅團司令部

数	紙	昭和十六年十月五日 編製年月日
附表	本表紙共	
三枚	七枚	

獨逸軍務第四號

滿洲派遣第三十六師團編成ニ關スル細部ノ規定ノ件達

隷下各部隊

滿洲派遣第三十六師團編成ニ關スル規

定別冊ノ通り定ム

昭和十二年十月五日

獨逸混成第十六旅團長鈴木實康

滿洲派遣第二十六師團編成ニ關スル細則ノ規定

第一條 本規定ハ軍令陸甲第二十四號滿

洲派遣第二十六師團編成要領以下略稱陸滿

機密第 肆同細則以下略稱及ヒ關參編第

一一〇號滿洲派遣第二十六師團編成ニ關

スル規定以下規定ニ據リ難マ事項ノミヲ

規定スルモノトス

第二條 各部隊ノ編成(編制改正)ハ

要領第四條ニ據リ昭和十二年十月五日
 王リ著手シ獨ニ完成第十(旅團ノ現在
 人馬及陸軍大臣ノ特ニ配屬スルモノ
 ヲ以テ編成(編制改正)ノ基礎ヲ確
 立(基礎編成ノ完結)シ整備人馬ヲ
 以テ之ヲ補填シ以テ編成ヲ完結スル
 モノトス

基礎編成完結及編成完結日次附表第

一ノ如シ

第三條 編成又ハ編成改正部隊ノ要員

(數)トシテ軍司令官ノ符ニ配屬スル人

馬並其差出長分ノ細部ニ關シ規定(若

クハ統制)スルコト附表第六ノ如シ

第四條 編成又ハ編制改正部隊ノ要員

ハ各部隊ノ現在人員

至規定第四條ヨリ他部隊ニ轉入スル者ハ
ヲ除キ本項ニヨリ轉入スル者ハ

隊トシテ考慮シタル者應急動員ニ及
リ他部隊ニ轉入中ノモノヨリ合ハ
陸軍大臣配屬者ヲ

以テ充當シ其不足ハ軍規定第三様式
ニヨリ軍司令官ニ請求スルモノトス
之カ爲各部隊ハ十月七日迄ニ整備人
員整備區分表ニ通テ旅團長ニ提出ス
ルモノトス

幹部候補生入院患者ハ定員外トス

第五條 今次事変ノ爲徵傭(購買)シアル
人馬車輛ハ依然之ヲ管理シ置クモ本

編成（編制改正）ノ爲ノ要員ニ充當
セサルモノトス

第六條 各編成担任官ハ軍規定第九條

ニ基キ人員ニ在リテハ部隊別階級別

ニ馬匹ニ在リテハ部隊用^例役馬数ニ區

分シ編成完結後速ニ師團長及軍司令

ニ報告スルモノトス

第七條 戦用諸品ニ關シテハ軍規定第

十二條乃至第二十八條ノ如シ
 但第十八條ノ被服種秣其他物件ノ交
 付ニ關シテハ經理部長ヲシテ指示セ
 シム

第八條 各編成擔任官ハ編成又ハ編制

改正部隊將校各部將校上級職ヲ取ラシムルニ合ハスノ職務

命課意見ヲ軍規定附表第五様式ニ依

リ陸軍大臣配屬者決定後速ニ旅團長

第十條 各編成擔任官ニ上申スルモノトス
 第九條 各編成擔任官ハ編成改
 正ニ完結セハ直ニ其完結ヲ師團長及
 軍司令官ニ報告シ且將校各部將校^{准官}
 文官職員並人馬一覽表ヲ軍規定附表
 第五第六様式ニ依リ成ルヘク速ニ提
 出スルモノトス
 第十條 各編成擔任官ハ編成完結後七

日以内ニ繕成詳報三通ヲ師團長ヲ經
 テ軍司令官ニ提出スルモノトス
 第十條 本繕成又ハ繕成改正ノ爲所要
 ノ經費ハ師團長ヨリ軍司令官ニ申請
 スルモノトス之ヲ爲繕成擔任官ハ臨
 時軍事費ノ科目區分ニ依リ其所要^経費
 ヲ積算シ速ニ師團長ニ報告スルモノ
 トス

第十三條 要領附則第五號ニ依ル第二十

六師團各部隊ノ昭和十二年年度動員計

画ノ改変ニ關シテハ別ニ示ス

第十三條 滿洲派遣第三十六師團編成ニ關

スル細部ノ想定配布區分附表第三ノ

如シ

附表第一

基礎編成及編成完結豫定表

備考	第二十六師團							基礎編成完結	編成完結	
	師團司令部	步兵團司令部	獨立步兵第三聯隊	獨立步兵第二聯隊	獨立野砲兵第一聯隊	工兵第三大聯隊	第二十六師團通信隊			輜重兵第三大聯隊
	編成	同	編成	編成	編成	編成	同			
	成	右	改正	改正	成	成	右			
	昭和三十二年十月十日	昭和三十二年十月十日		昭和三十二年十月十日		昭和三十二年十月十日				昭和三十二年十月十日
	同	同		同		同				昭和三十二年十月十日
	上	同		同		同				昭和三十二年十月十日
	同	同		同		同				昭和三十二年十月十日
	同	同		同		同				昭和三十二年十月十日
	同	同		同		同				昭和三十二年十月十日

附表第二

編成(編制改正)要員(数)差出区分表

被配属部隊	配属人馬	差出部隊	到着日次	摘要
師團司令部	(軍規定附表第二)		獨歩共喜音	
歩兵團司令部	(歩兵司令部要員(調)等如之)		其他 直日	
預歩兵第聯隊	第二大隊 (衛生下士官除)	預歩兵第十聯隊	十月五日	所要幹部 八月五日 返入派遣 之編成番 手入
	第二大隊 (衛生下士官除)	預歩兵第十聯隊	十月十三日	
第十六師團 通信隊	(軍規定附表第二)	預歩兵第十聯隊	十月五日	現在編成第 十旅團通信 隊三旅團少 佐八人及少 佐五人
		預歩兵第十聯隊	十月五日	

備

一、軍規定附表第二ノ人馬ハ十月五日附之ヲ轉属セシムルモノトス

二、獨立歩兵第十三聯隊ニ差出ス歩兵大隊ハ内容ヲ變更セサルモノトス

三、本表ノ人馬ハ成ルヘク現役人員平時保管馬假定數馬ヲ含ムヲ以テ充當スルモノトシテ左ノ如ク日本馬ヲ含ムモノトス

被配属部隊	配属日本馬	差出部隊	摘要
歩兵第十聯隊	二六	預歩兵第十聯隊	來馬一
歩兵第十聯隊	二七	預歩兵第十聯隊	來馬一
第十六師團 通信隊	一	預歩兵第十聯隊	來馬一
第十六師團 通信隊	二	預歩兵第十聯隊	來馬三
第十六師團 通信隊	一	預歩兵第十聯隊	來馬一

考

四、第二十六師團通信隊ノ兼務ヲ左ノ如ク担任ス

兵器部

一、工下士官

二、及裝工下士官各一

三、獨立歩兵第十中隊

四、中隊務下士官一

五、獨立輜重兵第十中隊

六、柳澤小隊八

七、十月十三日夕迄ニ原所屬ニ復歸セシム

八、本表部隊及人馬轉属ノ細部ニ關シテハ關係部隊相互協定スルモノトス

考備	部令司團師六十二第																				部								
	合	備	新	醫	獸	獸	部	醫	庫	部	技	主	技	主	主	主	技	下	尉	少		大	技	下	大	少	中	大	中
備	計	人	獸	獸	獸	衛生	軍	軍	軍	技	主	技	主	主	主	技	下	尉	少	大	技	下	大	少	中	大	中	要	
備	計	人	獸	獸	獸	衛生	軍	軍	軍	技	主	技	主	主	主	技	下	尉	少	大	技	下	大	少	中	大	中	要	
備	計	人	獸	獸	獸	衛生	軍	軍	軍	技	主	技	主	主	主	技	下	尉	少	大	技	下	大	少	中	大	中	要	
一備人(馬取扱者)	90	22	2	1	1	2	1	1	1	4	11	1	6	2	1	1	1	5	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	編制定員
師團司令部	23	12	1	1	1	2	1	1		1	4		3	1	1		1	2	1	1		7	2	1	1	1	1	現在人員	
於																													現任人員
備	32	10	1						1	3	3	1	3	1	1		3		1	1	1	1	1	1	1	1	1	充足要員	
不	9								1					1	1				1	1					1	1	1	陸軍大臣	
	11		1							欠	3	欠	3				3					欠	1	欠	欠				配屬者
	(欠)																												整備要員

整備人員整備区分表(整備管理)

昭和十一年十月五日

師團司令部

陸軍大臣
配屬者
整備要員
整備人員

附表第三

第六十二師團							關東軍司令部			茨州派遣第二十六師團編成ニ關スル細部規定配布區分表	
部	隊	名	部数	部	隊	名	部数	部	隊	名	部数
參謀	官	部	五	獨立步兵	第十一聯隊		二	參謀	官	部	一
管	理	部	一	獨立步兵	第十二聯隊		二	管	理	部	一
兵	器	部	一	獨立步兵	第十三聯隊		二	兵	器	部	一
經	理	部	一	第二十六師團	搜索隊		四	經	理	部	一
軍	醫	部	一	獨立步兵	第十六聯隊		四	軍	醫	部	一
獸	醫	部	一	獨立步兵	第十七聯隊		五	獸	醫	部	一
法	務	部	一	獨立步兵	第十八聯隊		五	法	務	部	一
通	信	隊	一	計			一	通	信	隊	一

軍事機密

一連
番 第 参 群

第二十六師團整備馬匹整備区分表

款	額
表	共 拾 枚
調製年月日 昭和十三年十月五日	

獨立混成第十一旅團司令部


部	隊	少	中	少	曹	備	台	人員
要員種別	將	佐	佐	佐	長	人	計	一編人(西政務)
編制要員	司令官	副官	副官	副官	書記	馬取者	7	一師團司令部ニ於テ在備ス
現在人員							3	
予後備役								
充足要員	1	1	1	1	1	1	4	
陸軍大臣配屬者	1	1	1				3	
整備要員								
整備人員	到着部隊	到着部隊	到着部隊	到着部隊	到着部隊	到着部隊		張家口第三師團司令部

整備人員整備区分表

(整備官理)

昭和十二年十月五日
閣 意 軍


分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="507 499 997 757"><tr><td data-bbox="507 499 751 757">1</td><td data-bbox="751 499 997 757">2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

考	備	隊													聯																														
		銃工下士官	火工下士官	技術准尉	獸醫下士官	獸醫尉官	衛生(三)等兵	衛生上等兵	衛生下士官	軍醫尉官	軍醫中(少)佐	裝工下士官	縫工下士官	主計下士官	主計中(少)尉	主計少佐(大尉)	等					上																							
																	一(三)等兵	靴工兵	縫工兵	蹄鐵工兵	銃工兵	火工兵	鍛工兵	觀測手	無線通信手	通信手	喇叭手	瓦斯手	擲彈筒手	輕機關銃手	速射砲手	聯隊砲手	歩兵砲手	機關銃手	上等兵										
		2568	2	1	1	1	14	14	4	6	1	1	4	2	1	470	54	54	19	76	4	6	18	32	58		190	216	414	30	30	66	264												
																							15	3	27	48	64	159	31	180	36	349	67	26	4	26	4	57	226	58	11				
		1187	1		1	1	5	8	4	3	1	1	4	1	1	155	29	29	8	31			13	18	38		87	80	142	27	27	53	122												
																							12	3	16	33	5	30	74	13	70	10	100	22	25	2	26	1	82	1	142	20	5		
		1188																																											
		1189																																											
		1190	1	1			6	6		3				1		205	25	25	10	43	4	6	3	12	2	16	4	33	85	18	108	36	225	41	1	2	3	1	6	107	12	38			
		1																																											
		1192	1	1			6	6		3				1		205	25	25	10	43	4	6	3	14	20		103	136	256	3								4	119						
		74																																											

一 本表整備人員、外陸軍動員計畫令第六十八條、原備員ヲ増加セラル
 二 幹部候補生三十七名ハ定員外トス
 三 第三年以下士官候補者ハ下士官トシテ計上シマリ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="523 524 1050 801"><tr><td data-bbox="523 524 767 801">1</td><td data-bbox="767 524 1050 801">2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

考 備	第 十 二 聯 隊																																
	計	兵 等																															
		上	(一)		(二)		銃工兵	火工兵	鍛工兵	觀測手	無線通信手	通信手	喇叭手	瓦斯兵	擲彈筒手	輕機関銃手	速射砲手	聯隊砲手	歩兵砲手	機関銃手	上等兵												
2568	2	1	1	1	1	14	14	4	6	1	1	1	4	2	1	470	54	54	18	76	4	6	18	32	58	190	216	414	30	30	66	264	116
994	1	1	1	1	7	7	4	3	1	1	1	4	1	1	761	22	10	7	28					32	37	60	69	103	18	30	46	114	51
307	1						2									128	3									6	8				41	37	
1267						7	5								1	181	29	44	11	48	4	6	18	15	15	122	147	283				109	28
1264		1				7	5								1	181	29	44	11	48	4	6	18	15	15	122	147	283				109	28

一本表整備人員ノ外陸軍動員計函令第六ノ條ノ予備員ヲ増加セラル


二大佐強井富太郎ハ本表外トス

三幹部候補生三八名ハ甲種一四乙種二四及憲兵修業者二五名ハ兵員外トス

四第二年度下士官候補者ハ下士官トシテ計上ス

第 十 二 聯 隊 歩 兵

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="499 506 991 763"><tr><td data-bbox="499 506 746 763">1</td><td data-bbox="746 506 991 763">2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>			


考	備	隊													三										十										第									
		隊													三										十										第									
		計	銃工下士官	火工下士官	技術准尉	獸醫務下士官	獸醫尉官	衛生一等兵	衛生上等兵	衛生下士官	軍醫尉官	軍醫中(少)佐	装工下士官	縫工下士官	主計下士官	主計中(少)尉	主計少佐(大尉)	一(三等)兵	装工兵	縫工兵	蹄鐵工兵	銃工兵	火工兵	鍛工兵	觀測手	無線通信手	通信手	喇叭手	瓦斯兵	擲彈筒手	輕機關銃手	連射砲手	聯隊砲手	歩兵砲手	機關銃手	上等兵								
2618	2	1	1	1	1	14	14	4	6	7	7	7	4	2	1	470	54	54	18	76	4	6	18	32	59	180	216	314	30	30	11	264												
198	1					3	3	4	3	1	1	1	4	1	7	127	27	27	5	33			4	15.5	7.5	2.2	33	10.5	15.7	17.8	2.12	2.2	39.8	31.25	92	2								
120																47	3	1								1	1	2	4					12.9	12									
1350	1	1	1	1	1	11	11		3					1		296	24	20	13	43	4	6	14	12	45	107	112	216	20	16	20	136												
3																										45	107	112	216	20	16	20	136											
1347	1	1	1	1	1	11	11		3				1			296	24	20	13	43	4	6	14	12	45	107	112	216	20	16	20	136												

一、本表整備人員、外陸軍動員計畫令第六十八條ノ下備員ヲ増加セラレ
 二、本表中(上)ノ上級職ヲ、少候ハ少尉候補者ヲ示ス
 三、本表軍曹(伍長)中ニハ第一年度下士官候補者小銃一各機関銃
 三名ヲ含有シマシ
 四、第一年度下士官候補者ハ下士官トシテ計ス

隊 聯 = 十

第 兵

分割撮影ターゲット

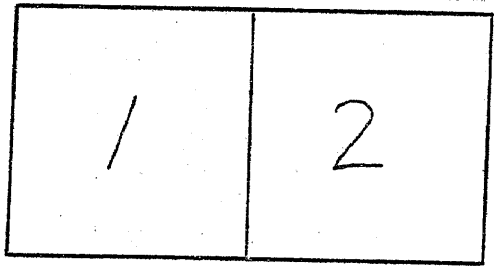

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="512 488 999 748"><tr><td data-bbox="512 488 754 748">1</td><td data-bbox="754 488 999 748">2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

9280

9280

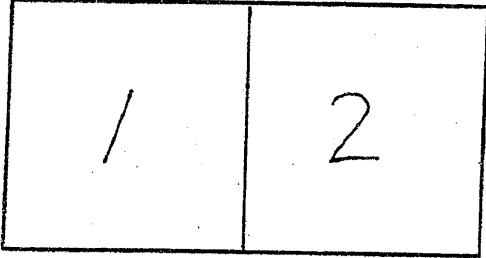

考 備	隊 索 搜														團 師 六																								
	合 計	電工下士官	機工下士官	鍛工下士官	銃(鞍)工下士官	獸醫下士官	獸醫尉官	衛生(三)等兵	衛生上等兵	衛生下士官	軍醫尉官	軍醫光尉	装工下士官	縫工下士官	主計下士官	主計尉官	兵																						
																	装工兵	縫工兵	靴工兵	電機工兵	発動機工兵	鍛工兵	装甲車兵	無線通信兵	喇叭兵	甲機関銃手	輕機関銃手	一等兵	二等兵	装工兵	縫工兵	蹄鉄工兵	靴工兵	無線通信兵	通信兵	喇叭兵	瓦斯兵		
一本表整備人員ノ外陸軍動員計馬令第六ノ條ノ予備員ヲ増加セラル	301	1	1	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1	2	1	2	2	2	4	2	5	1	4	1	3	4	4	5	3	4	4	16	4	4	4	12	10	12	
二下士官候補者トシテ計上ス	185				1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1																							
	116	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	4	2	5	1	4	1	3	4	4	3	3	2	1	3	2	3	1	3	1	1	
	2																																						
	112	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	4	2	5	1	4	1	3	4	4	3	3	2	1	3	2	3	1	3	1	1	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

考 備	隊											聯			一	
	合 計	電 工 下 士 官	木 工 下 士 官	鍛 工 下 士 官	鞍 工 下 士 官	火 工 下 士 官	砲 兵 技 術 准 尉	獸 醫 下 士 官	獸 醫 尉 官	獸 醫 少 佐 (大 尉)	衛 生 三 等 兵	衛 生 上 等 兵	衛 生 下 士 官	軍 醫 尉 官	軍 醫 少 佐 (大 尉)	裝 工 下 士 官
一 本 表 空 備 人 員 ノ 外 陸 軍 動 員 計 並 合 第 六 十 八 條 ノ 予 備 員 ヲ 加 入 スル 二 幹 部 候 補 生 ハ 定 員 外 上 支 三 下 士 官 候 補 志 (下) ハ 下 士 官 ト シ テ 計 上 ス	1795	1	1	1	1	1	1	6	2	1	9	9	4	3	1	1
	130	1		1	1		1	1		1	3	2	4		1	1
	22															
	1293			1			1		5	2		6	7		3	
	4															
	1294 欠 5			1			1		5	2		6	7		3	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

合	第六十第二兵工隊部																						要員種別	編制定員	現在人員	陸軍大臣 整備要員											
	第六十第二兵工隊部																																				
計	電工下士官	機工下士官	木工下士官	鍛工下士官	工兵技術准尉	衛生(二)等兵	衛生上等兵	衛生下士官	軍醫尉官	裝工下士官	縫工下士官	主計下士官	主計尉官	一等兵	靴工兵	縫工兵	蹄鉄工兵	銃工兵	機手	鍛工兵	石工兵	木工兵	通信手	喇叭手	上等兵	喇叭長	書記	軍曹(伍長)	曹長	准尉	中尉	大尉	少佐	中(少)佐	大(中)佐		
401	/	/	/	/	/	2	2	/	/	/	/	2	/	14.1	8	8	4	4	24	16	12	16	20		32		/	1	27	4	2	4	6	2	1	1	1
165	/					/	/	/	/		/	2	/	60	1	4	2	4	6	6	6	5	8	2	8	20		/	8	4	2	3	2	1			
236	/	/	/	/	/	/	/		/					18	4	4	2	18	10	6	11	12		24				19		/	6	2	1	1	1		
2																																					
231	/	/	/	/	/	/	/		/					18	4	4	2	18	10	6	11	12		24				19		/	6						

整備人員整備区分表 (整備管理)
 (第三師團)
 昭和十二年十月五日
 閣

隊部 同大 兵工隊部

考	備	聯												
		合	電工下士官	機工下士官	木工下士官	鍛工下士官	工兵技術准尉	衛生(一)等兵	衛生上等兵	衛生下士官	軍醫尉官	装工下士官	縫工下士官	主計下士官
一 本表整備人員外陸軍動員計畫令第六十八條ノ豫備員ヲ増加 又ナル 二 第三年度下士官候補者ハ下士官トシテ計上ス		401	/	/	/	/	/	2	2	/	/	/	/	2
		165		/				/	/	/	/	/		2
		236	/		/	/	/	/	/			/		
		2												
		231												
		欠3	/	/	/	/	/	/	/	/		/		

1880

第二十第六師團										部隊							
上		下士官					准	中	大	少	要員種別	編制	現在人員	充足要員	陸軍大臣 配屬者	整備要員	整備人員 到着部隊
瓦	無線通信手	同無線通信掛	同無線通信掛	軍曹(伍長)	曹長	尉	尉(少)	尉	佐								
2	46 上	74 上	7	10	1	1.2	1.1	1.2	1	1	定員	現役者	後備者				
	42 上	33 上	2	2		1.2	1										
2	4	41 上	5	8	1	1	1.2	1	1								
2	4	41 上	5	8	1	1	1.2	1	1								


第二十第六師團通信隊整備人員整備区分表

(整備管理) 第十四師團 昭和三十八年五月

第二十第六師團

考 備	隊 信 通 團 師													
	合 計	電 工 下 士 官	衛 生 兵	衛 兵 下 士 官	單 位 中 (少) 尉	主 計 下 士 官	主 計 中 (少) 尉	靴 工 兵	縫 工 兵	蹄 鐵 工 兵	電 機 工 手	鍛 工 兵	木 工 兵	喇 叭 手
一、本表整備人員、外陸軍動員計畫令第六八條ノ豫備員ヲ増加セラル	175	1	2	1	1	1	1	4	4	2	2	2	2	2
	85			1		1								
	10	1	2		1		1	4	4	2	2	2	2	2
	2													
87	1	2		1		1	4	4	2	2	2	2	2	
81														

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="517 501 1043 763"><tr><td data-bbox="517 501 762 763">1</td><td data-bbox="762 501 1043 763">2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため		
<p data-bbox="268 1196 1310 1352">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="325 1503 922 1576">8 年 12 月 9 日</p> <p data-bbox="528 1697 823 1760">主務者又は</p> <p data-bbox="523 1832 1417 1935">撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

8880

輜重兵第二十第六隊																															隊部														
(自働車) 兵等 (一) 上等											(車中隊) 兵等 (一) 上等										官士下				准	中	大	少	中	大	要員種別														
靴	縫	銃	一(三)等	電機	機	發動機	鍛	木	喇	瓦	上	靴	縫	銃	鞍	一(三)等	蹄鉄	鍛	木	喇	瓦	上	(長)曹軍	曹長	自働車	自働車	書	尉	尉	尉		尉	尉												
兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵												
2	2	2	78	5.1	10.2	40.6	8.1	2	4	10.2	14	8	8	4	8	10.8	16.4	4	4	8	20.4	32	24	2	1	1	1	5	2	2	2	4	3	8	1	2	2	1	1	1	1	1			
			41		2	4.1	1.1			2.1	6	1	2		2	35	2.1			2	1.3	6	2	3	1	1	3	2	2	2	1	2	1						1	2	1				
						35	9			8.1	8	7	6	4	6	73	17	4	4	6	20	26	22	9	1	2	1	1	2	3	8	1	2	1						1			1		
			37	5.1	6.2	30.5	6	2	4	8.1	8																																		
												7	6	4	6	73	17	4	4	6	20	26	22	9	1	2	1	2	8	2	8										2	8	2	1	

整備人員整備區分表 (整備管理) 昭和二十年五月五日 關東軍

隊中一十第兵重輜立獨同大

考 備	隊																				
	理 工 下 大 官	機 工 下 大 官	不 工 下 大 官	鉄 工 下 大 官	銃 工 下 大 官	砲 工 下 大 官	技 術 下 大 官	獸 醫 下 大 官	獸 醫 下 大 官	衛 生 下 大 官	衛 生 下 大 官	軍 醫 下 大 官	工 工 下 大 官	工 工 下 大 官	計 計 下 大 官	主 計 下 大 官	去 計 下 大 官	靴 工 兵	縫 工 兵	銃 工 兵	一 三 等 兵
一本表整備人員ノ外陸軍動員計畫令第六十八條ノ豫備員ヲ 増加セラル 二下士官候補者ハ下士官トシテ計上ス 三幹部候補生一名入院患者八名ハ定員外トス	合計																				
	507	1	1	1	1	1	2	1	6	2	1	1	1	2	1	2	2	2	2	78	
	146	1				1	1	2	2	1		1	1	1						41	
	361	1	1	1	1	1	1	4			1	1					2	2	2	37	
	2																				
	134																	2	2	2	37
	222 83	1	1	1	1	1	1	4			1	1									

馬匹救正備區分表

部隊別	區分		現在馬數	假定數	計	充足馬數
	用役	乘馬				
第三十六師團司令部	乘馬	鞍(馱)馬	二	一七	一七	五
第二十六師團	乘馬		三	三	三	
<p>昭和十二年十月五日 獨立混成旅團司令部</p>						
備區別	著地		張家口			
到著部隊	張家口		第二十六師團司令部			
備區別	著地		旅團司令部			
到著部隊	張家口		獨立混成旅團司令部			

第二十六師團
獨逸隊第土旅團

馬匹過不足表

昭和十二年十月五日
獨逸隊第土旅團司令部

備考	計	駃馬		鞍馬		乘馬		用後		備註			
		日本馬	滿洲馬	日本馬	滿洲馬	日本馬	滿洲馬	日本馬	滿洲馬				
一、留中部隊、日本馬四頭、滿洲馬三頭、老令虛弱、重要損傷ヲ有シ除後見込トシ 入班馬日本馬四頭、滿洲馬三頭、共ニ本表申現在馬數ニハ含ミアラス	滿洲馬	一七九	四六	一六	六	二五	一五	三九	一七	二	一九	二〇	摘 要
	日本馬	一六	六	六	四	一四	一五	一九	二〇				

步兵砲隊鞍馬トス
現在馬數中日本馬一四、滿洲馬
六、鞍馬鞍馬トス
通信隊駃馬トス

計	鞍馬	乘馬	用役別		他部隊 差出馬數	計	現在馬數	定數ニ對スル 過(不足)	摘要
			定數	分					
一七九	一四〇	三九	定數	分	他部隊	計	現在馬數	定數ニ對スル	獨逸步兵第一聯隊馬匹用役區分過不足數 昭和十二年十月五日 獨逸表紙守土務團司令部
三四	二六	八	定數	分	差出馬數	計	現在馬數	定數ニ對スル	
四	三	一	定數	分	馬數	計	現在馬數	定數ニ對スル	
三八	二九	九	定數	分	馬數	計	現在馬數	定數ニ對スル	
七八	六四	一四	定數	分	馬數	計	現在馬數	定數ニ對スル	
(一〇一)	(七六)	(二五)	定數	分	馬數	計	現在馬數	定數ニ對スル	

獨立步兵第三聯隊馬匹用牧區分過不足表			
昭和十二年十月五日 獨立混成第三旅司令部			
用 別	區分	定數	實數
乘馬	三九	七	八
鞍馬	一四〇	二七	二六
計	一七九	三四	三四
		計	六八
		過不足	(一一一)
		過不足	(八七)
		過不足	(二四)
摘要			

整備馬匹数正備區分表

部	隊	用役		編制定数	現在馬数	充足馬数	既備馬数	整正備馬数
		乘馬	駄馬					
第六師團搜索隊	計	乘馬	一六五	一六五	一四七	八		八
		駄馬	二〇	二〇	八	一二		一二
獨立野砲兵第六聯隊	計	乘馬	二六九	二六九	二二〇	一四九	一四九	二〇
		既備	九九〇	九九〇	一三九	七八一		四一五
工兵第六聯隊	計	乘馬	一五	一五	五	一〇		一〇
		乘馬	一五	一五	五	一〇		一〇
第十八師團通信隊	計	乘馬	五	五	五	五		五
		既備	二二	二二	二二	二二		二二
計	計	乘馬	二七	二七	二七	二七		二七
		既備	二二	二二	二二	二二		二二

昭和十二年十月五日
獨立野砲兵第六師團司令部

0680

言	籍貫(天守二十六聯隊)	
	親(父)	系馬
二一八	一六〇	五一
二〇三	親一三六 二〇〇	五一
八	八	

1680

配布区分

参謀部	5
副官部	3
管理部	1
兵器部	3
経理部	4
軍醫部	3
獸醫部	3
法務部	2
歩兵團	2
歩十一	10
歩十二	10
歩十三	10
搜索隊	4
野砲十一	8
工兵二隊	4
騎銃隊	4
信通隊	2

0892

編成編制改正詳報

工兵第二十六聯隊

昭和拾年拾月二十日	編制改正	詳報
五	枚	
二	枚	

獨工編第七號

軍令陸甲第二十四號之陸滿機密第三十六號及南參編第一
二。號及獨混十一參勤第四。號ニ基ク工兵第二十六聯
隊ノ編成〔編成改正〕詳報本冊ノ通り報告ス

昭和拾二年拾月二拾五日

編成擔任官

獨之工兵第十一中隊長 村上潤

編成(編制改正)詳報

第一軍令陸甲第二十四號滿洲派遣第二十六師團
 編成要領之陸滿機密第三十六號滿洲派遣
 第二十六師團編成要領細則及南參編
 第二〇號滿洲派遣第二十六師團編成ニ關ス
 ル規定之獨混十一參動第四〇號滿洲派遣第
 二十六師團編成ニ關スル細部ノ規定ニ基キ左ノ
 通り實施ス

編成(編制改正)部隊	編成地	編成擔任官
工兵第三十六聯隊	大同	獨參兵第十中隊長村上潤

編成改正委員

陸軍工兵中尉 小川 勇次

同 助手

陸軍機工書長 精松 操

第一 編成著手 昭和拾二年拾月五日

第二 昭和拾二年拾月六日 陸軍工兵中尉 小川 勇次 廣

武鎮ヨリ大同ニ支張レ軍令陸甲第二十四號滿

洲派遺第二十六師團編成要領及南參編第

二〇號滿洲派遺第二十六師團編成ニ南一スル

規定ヲ受領レ所要ノ指示ヲ受ク。

第三 昭和拾二年拾月九日 廣武鎮ヨリ大同ニ前進レ南

參編第二〇號滿洲派遺第二十六師團編成ニ南

スル規定第五條ニ基ク不足要員ノ請求及第八條ニ
 基ク不足馬匹及第十五條ニ基ク不足兵器用物等ノ
 報告ヲナス。

第五 昭和拾二年拾月拾三日南參編第二六號將校及各
 部將校職務命課ノ件内報ヲ受ク。

第六 昭和拾二年拾月拾四日左記書類ヲ受領ス

イ 滿洲派遣第二十六師團編成ニ關スル細部ノ

規定〔四部〕

ロ 第二十六師團整備人員馬匹整備區分表〔

四部〕

第七昭和拾二年拾月拾四日工兵中尉小川勇次編成
改正事務打合セ、爲師團司令部ニ交頸ス。

第八工兵第二十六聯隊長 陸軍工兵中佐 吉岡善四郎

工兵第二十六聯隊附 陸軍工兵少佐 栗本 進

昭和拾二年拾月拾九日着任ス。

第九昭和拾二年拾月二拾日新兵營決定レ軍野戰建築
班及師團經理部ト連絡シ改築ニ著手レ著
々作業進捗ス。

第十昭和拾二年拾月二拾三日南參編第二。號第十三條
及第十四條ニ基ク兵器邊不足表ヲ提呈ス。

第十一 昭和拾二年拾月二十四日南參編第二。號第十九

條ニ基ク不足衛生材料ヲ受領ス

第十二 昭和拾二年拾月二十五日午後一時ヲ以テ編成

ヲ完結ス

第十三 將校各部將校(准士官ヲ含ム)職員表附表第一

如ク人馬一覽表附表第二ノ如シ

附表第一

將校各部將校 匯官會職員表

昭和拾三年拾月二十五日
工兵第三十六聯隊

工兵第三十六聯隊

聯隊長 中佐 吉岡善四郎

聯隊副官 中尉 小川勇次

聯隊附少佐 栗本進

主計主少尉 坂本嶋吉

縫産尉 榎井信義

考備

一聯隊附中佐一
大尉二小隊長六
欠

同	同	中隊附	同	中隊長	軍醫
進尉	進尉	進尉	中尉	大尉	軍中尉
峯川	萩野	峯前	加賀本	村上	石塚
勘	勝臣	満壽	俊傳	潤	政夫

附表第二

人馬一覽表

考備	合	計	支隊現役	部役階級	
				隊種	階級
一、八豫後備兵ヲ示ス、下士官ハ後備上等兵 二、乘馬一五頭中一八満馬六頭ヲ合ス。	一		一	佐	中
	一		一	佐	少
	一		一	尉	大
	二		二	尉(少)	中
	三		三	尉	准
	一		一	長	曹
	(一)八		(一)八	長	曹軍
	(五)八		(五)八	徴	昭
	(四)九		(四)九	徴	昭
	七		七	徴	昭
	七		七	徴	昭
	七		七	徴	昭
				計	

0901

昭和拾二年拾月二十五日調製

一	工兵技術士官
一	経理部 官士
一	経理部 官士准
二	経理部 官士下
一	衛生部 官士
一	衛生部 官士下
一	衛生部 徴。昭
一	衛生部 徴。昭
九	計
一八七	計 合
一五	馬乘 馬
一五	計 匹

八豫備中後備一。一尋兵六豫備一。後備中トス

0902

8060



自昭和十一年十月五日
至同 二十五日

編制改正詳報

獨立歩兵第十一聯隊



編制改正詳報

獨立歩兵第十一聯隊

十一月四日 火曜 晴

午後七時三十分頃大同戰鬥司令部＝聯隊長並聯
 隊副官ヲ招致シ関東軍並獨立混成第十一旅團主任
 參謀ヨリ軍令陸甲第二十四號滿洲派遣第二十六
 師團編成要領外編制ニ関スル書類ニ部ヲ受領
 シ所要ノ説明ヲ受ケ左記書類ヲ明五日迄ニ提
 出スルヲ命セララル

左記

『整備人員馬匹區分表』

然ルニ時日少ナキト部隊カ六ヶ所而モ数十里ノ
 遠隔ノ地ニ分散シアル關係上具體的ノ調査頗ル
 困難ナリキ、即各中砲隊ニ於テ出勤後多救戰死
 傷者ヲ生シ爲ニ特(分)業者並現在ノ病狀等ノ
 調査容易ナラサルモアリキ、依而直ニ編制改正本
 員長、本員助手(附表第三)ヲ命セリ

十月五日 水曜 晴

聯隊長ハ大同聯隊本部ニ將校ヲ集メ編制改正ニ

関スル大綱ヲ示シ訓示ヲ與ヘ爾後聯隊副官ヲシテ
所要ノ指示ヲ速ヘシメ編制業務ヲ開始ス

十月七日 木曜 晴

編成改正業務連絡ノ爲左記人員ヲ張家口ニ派
遣ス

左記

同	同	同	同	陸軍歩兵大尉
軍曹	曹長			古川常右衛門
石田豊吉	大龍三	棚田儀市	養毛松次	

十月八日 金曜 晴

各地ニ分散シアル各本部、中砲隊ヨリモ編制改正
 主任者ヲ大同部隊本部ニ集合セシセ細部ノ指示
 (附録第一ニ参照)ヲ行ヒ茲ニ編制業務ノ實行ニ着
 手セリ

編制改正業務連絡ノ爲左記人員ヲ張家口ニ派遣
 ス

左記

陸軍歩兵中佐

有田清樹

陸軍歩兵軍曹 関谷順次
同 近内正久

十月十日 日曜 晴

別紙行事豫定表(附表第三)ノ通り各隊長並主計軍医
獸医、兵器、被服等ノ主任者ヲ會同セシメ更ニ細部ニ
関スル指示ヲナス

茲ニ於テ兵器並同物品ノ授受ヲ立案セシカタメ駐屯地
ニ残置セル諸帳簿受領ノ爲技術准尉等ヲ歸還セシム

十月十一日 月曜 晴

編制改正ノ爲各本部中砲隊ノ將校各部將校並准士

官下士官命課意見ヲ決定シ編制改正業務ヲ担任
セシメ着々之レヲ完成ニ努ム(附表第四期ニ参照)

十月十三日 水曜 晴

所要ノ幹部ノ編入替ヲ實施シ且茲ニ新編制態勢ニ基キ
業務ノ進捗ヲ圖ル

十月十六日 土曜 晴

全般的ノ編入替ヲ豫定セシモ第一大隊代縣ニアリテ
敵情ノ關係上之ヲ許サス爲ニ十月十七日ニ延期ス

尚師團(主任參謀)ヨリ明十七日ヲ以テ基礎編制ヲ完了
 マヘキ指示ヲ受且ツ命課ハ内報ヲ通十月五日附發令
 セラシタル命ヲ受ケ依而直將校各部將校並准士官
 下士官ノ職務命課ヲ發令ス

十月十七日 日曜 晴

基礎編成ヲ完了セリ

即午前九時三十分ヨリ第二十六師團同歩兵團司令部
 同通信隊並獨立歩兵第十三聯隊_隊轉出スヘキ將校以下
 對シ軍旗捧拜式ヲ舉行シ次テ聯隊長告別ノ辭
 ラ述_ハ茲ニ樂十度ノ戰鬥ニ赫々タル武勳ヲ輝ニタル

將兵ト訣別シ新所屬部隊長ノ指揮下ニ入ラシム
十月十七日迄ニ於ケル轉出入人馬數左記ノ如シ

左記

- 1 轉出人員馬匹數附表第五(其二、其三)ノ如シ
- 2 現在充足人員、馬匹、兵器、被服其他ノ情况
現在充足人員馬匹數附表第六(其一、其二、其三)ノ如シ
- 3 兵器及兵器用物品並被服等ニ就テ
個人裝備用兵器及物品並被服類ハ全部携行セ
シメ部隊裝備用兵器及物品ハ新編制部隊ニ入

員並馬匹數ニ應スル比率ヲ以テ配屬ス

其細部ニ関シテハ諸規定並指示ニ依ル

整備ニ就テ

1. 人員馬匹ハ整備人員中、大隊長一、並原駐在地

ニ勤務シアリシ將校三、到着セル外他ハ未到

着ナリ

2. 部隊内編入替ハ第一大隊ヨリ新設中隊、通信隊、

ニ轉屬スル者、十月三十日ヲ以テ内地ヨリ整備人

員ノ外完了セリ

3、將校各部將校並准士官、下士官職員表附表第七(其二、其三)ノ如シ

4、兵器、被服、獸匹材料等中個人支給ノ分ハ附表第八(其一、其二、其三)ニ基キ整備シ部隊支給ノ分ハ目下主要兵器ハ輸送中ナリ、

但シ駐屯地ニ保管シアル分中主要兵器等ハ近ク出勤地ニ到着ノ豫定ナリ

現在ニ於ケル不足品ニ對シテハ附表第九ニ依リ報告セシメ直ニ處置ス

5. 兵器、被服、衛生及馬匹材料等ニ関スル細部ハ附録
第三、第四、第五、第六、如シ

編制改正業務行事豫定表 附表第三

月日曜	主要行事	摘要
一五火	一 編成 著手	一 四日午後七時半項編成改正ニ関スル命令ヲ受領ス 二 各大中砲隊長ヲ集メ編成改正ニ関スル聯隊長ノ訓示ヲ指示(通信、高級主計、軍医、獣医) 三 編成改正ノ委員長、委員、助手任命
一六水	一 整備人員馬匹区分決定	一 整備人員馬匹区分表提出
一八金	一 各中砲連隊通信隊等ノ編成著手	一 各中砲連隊中砲隊長ヲ集メテ別紙編制改正事項ヲ指示ス
一六土		
一八日	一 編制改正ニ関スル細部ノ指示 二 右編成ニ関スル算	一 大中砲通信隊長高級主計、軍医、獣医、兵器被服掛等ヲ集メ編制改正ノ細部ニ関シ指示

昭和 一 二 一 〇 五
独 歩 十 一

			議 答
一〇、一一月	一、衛隊正業務担任区分決定	二、別紙担任区分表ヲ分取ス	
一〇、一二火			
一〇、一三水	一、前營幹部ノ編入替		
一〇、一四木			
一〇、一五金			
一〇、一六土	一、編入替 資 派	一、他隊轉出者モ同時ニ行フモノトス 但シ他家轉出者ニ要求ニ依リ変更スルコトアリ	
一〇、一七日			
一〇、一八月	一、宿營配 備	一、宿營配 備 準備 (總人馬ヲ概テ三等分ス) スニセテ 二、各受領員ヲ集メ、細部ノ指示	
一〇、一九火			
一〇、二〇水	一、整備人馬到着豫定	一、各受領員ニ対シ整備人馬ノ宿營給養担任 区分ヲ決定	
一〇、二一木	一、整備人馬ノ配當準備	一、聯隊ニ徴集年次、役種、階級、特業、分業、工務 兵等ヲ調査ス	
一〇、二二土			

備考

一各駐屯地ニ残留シタルモノノ交代又ハ追及ニ断ツテハ別ニ指示ス
 二編入替実況ハ現在所持セルモノノミヲ携行シ其他ノ兵器、器材、被服

一〇、二、三	一〇、二、四	一〇、二、五	一〇、二、六	一〇、二、七	一〇、二、八	一〇、二、九	一〇、三、一
土	日	月	火	水	木	金	日
	一編成人馬ノ配當	一編成定結					
	一爲序列名簿解部スニ依リ抽出指示ス	一所要ノ報告書類ヲ提出ス					

陣營兵、練習用具、等々總テ別ニ計画ニ依ルモノトス
三、功績書類ハ少ナクモ第一調製官ノ分ハ衰備シタルモノヲ本十月
末日迄ニ新所屬隊長、副官ニ送付スルモノトス

附表第四十二

編制区業務擔任區分表

昭和一九一五
獨歩十一

聯隊本部		大隊本部		中隊本部		中隊本部		中隊本部		中隊本部		中隊本部		中隊本部		中隊本部		中隊本部		中隊本部	
聯隊長 佐々木貞雄		大隊長 佐々木一官 基		中隊長 宇根本哭		中隊長 小森次作		中隊長 日高弘		中隊長 安高直樹		中隊長 伊藤正太		中隊長 高橋渡橋		中隊長 大參省一		中隊長 井島幸雄		中隊長 大敷忠三	
副官 福永勇吉		副官 以下 芝作造		副官 富澤太郎		副官 安高直樹		副官 伊藤正太		副官 高橋渡橋		副官 大參省一		副官 井島幸雄		副官 大敷忠三		副官 井島幸雄		副官 大敷忠三	
旗手 杉山義次		軍醫 阿野勝衛		軍醫 柳澤半三郎		軍醫 富澤太郎		軍醫 伊藤正太		軍醫 高橋渡橋		軍醫 大參省一		軍醫 井島幸雄		軍醫 大敷忠三		軍醫 井島幸雄		軍醫 大敷忠三	
聯隊附 岩根清夫		大隊長 青野三郎		中隊長 廣川禮順		中隊長 小久保藏之助		中隊長 三根義男		中隊長 高橋渡橋		中隊長 大參省一		中隊長 井島幸雄		中隊長 大敷忠三		中隊長 井島幸雄		中隊長 大敷忠三	
少佐 木村雄三郎		少佐 西垣宗太郎		少佐 廣川禮順		少佐 小久保藏之助		少佐 三根義男		少佐 高橋渡橋		少佐 大參省一		少佐 井島幸雄		少佐 大敷忠三		少佐 井島幸雄		少佐 大敷忠三	
大尉 柳村實英		大尉 小竹兵一郎		大尉 廣川禮順		大尉 小久保藏之助		大尉 三根義男		大尉 高橋渡橋		大尉 大參省一		大尉 井島幸雄		大尉 大敷忠三		大尉 井島幸雄		大尉 大敷忠三	
中尉 八洲		中尉 小竹兵一郎		中尉 廣川禮順		中尉 小久保藏之助		中尉 三根義男		中尉 高橋渡橋		中尉 大參省一		中尉 井島幸雄		中尉 大敷忠三		中尉 井島幸雄		中尉 大敷忠三	
大尉 高木卓一		大尉 小竹兵一郎		大尉 廣川禮順		大尉 小久保藏之助		大尉 三根義男		大尉 高橋渡橋		大尉 大參省一		大尉 井島幸雄		大尉 大敷忠三		大尉 井島幸雄		大尉 大敷忠三	
中尉 巴島 寛		中尉 小竹兵一郎		中尉 廣川禮順		中尉 小久保藏之助		中尉 三根義男		中尉 高橋渡橋		中尉 大參省一		中尉 井島幸雄		中尉 大敷忠三		中尉 井島幸雄		中尉 大敷忠三	
大尉 井上櫻文郎		大尉 小竹兵一郎		大尉 廣川禮順		大尉 小久保藏之助		大尉 三根義男		大尉 高橋渡橋		大尉 大參省一		大尉 井島幸雄		大尉 大敷忠三		大尉 井島幸雄		大尉 大敷忠三	
III		II		I		I		I		I		I		I		I		I		I	
大隊長 石丸繁雄		大隊長 小竹兵一郎		大隊長 廣川禮順		大隊長 小久保藏之助		大隊長 三根義男		大隊長 高橋渡橋		大隊長 大參省一		大隊長 井島幸雄		大隊長 大敷忠三		大隊長 井島幸雄		大隊長 大敷忠三	
副官 東條榮次		副官 小竹兵一郎		副官 廣川禮順		副官 小久保藏之助		副官 三根義男		副官 高橋渡橋		副官 大參省一		副官 井島幸雄		副官 大敷忠三		副官 井島幸雄		副官 大敷忠三	
軍醫 岡部昇		軍醫 小竹兵一郎		軍醫 廣川禮順		軍醫 小久保藏之助		軍醫 三根義男		軍醫 高橋渡橋		軍醫 大參省一		軍醫 井島幸雄		軍醫 大敷忠三		軍醫 井島幸雄		軍醫 大敷忠三	
大尉 岡部昇		大尉 小竹兵一郎		大尉 廣川禮順		大尉 小久保藏之助		大尉 三根義男		大尉 高橋渡橋		大尉 大參省一		大尉 井島幸雄		大尉 大敷忠三		大尉 井島幸雄		大尉 大敷忠三	
步兵砲隊		步兵砲隊		步兵砲隊		步兵砲隊		步兵砲隊		步兵砲隊		步兵砲隊		步兵砲隊		步兵砲隊		步兵砲隊		步兵砲隊	
大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎		大尉 伊藤平八郎	
中尉 山田兵二		中尉 山田兵二		中尉 山田兵二		中尉 山田兵二		中尉 山田兵二		中尉 山田兵二		中尉 山田兵二		中尉 山田兵二		中尉 山田兵二		中尉 山田兵二		中尉 山田兵二	
大尉 神野正夫		大尉 神野正夫		大尉 神野正夫		大尉 神野正夫		大尉 神野正夫		大尉 神野正夫		大尉 神野正夫		大尉 神野正夫		大尉 神野正夫		大尉 神野正夫		大尉 神野正夫	
中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威		中尉 三浦敏威	
大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作		大尉 大塚仁作	
中尉 三浦		中尉 三浦		中尉 三浦		中尉 三浦		中尉 三浦		中尉 三浦		中尉 三浦		中尉 三浦		中尉 三浦		中尉 三浦		中尉 三浦	
大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛		大尉 長屋義衛	
中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮		中尉 矢野 榮	
大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉		大尉 岡村重吉	
中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎		中尉 鈴木次郎	
中尉 河村茂松		中尉 河村茂松		中尉 河村茂松		中尉 河村茂松		中尉 河村茂松		中尉 河村茂松		中尉 河村茂松		中尉 河村茂松		中尉 河村茂松		中尉 河村茂松		中尉 河村茂松	
中尉 三根義男		中尉 三根義男		中尉 三根義男		中尉 三根義男		中尉 三根義男		中尉 三根義男		中尉 三根義男		中尉 三根義男		中尉 三根義男		中尉 三根義男		中尉 三根義男	
大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎		大尉 鈴木次郎	
中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順		中尉 廣川禮順	
中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助		中尉 小久保藏之助	
大尉 永野 勉		大尉 永野 勉		大尉 永野 勉		大尉 永野 勉		大尉 永野 勉		大尉 永野 勉		大尉 永野 勉		大尉 永野 勉		大尉 永野 勉		大尉 永野 勉		大尉 永野 勉	
大尉 山口京次		大尉 山口京次		大尉 山口京次		大尉 山口京次		大尉 山口京次		大尉 山口京次		大尉 山口京次		大尉 山口京次		大尉 山口京次		大尉 山口京次		大尉 山口京次	
中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎		中尉 柳澤半三郎	
中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎		中尉 富澤太郎	
中尉 安高直樹		中尉 安高直樹		中尉 安高直樹		中尉 安高直樹		中尉 安高直樹		中尉 安高直樹		中尉 安高直樹		中尉 安高直樹		中尉 安高直樹		中尉 安高直樹		中尉 安高直樹	
中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太		中尉 伊藤正太	
中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋		中尉 高橋渡橋	
中尉 大參省一		中尉 大參省一		中尉 大參省一		中尉 大參省一		中尉 大參省一		中尉 大參省一		中尉 大參省一		中尉 大參省一		中尉 大參省一		中尉 大參省一		中尉 大參省一	
中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄		中尉 井島幸雄	
中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三		中尉 大敷忠三	

△△重傷者ヲ予ハ隊備役ヲ少候ハ少尉候補者ヲ示ス

附表第四其二

編制(成)業務擔任區分表

昭和三十一年

備考	隊長		中尉				曹長				軍曹				伍長						
	聯隊本部 大隊本部		中尉		曹長		軍曹		伍長		軍曹		伍長		軍曹		伍長				
予八 隊備後△△重傷患者ヲ示ス	ITL	IA	Z								Z										
	岩谷幸市	佐藤久次郎	友岡 充	月田長尾	小林義代	菅野朝池	菅谷末枝	高延武尚	小林勝正	皆川 式	岡村 勉	福満市次郎	黒木藤一	齊藤勝郎	島田英一	高橋光雄	古屋重範	澤野次郎	小田中芳登	大石貞藏	野村辰一
自信謙士	綾部大和	佐藤佐久	齊藤 清	辻本忠臣	奥野鐵雄	吉野三郎	佐藤正吾	須貝辰五郎	志村 守	大塚幸雄	渡部栄三	山本全美	奥田彌一	新岡繁治	高橋爲五郎	衛藤道雄	井田元太郎	唐川方三郎	遠藤秀次	大石貞藏	
清水一彌	下村米三郎	梅村貞雄	石田正徳	有働正市	吉原晴雄	山谷宗平	金澤文一	杉田 俊	谷 隆	杉田 俊	木内朋良	上野重治	村田猪敏	前田秀雄	全澤文一	坂田 寿	遠藤貞雄	重田俊雄	片桐政次	大石貞藏	
								高橋忠作													

附表第五其ノ一

編成改正兵轉屬人員表

昭和三十一年二月

田部隊

備考	現員					他部隊					差引現員				
	隊	號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(一)ハ手シホメス 二ノ商兵ハ汎手ニシテ今ノハ編入替ヲナシトス	RIA	IMG	9	8	7	IMG	6	5	4	IMG	3	2	1	隊	
	39	32	40	46	43					32	37	44	41	徴口一昭	
	76	45	75	72	72					41	60	75	81	徴一"	
	8	12	32	31	30					18	32	12	2	兵集百	
	123	89	147	149	145					91	129	131	129	計	
	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	轉
	兵三	兵二	兵一	兵四	兵三	兵二	兵一	兵三	兵二	兵一	兵二	兵一	兵三	兵二	屬
	33	3	6	7	6	1	6	6	6	21	5	7	8	着	
	28	29	37	40	38					30	34	40	41	徴口一昭	
	54	45	72	71	71					41	58	72	78	徴一"	
8	12	32	31	30					18	32	12	2	兵集百		
90	86	141	142	139					29	124	124	121	計		
ITL	IMG	IMG	9	8	7	6	5	4						人員受授	
隊中各	IA	IMG	9	8	7	3	8	2	7	1				受領差出	
13	Z	Z	Z	3										部隊	
15	7	7	34	6										徴口一昭	
4		8												兵集百	
42	9	9	63	7										計	
														摘要	

附表第五其二

轉出人員區分表

考 備	轉出部隊名	將 校	下士官	兵	計
(一)ヲ附シアルハ兵ニシテ下士官トシテ轉屬セラルモラニス	第二十六師團		四	四	四 (一)
	歩兵團司令部	一	二		三
	獨立歩兵第十三聯隊	二三	八 (三)	五四九	六五三 (三)
	獨立野砲兵第十聯隊	一	(三)		一 (三)
	工兵第三十六聯隊		(一)		一 (一)

轉出馬匹区分表

	計		計		受領部隊	
	第三六師團通信隊		獨立步兵第十聯隊		差出部隊	
					用役別	
	乗馬		乗馬		頭數	
	轆駄馬		轆駄馬		摘要	
	六	五	一	三 四	二 七	七

附表第六、其二

備考	借	現在充足人員表	獨立歩兵第十一聯隊
	少佐	人員	要
一 整備人員区分表中本表ノ外 在 充足ナシ			

其二

現在充足馬匹表		獨立歩兵第十一聯隊	
用役別	現在馬數	摘	要
乘馬	一八		
鞍馬	四二	鞍馬一五、	鞍馬二七、トス
計	六〇		

其ノ三

整備馬匹整備区分表 獨之歩兵第十一聯隊					
用役別	定数	現在数	充足馬数	整備馬数	備考
乘馬	三九	一八	二一	二一	
鞍馬	一四〇	四二	九一	九一	
計	一七九	六〇	一一九	一一九	
<p>本表中、充足並整備馬数中、三六匹係備三蹄ヲ含ム モノトス</p>					

附表第七其之二

獨立歩兵第十聯隊將校職員表

昭和一二、一〇、二五
獨歩十一

聯隊本部	大隊本部	中砲隊長	中砲隊	小砲隊
聯隊長 大佐 小田貞雄	大隊長 大佐 基	中砲隊長 大尉 根本四六	中砲隊	小砲隊
副官 少佐 福永勇吉	副官 大尉 芝作造	中砲隊長 中尉 富澤太郎	中砲隊	小砲隊
旗手 少尉 杉山義次	軍醫 尉 野勝江	中砲隊長 少尉 澤年三郎	中砲隊	小砲隊
聯隊附 大佐 有田清樹	中砲隊長 中尉 山口京次	中砲隊長 少尉 高橋渡橋	中砲隊	小砲隊
大佐 岩根清夫	大隊長 大佐 越夫	中砲隊長 大尉 永野勉	中砲隊	小砲隊
大佐 木村雄三郎	副官 大尉 西垣宗太郎	中砲隊長 大尉 廣川禮順	中砲隊	小砲隊
		中砲隊長 大尉 高直樹	中砲隊	小砲隊
		中砲隊長 大尉 伊藤正太	中砲隊	小砲隊
		中砲隊長 大尉 中村茂藏	中砲隊	小砲隊
		中砲隊長 大尉 井島幸雄	中砲隊	小砲隊
		中砲隊長 大尉 高直樹	中砲隊	小砲隊
		中砲隊長 大尉 伊藤正太	中砲隊	小砲隊
		中砲隊長 大尉 中村茂藏	中砲隊	小砲隊
		中砲隊長 大尉 井島幸雄	中砲隊	小砲隊

6260
6.2.2

備考 一隊隊本部欄中定員外ハ重傷者ヲ示ス ニ予ハ隊備役ヲ示ス	大尉 三浦 壽 少佐 関 八洲 大尉 高木 卓一 大尉 田島 寛 大尉 井上 樽文郎 定員外 大尉 神野 正夫 大尉 矢野 榮 大尉 小森 次作							
	通信隊		歩兵砲隊		III		軍醫	
	中尉 山田 兵二	大尉 伊藤 平八郎	大尉 大塚 仁作	大尉 長屋 義衛	大尉 岡村 重吉	大尉 鈴木 次郎	中尉 河村 千代松	中尉 小久保 藏之助
	大尉 榎 逸吾	大尉 三浦 敏威	大尉 松崎 長次郎	大尉 山本 立夫	大尉 落合 正	大尉 植村 嘉太郎	大尉 大藪 忠三	大尉 大藪 忠三

備
考

小林善信
大木三郎
安部元二
鉦

△△重傷入院患者ヲ示ス

通信隊 △岩谷幸一 △自信謙士 △小坂一郎 △清水一彌 △大堀常次 △西倉定夫	歩兵砲隊 △佐藤久次郎 △平田直正 △榎部大和 △下村三郎 △藤止男 △友井房芳 △前田東一	III						藤田 國彦 藤田 正範 皆川 犬 志村 守 千葉文彌 宗方末夫 川瀬健次 大坂不二夫 今津九郎 功	予備方 幸 飯田 勇 大迫保夫 今塔 剛		
		齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一	齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一	齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一			齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一
		齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一	齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一	齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一			齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一
		齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一	齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一	齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一			齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一
		齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一	齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一	齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一			齋藤 清 石田 正治 江花 勝衛 園田 陽次	藤田 喜明 井 貞則 松川 初美 永徳 嘉一

附表第廿八其二

轉出者着裝被服員數表 獨立歩兵第土聯隊

品目	單位	推計以上	下士官以下	備考
戰帽	個	—	—	
軍衣	〃	—	—	襟章肩章臂章精勳章ツケ
軍袴	〃	—	—	
卷脚絆	組	—	—	
外套	〃	—	—	
冬襦袢	〃	—	—	
冬袴	〃	—	—	
軍靴	〃	—	—	
鐵帽	個	—	—	
鐵履	〃	—	—	
昔囊	〃	—	—	
雜囊	〃	—	—	各部下士官ヲ除ク
水筒	〃	—	—	
飯盒	〃	—	—	
天幕	式	—	—	
被服手入具	〃	—	—	小刀、糸巻ノミ
地下足袋	組	—	—	
防塵眼鏡	〃	—	—	
防毒面甲	個	—	—	
戰用縫工組	組	—	—	大隊本部ニ於テニ組
戰用工員	〃	—	—	右同

備考
 一臨時通譯、現在借用中ノモノトス
 二本表以外ニ靴下襟布各ニ手袋一ヲ含ミ其他ノ被服ハ全部守井曹長ニ連ニ返納スルモノトス
 三毛布及季節外被服ハ總テ残置スルモノトス

獨立歩兵第十三聯隊ニ差出スルキ衛生材料表

備考	品目	区	介	稱呼	差出部隊			計	摘要
					工	五	四		
	隊医板	号	一四号	組		一	一		
	担架			具		八	八		
	軍医携帶嚢			〃		一	一		
	医療嚢			〃		一	一		
	繃帶嚢			〃		四	四		
	隊医板			〃		一	一		
	互斯治療嚢	甲		〃		一	一		
	同	乙		〃		一	一		
	同	丙		〃		四	四		
	陳毒包			筒					將枝以下 五人付一筒宛トス
	淨水錠			〃					
	三角巾			枚					衛生上官以下各付一〇枚宛
	吳氏列木小			〃					衛生上官以下各付四枚宛
	繃帶包			筒					將枝以下一筒宛

0934

附録第一

極秘

昭和十二年十月五日

編制改正ニ関スル書類

獨立歩兵第十一聯隊

福永

0935

獨立歩兵第十聯隊編制改正要領

軍事機密
一連第
番號 10
號

〔紙數
附表 10
枚 枚〕

昭和十一年十月五日
獨立歩兵第十聯隊
調製

9860

独立歩兵第十一連隊編制改正ヲ實施ス

仍テ本要領ニ據リ實施スヘシ

本要領ハ編制改正完結後直ニ返納スヘシ

昭和十二年十月五日

独立歩兵第十一連隊長

千田貞雄

獨歩十一編制改正要領

昭和一三、一、五
獨歩十一

一、編制改正ニ當リテハ滿洲派遣第二十六師團編成要領

同細則、同編成ニ關スル規定ニ依リ實施スヘシ

要領ニ編制改正部隊ノ編制編成管理官及整備管理官七ノ如シ
第ニ條

部	隊	編成管理官	整備管理官
獨歩兵第十一聯隊	關東軍司令官	留守第三師團長 留守第六師團長 留守第十四師團長	

同 三、獨立歩兵聯隊ノ大(中)隊(機關銃中隊ヲ除ク)ハ第一ヨリ一連ノ番號

ヲ附スルモノトス

獨立歩兵聯隊ノ機關銃中隊ニ在リテハ各當該部隊毎ニ大

ろ 隊ノ番號ノ順序ニ第一ヨリ一連ノ番號ヲ冠スルモノトス

要領 四 編成管理官ハ左記各號ニ依リ編制改正ヲ實施セラル

ノ編制改正ノ爲所要ノ人馬ハ特ニ示スモノノ外 獨混十一旅ノ

現在ノ人馬 陸軍大臣ノ特ニ配属スルモノヲ用ヒ 其ノ不足ハ整

備管理官ノ整備スル人馬ヲ以テ 補填シ 已ムヲ得サレハ

當分ノ内編制改正部隊ノ定員(數)ヲ缺キ又ハ若干ノ定

員(數)外ノ人馬ヲ置クコトヲ得

2. 本令受領後成ルヘク速ニ編成ニ着手シ 整備スヘキ人馬

數ヲ整備管理官ニ請求スルモノトス

3. 独歩十二、十三ハ、情况之ヲ許ス時期ニ於テ独歩十二、十三ノ平時ハ馬ト整備人馬トヲ以テ各聯隊ノ素質ヲ概ネ平等ナラシムルモノトス

4. 各部隊ハ情况之ヲ許ス時期ニ於テ各中隊毎ニ其素質ヲ概ネ平等ナラシムル如ク平時ハ馬ト整備人馬トヲ安配スルモノトス

5. 師團通信隊兵要員ノ概ネ半部ハ現役人員ヲ配當スル如ク獨歩十二、十三ヨリ所要ノ人員ヲ轉屈スルモノトス

要領
第五條

五. 整備人馬ハ整備管理官隷下ノ留守部隊ノ人馬

教育及勤務ニ必要ナル

4

既教育者ヲ除キ未教育者
補充兵中優良ナルモノヲ含ム

又昭和十一年度動員計画ノ待命員ノ
以テ之ヲ整備スルモノトス但シ已ムシ得サレハ整備ハ馬ニ若干

教員(教)ヲ設クルコトヲ得

要領
第六條

新ニ内地ヨリ派遣セシムヘキ人馬ハ編制改正部隊ニ到着ノ

時ヲ以テ原所屬長官ノ隷下ニ脱シ關東軍司令官ノ隷下

ニ入ルモノトス

◎

要領
第七條

編制改正完結セハ速ニ其完結ヲ報告シ且將校各部

將校^{准士官}文官職員表人馬一覽表^{ヲ含ム}並編成^ス又ハ編制改正

完結日一覽表ヲ呈出スルモノトス

要領八附則
第條

本要領ニ依ル編成又ハ編制改正部隊ハ臨時編成
部隊トス

○本堂分ノ内本要領附表第三乃至第八備考中ノ位長勤
務ノ制度ヲ廢止シ又軍曹位長衛生兵ノ各定員區分
ヲ變更スルコトヲ得

九附表

- 第一ノ獨立歩兵聯隊編制表 (要領八附則第三)
- 第二編制編成改正ノキ部隊編成及編制擔任官ノ覽表

5

考	衛	銃工下士官	火工下士官	技術准尉	獣医務下士官	獣医尉官	衛生兵	衛生下士官	軍医尉官	軍医中少佐	装工下士官	縫工下士官
<p>(一)大隊全中隊一機関銃中隊ヨリ成ル</p> <p>(二)大隊本部隊長軍曹ヨリ内一名書記一名炊事長分課トス</p> <p>(三)中隊機関銃中隊歩兵隊及通信隊軍曹伍長定員全部ヲ合シ軍曹百三十名伍長二十五名トス</p> <p>(四)中隊歩兵内五名機関銃中隊及歩兵隊隊長等兵内四名通信隊中隊兵内三名伍長勤務トス</p> <p>(五)隊内銃隊兵内機関銃要員大隊砲要員ノ概テ四トス</p> <p>(六)歩兵隊兵内機関銃要員速射砲要員ノ概テ半數死トス</p> <p>(七)衛生兵定員衛生二等兵同一三等兵各半數死トス</p> <p>(八)當分内隊隊本部中少尉八名砲工兵技術准尉ヲ以テ各入ルコトヲ得</p> <p>(九)本表ノ外隊備馬三頭ヲ置ク</p> <p>(十)本表ノ外人馬ヲ増カスルコトヲ得</p>	合計	一七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	三三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	八	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	九	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	四	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一九三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一七六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	二	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一四七	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	七	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	九六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	三二六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二五六八	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一七六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

附表第二

編成〔編制改正〕スヘキ部隊編成地編成担任官一覽表

備 考	第二十六師團						編成〔編制改正〕部隊	編成地	編成担任官	
	師團司令部						張家口			
一本表以外臨時轉屬ヲ命セラレモノアリ	歩兵團						張家口	獨立混成第十旅團長	獨立重兵第十中隊長	
	第二十六師團歩兵團司令部						大同			
	獨立歩兵第十一聯隊						大同			獨立歩兵第十一聯隊長
	獨立歩兵第十二聯隊						張家口			獨立歩兵第十二聯隊長
	獨立歩兵第十三聯隊						張家口			獨立歩兵第十三聯隊長
	第二十六師團搜索隊						大同			獨立騎兵第十中隊長
獨立野砲兵第十聯隊						大同	獨立野砲兵第十聯隊長	獨立重兵第十中隊長		
工兵第二十六聯隊						張家口	獨立工兵第十中隊長			
第二十六師團通信隊						張家口	獨立通信第十中隊長	獨立重兵第十中隊長		
輜重兵第二十六聯隊						大同	獨立輜重兵第十中隊長			

0945

軍事機程第一卷第 10 號

獨立歩兵第十一聯隊編制改正關スル規定

紙數表共 1 枚
附表 5 枚

昭和十二年十月五日
獨立歩兵第十一聯隊

千編改第〇第

獨立歩兵第十一聯隊編制改正ニ関シテ八本規定

ニ據ルヘシ

昭和十二年十月五日

獨立歩兵第十一聯隊長 千田貞雄

獨立歩兵第十一聯隊編制改正ニ関スル規定

規定 第一條 聯隊ハ要領 第四條ニ據リ昭和十二年十月五日ヨリ着手シ成ルヘク速ニ編制(成)編制改正ヲ完

結スルモトス

規定 第二條 編制改正部隊ノ編成要員數トシテ軍司令官

ノ特ニ配屬スル人馬並其差出区分附表第一ノ如シ

規定 第三條 編制改正部隊ノ要員ハ各部隊ノ現在人員(第

ニ條ニ依リ他部隊ニ轉属スル者ヲ除キ轉入スル者ヲ含ム)及陸軍大臣配

屬者ヲ以テ充當ニ其ノ不足ハ附表第三様式

ニ依リ速ニ軍司官ニ請求スルモノトス

規定第六條 第四條 編制改正ノ爲滿洲國內ニ殘置スル部隊及

人馬物件特ニ示スルモノ、外出勤部隊ニ迄

及セシムルモノトス

但ニ其ノ時機ニ関シテハ別ニ示ス

規定第七條 第五條 關東軍下士官候補者隊及其他ニ分派遣中ノ

第一年度下士官候補者ハ編成改正部隊ノ下

士官要員トシテ充用スルモノトス

規定第八條

第六條 編成改正部隊所要ノ馬匹ハ各部隊ノ平時保管馬

上第二條ニ依リ他部隊ニ轉居スル者ヲ除キ時人不足者ニ付

並假定教馬及陸軍大臣配屬馬匹ヲ以テ充當シ尚不足スルモノハ部隊別用役別ニ区分

速^ニ軍司令官^ニ報告スルモノトス
 前項不足馬匹ハ軍^ニ於テ購買ノ上之シラハ
 付ス

規定

第九條 第七條要領第四條並細則第三條及本規定第二條ノ

人馬ヲ以テ編制改正ヲ實施シ其結果編制
 員數^ニ超過スル人馬ハ當該部隊ノ定員數^ニ
 ト爲シ人員^ニ在リテハ部隊別階級別^ニ馬匹
^ニ在リテハ部隊別用役馬數^ニ区分シ編成定
 結後速^ニ軍司令官^ニ報告スルモノトス

規定

第十條 第八條今次事變ノ爲各部隊^ニ於テ徵傭^ニ購買^ニシアル

人馬車輛〔自動車〕ハ特ニ示スモノノ外ハ本編制改正ノタメノ要員〔教〕ニ充當セサルモノトス

規定第九條 編制改正部隊ノ特〔分〕業者及工務兵ノ定員表

中変更ヲ要スルモノアル時ハ編制改正完結後師團長ニ於テ軍司令官ニ申請スルモノトス

規定第十條 編制又ハ編制改正部隊ノ要員〔教〕トシテ轉属

スヘキ人馬ノ個人〔各馬〕裝備用戰用品〔諸〕ハ細則

第八條ニ準シ現所屬部隊保管ノモノヲ著者

又ハ携行セシムムルモノトス

規定第1條編成又ハ編制改正部隊所要ノ部隊裝備用兵
 庫^庫第1條

器^{器材}ハ現ニ各部隊ニ於テ保管中ノモノヲ
 以テ充當シ其ノ不足ハ関東軍野戦兵器廠ヨ
 リ之ヲ交付スルモノトス

前項ノ兵器ノ充當区分ニ関シテハ別ニ示ス
 規定第1條編成又ハ編制改正ノ結果生ミタル過剩兵器
 庫^庫第1條

及特別支給兵器^{兵器}ハ舊保管部隊ヨリ返
 納兵器品目員数表ヲ添ハ之ヲ関東軍野戦兵
 器廠ニ返納スルモノトス

規定
第11條

但シ現品ノ移動ニ関シテハ別ニ示ス

現ニ各部隊ニ於テ保管中ノモノヲ以テ充當
シ其ノ不足ハ関東軍野戦兵器廠ヨリ之ヲ交
付スルモノトス

規定
第11條

之カ爲各編成団在官ハ其過不足ヲ附表第一

様式ニ依リ速ニ軍司令官ニ報告スルモノトス
第十乃至第十五條ニ依リ過不足兵器並兵
器用物品ノ處理ニ関シテハ軍兵器部長ヨリ

指示セラレ

規
定
第
七
條
第
十
五
條
關
東
軍
野
戰
兵
器
廠
長
ハ
新
設
部
隊
所
要
ノ
兵
器

修
理
用
物
品
及
午
入
材
料
約
二
月
分
ヲ
整
備
ノ
上
成
ル
ヘ
ク
速
ニ
編
成
担
任
部
隊
ニ
交
付
ス
ル
モ
ノ
ト
ス

規
定
第
八
條
第
十
六
條
編
成
又
ハ
編
制
改
正
部
隊
ノ
所
要
ノ
被
服
糧
秣
公
用
行
李
給
養
器
具
馬
匹
手
入
具
縫
靴
工
具
等
ハ
現
在
各
部
隊
ニ
於
テ
保
管
中
ノ
モ
ノ
ヲ
以
テ
充
當
シ
其
ノ
不
足
ハ
關
東
陸
軍
倉
庫
ヨ
リ
之
シ
テ
交
付
ス

ルモノトス

前項不足諸品交付ノ細部ニ関シテハ軍經理
部長ヨリ指示セラル

規定
第7條編成又ハ編制改正部隊所要ノ衛生材料ハ先

リ當該部隊保管ノモノヲ以テ充當ニ尙不足
スルモノハ関東陸軍倉庫ヨリ之ヲ交付スル
モノトス

前項不足衛生材料ノ交付ノ細部ニ関シテハ
軍軍医部長ヨリ指示セラル

規定第六條編成又ハ編制部隊所要ノ獸医材料及蹄鉄ハ
常務條

先リ當該部隊保管ノモノラ充當シ尙不足ス
 ルモノハ関東軍陸軍倉庫ヨリ之ヲ交付スル
 モノトス

前項不足獸医材料及蹄鉄交付ノ細部ニ関シ
 テハ軍獸医部長ヨリ指示セラル

規定第六條編成又ハ編制改正部隊所要ノ戰時諸條規勅
常務條
 務令及戰用地圖ノ不足ハ関東軍司令部ヨリ
 之ヲ交付ス

規定 第三條 編成又ハ編制改正ノ爲移勤スヘキ部隊並人

馬諸物件ノ滿洲國〔關東州〕内及北支鐵道中野戰

鐵道司令官ノ輸送担任区域内ニ於ケル鐵道

輸送及輸送途中ニ於ケル宿營給養ハ野戰鐵

道司令官之ヲ處理スルモノトス

規定 第三條 各編成担任官ハ編成又ハ編制改正部隊將校

各部將校〔上級職ヲ採ラシムル〕ノ職務命課意見ヲ附表第

二 表様式ニ依リ陸軍大臣配屬者決定後速

ニ軍司令官ニ上申スルモノトス

規定 第三條 各編成担任官ハ編成〔編制改正〕完結セハ^{速ニ}其ノ

完結ヲ軍司令官ニ報告シ且以將校各部將校

〔准士官〕文官職員表並人馬一覽表ヲ附表第三

様式ニ依り速ニ提出スルモノトス

規定 第三條 各編成担任官ハ編成完結セハ成ルヘク速ニ

編成詳報六通〔軍ニ通、兵團、師團、旅團、連隊、中隊〕ヲ提出スルモノトス

規定 第三條 本編成又ハ編制改正ノ爲所要経費ハ臨時軍

事費ノ科目区分ニ依リ速ニ所掌額ヲ軍司令

官ニ申請スルモノトス。

滿洲派遣第三十六師團編成要領細則拔萃 其

第五條編成又ハ編制改正スヘキ部隊ノ中(砲)隊長等ノ要員ニハ

勉メテ現任之混成第十一旅團ノ尉官ヲ以テ之ニ充テ整

備人員中ノ大(中)尉要員ノ請求ヲ最少限度ニ止ムルモノトス

第六條各部隊ノ特(分)業者及工務兵ノ定員ハ附表(第一ノ如シ)

但シ當分ノ内備考(五)ノ定員区分ニ依ラサルコトヲ得又

整備管理官ハ得員ノ關係上已ムラ得サレハ整備人員

中ノ特業者ノ数ヲ若干變更スルコトヲ得

第七條編成又ハ編制改正部隊ハ令達豫算内ニ於テ行李其他

兵器、器具、材料等ノ運搬並患者及病馬ノ診療等ノ爲

旅遣地ニ於テ所要ノ人馬ヲ徵傭スルコトヲ得

其ノ三 兵器、被服、糧秣、材料等

第八條内地ニ於テ整備スル人馬(各馬)裝備用戰用諸_口被

服_{ニ在リテ}第八條ノ着裝品_{ニ限リ}ハ特ニ示スルモノノ外整備師團_{ニ於テ}

完備上旅遣スルモノトス

第九條編成又ハ編制改正部隊兵器ノ定數ハ附表第四ノ如シ

第十條内地ニ於テ整備スル人馬(各馬)裝備ニ要スル兵器ハ戰

用準備品ヲ使用ス

部隊裝備用兵器ヲ先ツ獨立混成第十一旅團保管ノモノヲ
充當シ其ノ不足ハ陸軍兵器廠ヨリ之ヲ交付ス

第十一條 整備人員中下士官兵ノ著裝被服ハ戰用品兵器ヲ定數表

李節外ノモノ軍靴
一組及モ布ヲ除クニ準スルモノトス

第十二條 編成又ハ編制改正部隊特種被服及備付被服ノ定數ハ在

滿陸軍部隊臨時給與令細則第五表ニ對スル下士官兵被

服ノ定數亦同シ

第十三條 編成又ハ編制改正部隊ノ公用行李給與器具ノ定數ハ附表

第五表ニ先ツ現存現造之混成第十一旅團保管ノモノ

ノラ充當シ其ノ不足ハ関東軍陸軍倉庫ヨリ之ヲ交付ス

第四條 編成又ハ編制改正部隊ノ人馬ハ陸軍戰時編成ニ定ムル携

帶糧秣ノ全量ヲ携行スルモノトス、整備人馬ノ所要ノ携

帶糧秣ハ成ルヘク戰用操下品又ハ充當過品ヲ使用シテ

ムラ得サルモノハ戰用準備品ヲ使用スルモノトス

第五條 編成又ハ編制改正部隊ノ衛生材料ノ定數ハ附表第五

ノ如ク整備人員ノ所要ノ個人裝備用衛生材料對互斯衛生
材料ヲ除クハ

戰用準備品豫備品
得モノハ成ルヘク之ヲ充當シ得ニシテ充當シラ使用スルモノトス

編成又ハ編制改正部隊人員ノ所要ノ對互斯衛生材料及部

隊裝備用衛生材料ハ先ツ現獨之混成第士旅團保管ノ
モノヲ充當シ其ノ不足ハ關東軍陸軍倉庫ヨリ之ヲ交付ス

第士旅編成又ハ編制部隊ノ獸医材料ノ定數ハ附表第五^{其四}如シ

内地ニ於テ整備スル人員所要ノ獸医材料ハ戰用準備品
常用品ニシテ充當シ得ル
モノハ成ルヘク之ヲ充當ス
ヲ使用シ其ノ不足數ハ陸軍衛生材

料廠ヨリ交付ス

部隊裝備用獸医材料ハ先現獨之混成第士旅團保管
ノモノヲ充當シ其ノ不足ハ關東軍陸軍倉庫ヨリ之ヲ交付ス

第士旅戰時諸條規、諸勤務令ノ携行区分ハ附表第六ノ如ク

先ツ現獨之混成第士旅團保管ノモノヲ充當シ其ノ不足
ハ編成管理官陸軍大臣ニ請求スルモノトス

附 則

要領實施ニ要スル経費ハ臨時軍事費支辨トス

附表第一

編成(編制改正)要員配屬区分表

第二十六師團		被配屬部隊	配屬部隊(人馬)	差出区分
師團司令部	大尉(副官)一、 主計(書記)一、	師團司令部	同上(書記)一、 主計(書記)一、	
	大尉(副官)一、 主計(書記)一、	步兵團司令部	同上(書記)一、 主計(書記)一、	
獨立歩兵第十三聯隊	連長(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	連長(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	
	大尉(中尉)一、 軍医(少尉)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	
	大尉(中尉)一、 軍医(少尉)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	
	大尉(中尉)一、 軍医(少尉)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	
	大尉(中尉)一、 軍医(少尉)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、	
獨立歩兵第二十六聯隊	主計(書記)一、 衛生(書記)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、		
第六師團通信隊	無線(軍曹)一、 主計(書記)一、 通信(書記)一、	同上(書記)一、 主計(書記)二、 衛生(書記)一、		

備考

一本表人馬八十月五日附之ヲ轉屈セシムルモノトス
 二独立歩十一ヨリ独立歩十三ニ配屬スルキ建制ノ步兵一大隊中ニ幹部候補生
 ラ除キ馬匹(系馬各三、挽鞍馬各一七)ヲ含有セシムルモノトス

0964

附表第二

將校各部將校(上級職)命課意見表 獨之歩兵第十聯隊

聯隊長	大佐 千田貞雄	大隊副官	大尉 下芝作造	機關銃小隊長	中尉 三根義男
副官	少佐 福永勇吉	中尉 西垣宗太郎	少尉 高橋煥橘	少尉 緒方政雄	少尉 九
旗手	少尉 杉山義次	中尉 岡野勝江	少尉 欠	少尉 欠	
隊附	中佐 有田清樹	中尉 小竹兵一郎	少尉 欠	步兵砲隊長	大尉 伊藤平八郎
	少佐 岩根清夫	大尉 宋根本四六	大尉 岡村重吉	步兵砲隊長	中尉 龜澤義夫
	少佐 木村雄三郎	大尉 岡村重吉	大尉 岡村重吉	通信隊長	中尉 三浦敏成
	少佐 欠	大尉 柳澤宇三郎	大尉 柳澤宇三郎	有線小隊長	中尉 山田兵三
	中尉 三浦壽	大尉 永野勉	大尉 永野勉	無線小隊長	少尉 栗栖逸吾
	大尉 欠	大尉 長尾義衛	大尉 廣川禮順	無線小隊長	少尉 欠
	大尉 欠	大尉 廣川禮順	大尉 廣川禮順	無線小隊長	少尉 欠
主計	少佐 岡八洲	中尉 小森藏助	中尉 小森藏助	計	四九名
	大尉 岡八洲	少尉 欠	少尉 欠	欠計	三九名
軍醫	少佐 西島寬	少尉 伊藤正太	少尉 伊藤正太	定員外	重傷兵
獸醫	大尉 井上櫻文郎	少尉 山本立夫	少尉 山本立夫	中尉 神野正夫	
	大尉 井上櫻文郎	少尉 大藪忠三	少尉 大藪忠三	中尉 安島直樹	
	大尉 井上櫻文郎	少尉 井島幸雄	少尉 井島幸雄	中尉 矢野榮	
	大尉 井上櫻文郎	少尉 落合正弘	少尉 落合正弘	中尉 小森次作	
	大尉 井上櫻文郎	少尉 日高弘	少尉 日高弘	計四名	
	大尉 井上櫻文郎	少尉 植村嘉太郎	少尉 植村嘉太郎		
	大尉 井上櫻文郎	少尉 欠	少尉 欠		
第三大隊長	少佐 松吉赴夫	機關銃中隊長	大尉 山口京次		
	少佐 松吉赴夫	大尉 山口京次	大尉 山口京次		
第一大隊長	少佐 石丸繁雄	中尉 河村十代松	中尉 河村十代松		
	少佐 石丸繁雄	中尉 河村十代松	中尉 河村十代松		

附表第三廿二
規定附表第七様式

第六師團將校各部將校^{上級職准尉}高等文官職員表
昭和十五年十月日

師團司令部	部令司		第六師團搜索隊	第三師團通信隊
第二十六師團歩兵團	獨立第六師團上聯隊	独立十二 独立十三	獨立砲兵第六師團上聯隊	第三師團通信隊
	聯隊長 大佐 何某			
	聯隊副官 少佐 何某			
	榎手 小尉 何某			
	隊附 中佐 何某			
	少佐			
	大尉			
	中尉			
	少尉			
	主計 主計 何某			
	主計 主計 何某			
	軍醫 軍醫 何某			
	軍醫 軍醫 何某			
	隊長 隊長 何某			
	少佐			
	大隊副官			
	大隊副官 大隊副官 何某			
	中尉 中尉 何某			
	大尉 大尉 何某			
	大尉 大尉 何某			
	大尉 大尉 何某			
	大尉 大尉 何某			
	大尉 大尉 何某			
	備考			

人馬一覽表

昭和十二年十月 日調製

備考	合計	部		階
		種	役	
		佐	大	兵
		佐	中	
		佐	少	
		尉	大	
		尉(少)	中	
		尉	准	
		長	曹	
		長	曹	科
		徴	昭	
		徴	昭	
		徴	昭	
		計		
		官	下	部
		官	下	
		官	士	
		官	士	
		官	士	
		官	士	
		官	士	
		官	士	
		徴	昭	
		徴	昭	
		官	佐	部
		官	尉	
		官	尉	
		官	士	部
		官	士	
		官	士	
		官	文	部
		官	文	
		員	人	部
		員	人	
		計		
		計	別	部
		馬	馬	
		馬	馬	
		計		

0967

8960

附表第四

滿洲派遣第二十六師團獨立步兵聯隊兵器定数表

品目	部		隊		聯隊		計	
	本部	本隊	本部	本隊	本部	本隊	本部	本隊
三十二年式軍刀乙			六					
三十年式銃剣				一				
三八年式步兵銃					一八五	一六七	二二六	九二
三八式步兵銃					一八三	八三	六	九
三八式携帶豫備品					二七	三〇	二四	九
十四年式拳銃								三六
十年式擲彈筒				一				
八九式重擲彈筒								一〇八
十一年式輕機関銃					九			九〇
三脚架乙					九			八一
空乞銃身					九			八一
彈藥盒					九			八一
彈匣					三六			三二四

三隊 九中隊
二步兵中隊
通信隊
計

1460

品目	部隊	銃		銃		銃		銃		銃		銃		銃		銃		銃		銃		銃		銃	
		身用	架用	身用	架用	身用	架用	身用	架用	身用	架用	身用	架用	身用	架用	身用	架用	身用	架用	身用	架用	身用	架用	身用	架用
九一式曳火手榴彈	本聯	1200																							
八九式榴彈	本聯	400																							
九二式步兵砲輓馬具	二中	180																							
三式機關銃	一機																								
馬具	砲兵																								
三式機關銃	砲兵																								
馬具	砲兵																								
砲架用	砲兵																								
砲架用	砲兵																								
脚及器具箱用	砲兵																								
砲架及車輪用	砲兵																								
馬具	砲兵																								
砲架用	砲兵																								

手榴彈箱	藥	彈	用砲	操	十式擲彈筒彈藥九一式除藥筒 發射機筒用度以手榴彈	木メー浮秤車、輕	大 隊 旗	喇 叭	刀 劍 附 刃 器	九三式野戰輕測遠機	九三式五十種觀測鏡	九三式砲隊鏡	九三式雙眼鏡	八九式雙眼鏡
	四式山砲	九式步兵砲	七糎砲	九式三十										
	榴彈及藥筒	榴彈及藥筒	榴彈及藥筒	榴彈及藥筒		各一			四大					一
二														
八							一							一
						三			四		一	九		
		一							二	一	一	一	一	一
	四		一	三					四	二	二	八	三	
									一					
									四					
	四	四	一	三		各一			九	四	一	二	二	一
八	〇	二	六	二		二七	三	三	五	六	二	五	九	〇

五

備	三 八 式 輜 重 車 鞍 馬 具	輜 重 車 鞍 馬 具 兩 頭 鉞			
<p>一 八二式歩兵砲彈藥箱 手榴彈箱 八九式重擲彈筒彈藥箱 藥箱 素箱ヲ以テ 代用スルコトヲ得</p> <p>二 本表甲甲隊輕機関銃手九当 三八式歩兵銃ニ對シテ三八式歩兵銃彈藥 盒三十組及油壺ヲ除クモトス</p> <p>三 本表外自衛用トシテ小銃八〇同定包ニ四〇ヲ增加備付ス</p> <p>四 九一式火手榴彈ハ舊式手榴彈ヲ以テ代用スルコトヲ得</p> <p>五 三式山砲鞍馬具砲身用ハ大架用ヲ以テ代用スルコトヲ得</p> <p>六 本表甲規定ノ携行法ニ依ルヲ得ナルモノハ適宜梱包携行スルモノス</p> <p>七 獨立歩兵聯隊器材ノ定數ハ別表ニ據ルモトス</p> <p>八 三九式輜重車甲ハ三六式輜重車ヲ以テ代用スルコトヲ得</p>	<p>一</p> <p>二</p> <p>四</p> <p>二</p> <p>二</p>	<p>一</p> <p>一</p> <p>一</p> <p>一</p> <p>一</p>	<p>一</p> <p>一</p> <p>一</p> <p>一</p> <p>一</p>	<p>一</p> <p>一</p> <p>一</p> <p>一</p> <p>一</p>	<p>一</p> <p>一</p> <p>一</p> <p>一</p> <p>一</p>

附表第五

其一 獨立歩兵第十一聯隊公用行李定数表

數量	所 簡	聯隊本部
		大 隊
		歩兵砲隊
		通信隊
		計 摘
		要
		計 中
		軍醫部
		軍醫官
		主計佐尉官
		五

其二

獨立歩兵第十一聯隊給養器具定数表

數量	所 簡	燒水器	
		沸水壺	
		燒水壺	
		打込作井機	
三	一	一	三

其三

衛生材料定数表

獨立歩兵第十一聯隊

隊醫板	隊醫	隊醫治療	備帶表	隊亞斯	亞斯治療	備衣
-----	----	------	-----	-----	------	----

部 隊		其ノ四	
第十聯隊	獨之歩兵	三	一三三(四子)
	獸医校	二	二四(具)
—	甲獸医 行李	同シ	携帶衣袋(具)
—	乙獸医 行李	同シ	軍医佐尉 衛生下士 衛生兵 衛生兵
同シ	獸医佐尉 官ノ定員	同シ	具 医 校
同シ	獸医下士官 官ノ定員	同シ	甲
二	野戰蹄携帶餅 鐵工具	三	乙
同シ	蹄鐵工兵 兵ノ定員	同シ	丙
	獸医校 行李	同シ	
同シ	獸医佐尉 官ノ定員	同シ	
同シ	獸医下士官 官ノ定員	同シ	

獸医材料定員表

附表第六

戰時諸條規諸勤務令携行区分表 獨歩兵第士聯隊

名	稱	部数
陸軍勤員計畫令	同細則	—
年度勤員計畫	同細則	—
戰時經理部勤務令		三
戰時衛生勤務令		四
戰時獸医部勤務令		—
戰時補充令		—
戰時野時彈藥補給令		—
野戰衣糧廠勤務令		—
鐵道輸送諸部勤務令		—
物資蒐集部勤務令		—
戰時本令	庫勤務令	—

考 備

一本表外必要應に陸軍成規類聚、陸軍電信符号、及
 戰時必要ナル諸條規ヲ携行スルモノトス、
 二本表ニ示ス名稱ニテ勤務令ノ制定ニ依リ其ノ名稱ニ差異
 ラ生スルモノハ新勤務令ニ依ルモノトス

附表第八

兵器用物品不足表

昭和十二年十月
陸歩兵第十一聯隊

品 目	所 要	現 在	不 足	單 價	小 計	摘 要
	數	數	數			

考 備

調製上ノ注意
一單價不明ノモノハ概價ヲ記入シ其旨摘要欄ニ附記スルモノトス

特業別人員調査表

第一〇一五

隊

種別	各隊		定員		徴集				計	區不足人員数
	一般隊	M隊	歩兵隊	通信隊	一〇年徴集	一一年徴集	召集兵	計		
隊長	1	1	1	1					4	
中少尉	3	4	6	2					15	
准尉	2	2	2	1					7	
曹長	2	2	2	1					7	
軍曹伍長	13	15	14	9					41	
計	21	24	25	14					84	
一等上等兵	5	2	1	1					9	
二等上等兵	4	2	1	1					8	
三等兵	4	8	7	5					24	
輕機	4	6							10	
擲彈筒手	2	4							6	
瓦斯兵	1	4	6	6					17	
刺刀手	4	4	4	2					14	
通信手			1	6					7	
觀測手		4	6						10	
火工兵			4						4	
銃工兵	6	6	2	2					16	
蹄鉄工兵		4	4	2					10	
縫工兵	4	4	4	2					14	
靴工兵	4	4	4	2					14	
衛生兵	2	2	2	2					8	
裝甲車手										
自動車手										
木工手										
石工手										
發動機工手										
機工手										
電工手										
靴工手										
計	172	152	112	82					518	
合計	193	176	147	96					612	

備考

一 本表ニ定員外人員ヲ含マサルモノトス
 二 區不足人員ハ朱書スルモノトス
 三 幹部及一般兵ノ内上等兵ニ等兵並ニ衛生兵ハ其ノ過不足ヲ明瞭ナラシムルクニ記セルモトス

附表第十

基礎編成及編成完結豫定表

備考	第十六師團	部隊	編成編制改正区分	基礎編成完成
	獨立歩兵第十七聯隊			
	編制改正	編成完結		
	昭和十五年十月十七日			
昭和十五年十月五日				

1960

配布区分表

隊号	部数	番号
R	5	1-5
Z	1	6
1	1	7
2	1	8
3	1	9
IMG	1	10
II	1	11
4	1	27
5	1	12
6	1	13
IMG	1	15
7	1	14
8	1	17
9	1	18
IMG	1	19
III	1	16
A	1	20
JL	1	21
医	1	22
火	1	23
10 五	1	24
6	1	25
IMG	1	26
4	1	29
5	1	28
計	28	
部本 R 5, 4, 3, 2, 1 車経兵副 務 室在器官長		

附録第二

編成改正ニ関スル細部ノ指示

一 提出書類

要件	提出月日	部数
人馬現員表	十月九日正午	—
兵序列名簿	同 八午時 各徴集年次毎ニ	—
兵特業別人員表	同	—
旅團通信隊勤務者名簿	十月九日中	—

二人馬現員表調製ニ就テ

一 各中砲隊ニ籍ヲ有スル總員(日報計上人員)ヲ計上スルモノトス
但シ左記ノ者ハ該總員ヨリ削除シ當該欄中ニ朱書別記
シ置クヘシ

左記

- 1. 第二年度下士官候補者
- 2. 主計下士官候補者
- 3. 衛生下士官候補者

々 航空兵下士官候補者

ハ 憲兵上等兵候補者

ニ 戦傷(平病)患者等ニシテ内地還送中ノ者(戦傷等ニシテ還送

見込ノ者ヲ含む)ハ其ノ人員ハ階級区分毎ニ備考欄ニ註記シ

置クヘシ

三 配屬中ノ予後備兵ノ人員ハ該當欄中ニ日本教字ヲ以テ

区分別記スヘシ

三 兵序列名簿調製上ノ注意

右記ノ者ハ序列中ヨリ削除シ末項餘白ニ左記順序ニ序列ヲ

附シ記入スヘシ

イ 第ニ年度下士官候補者

ロ 主手下士官候補者(縫製ヲ含む)

ハ 衛生下士官候補者

ニ 通信修業者

ハ、歩兵砲修業者

ト、憲兵上等兵候補者

四、昭和十一年度徵集兵名簿ニ就テ

一、左記ノ者ハ序列中ヨリ削除シ末項餘白ニ左記序列ヲ附

シ記入スヘシ

イ、第一年度下士官候補者

ロ、通信修業者

ハ、無線修業者

五、予備兵名簿ニ就テ

予備後備ノ順序ニ一連ノ序列ヲ附シ置クヘシ

六、編成改正ニ伴フ提出書類

要	件	提出期日	部数	摘	要
人員不足表	一	一	一	規定第五條	
馬匹不足表	一	一	一	第八條	
超過人馬表	編成完結後連ニ	一	一	第九條	

職務人印諫意見	陸軍大臣西原吉	一	第三條
編成完結報告	編成完結後匪	一	第三條
職員表	〃	一	〃
入馬一覽表	〃	一	〃
編成詳報	〃	(三) 六	第三條

9860

人事ニ関スル細部ノ指示事項

昭和十二年十月五日
立歩兵第十一聯隊

人事 = 関スル指示事項

昭和十二年軍令陸甲第二十号滿洲派遣第
 = 十六師團編成改正 = 依ル人事 = 関スル件
 ハ左記 = 依リ取扱カハレ度

一左

記

一人事 = 関スル件

ハ他隊轉出者ノ人選 = 就テハ特 = 慎重審議
 シ能クノ適正ナラシムルコト
 マ重傷者内地還送患者處罰者要注意者等ハ
 可成、轉出セシメザルコト
 日 伍長勤務ノ制度ハ當分廢止セラレ

兵精勤章ハ陸軍兵精勤章附與規則第廿條

= 依リ付與セス

二 兵籍戰時名簿等

ハ 將校准士官

兵籍記載事項ハ三月五日ヨリ十月五日迄

以改正日送ノ今ヲ十月二十日迄ニ提出ノ

コト

下士官兵

下士官兵記載事項ハ前項期間ノ今ヲ取纏

メ十月二十日迄ニ部隊本部ニ提出スルモ

トス

第二大隊ヲ基幹トスル他隊轉出者ノ今ハ戰

時名簿記載ノ上前項ニ準シ通報スルモノ

トス

三、考料表

成績表等

考料表ハ旧調製官ハ編成改正前ニ於ケル

神修訂正ヲナシタル上本人身板ト共ニ新

調製官ニ送付スルモノトス

尚戦時ノ簿ハ本人身板ト共ニ新所管官

ニ送付スルモノトス

ヨ今圓編成改正ニ依ル兵籍戦時名簿記載

事項ハ左記ニ依リ記入スルモノトス

ㄥ補充員ニ對スルモノハ別ニ示ス

左記

昭和十二年十月五日軍令陸甲第二十四

號ニ依リ獨立歩兵第十三聯隊ハ部隊内

ニアリテハ第 甲隊ニ轉属ハ編入替

四 兵身上明細書其他成績調査書類

兵身上明細書其他参考書類ハ兵編入替迄
ノ今ヲ補修訂正ノ上成可ク本人身柄ト共
ニ送付スルモノトス

〔注意〕

待ニ詳細具体的ニ記入シ要注意事項ハ未
書シ明瞭ナラシムルコト

五 内地還送患者

他隊轉出者ニシテ編成改正前ニ内地隊
所屬トナリタルモノノ書類其他ノ取扱ハ
當隊ニ於テ取扱フモノトス

六 書類ニシテ本人身柄ト共ニ送付困難ナルモノハ
部隊協定ノ上所要期間延期スルモノトス

1660

附録第三

編成詳報

獨立歩兵第十二聯隊
兵器委員

昭和十三年十月二十五日

十月十日

締成改正ニ必要ナル兵器事務連絡及書類準備為大木准尉

ヲ承徳ニ派遣ス

十月十三日

一 締成改正事務連絡為石丸少佐及安部伍長午後一時兵

器部ニ出頭ス

連絡事項次、如シ

ノ第一類兵器ノ補充整理ヲ速ニ実施スルコト

又、締成改正ニ関スル兵器過不足表ノ調製必要領ニ就テ

又、兵器修理用物品(手入材料)所要数調査表ノ調製要

領ニ就テ

六、亡失入野損兵器、現在教調査表、調製不要領ニ就テ
 五、締成改正ニ関スル彈藥調査表、調製不要領ニ就テ
 二、午後二時三十分ヨリ締成改正ニ関スル會報ニ於テ獨立歩兵第十
 聯隊へ轉爲者、携行スヘキ兵器ニ就テ、次表ノ通り指テス
 更ニ聯隊内ニ於テハ各支隊ノ主兵器カ平等ニナル如ク分配ス
 不足兵器ノ補充ニ関シテ追テ委員ヨリ補充セシム

獨立歩兵第十三聯隊携行兵器調査表

品		目	大隊	中隊	機関銃隊	合計	備	要
三十二年式軍刀	乙		四	六	二	一二		
三十年式銃剣			一	四八六	一〇六	五八七		
三八式歩兵銃				四八〇	九八	五七八		
同携帶豫備品				四八	一〇	五八		
十四年式差年銃			一	六六	二四	九一		
十年式擲彈筒			一			一		
八九式重擲彈筒				一八		一八		
十一年式輕機関銃				一八		一八		
十一年式		三脚架		一八		一八		
		空包銃身		一八		一八		
輕機関銃		彈藥盒		一九八		一九八		
		彈匣		七二		七二		

喇	五十種觀測鏡	九三式雙眼鏡	八九式雙眼鏡	騎馬具		機関銃		將核集馬具	重機関銃		九二式		九二式重機関銃	十一式輕機関銃	彈臺	品目
				庫藥箱用	器具箱用	銃用	器具箱組		甲庫藥箱組	甲器具箱組	空包銃身	高射用具				
一			一					二								大隊
一	三	一												一	八	中隊
二	一	八	一	八	二	八			二	二	八	八	八			機関銃隊
一	四	二	二	八	二	八	二	二	二	二	八	八	八	一	八	合計
																楯
																要

9660

大隊旗 (II)	—				—
小銃 擬 制 弾		七七四			
九二式 擬 制 弾		一四七			
重機 銃 擬 制 弾		二四		二四	

十月十四日

一 舊第二大隊轉出者携行兵器ノ品目員數打合テ、爲兵器部ニ
出頭ス

二 独立歩兵第三聯隊へ轉属者、携行スヘキ兵器品目員數表ヲ第
二大隊ニ送附ス

十月十五日

一 新設第二大隊ノタメ準備兵器トシテ第一第三大隊ヨリ
通り主管替セシム

編成要員トシテ第一第三大隊ヨリ差出ス者ノ携行兵器八個人裝

備トス

左記

新設第二大隊ノ多兵器差出区合表

品目	差出部隊										計合	摘	要			
	1	2	3	7	8	9	10	11	12	13						
八九式重擲彈筒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一式輕機関銃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九二式重機関銃																
九二式歩兵銃																
備	一 附隨品(属品)ハ兵器ニ対スル相當數ヲ携行セラルモトス															
	二 器材ノ携行ニ関シテハ別ニ指テス(個人裝備以外)															
考	三 各種彈藥ハ現所有數ノ上ニ差出スモトス															

8660

腔 甲塗油 紐	小銃用 除銅作業用具	補 足 棚 杖	藥 室 掃 除 棒	腔 中 手 入 用 洗 頭	円 筒 掃 除 棒	円 筒 掃 除 棒	保 心 筒	旋 回 洗 矢	品 目 買 数
三 七 三	九	四 八 〇	一 六 五	二 七 五	七 〇	一 二 二	五 八 九	二 〇 五	
用銃筒機輕式車一十携	小銃用携	携	保	洗	旋	携	小	小銃用携	品 目 買 数
規正子洗滌用洗頭	空擊用緩衝コム	携帶洗滌罐	保心筒	洗滌台	旋回洗矢	携帶用洗滌台	銃洗滌台	携帶洗滌罐	
一 八	一 八	一 四	一 八	六	一 八	四	一 五	七 八	
									摘 要

十月十八日
獨立歩兵第十三聯隊ニ轉属者、携行シタル兵器用物品ノ品目買
数左ノ如シ

一 编制改正ニ伴ヒ不足ヲ生ズル兵器ヲ龙記通り兵器部ニ請来ス
 十月二十日

龙 記

九式重機銃用						擲彈筒用		八九式重	品
除銅作業用具	携帶洗滌罐	保心筒	洗滌台	藥室掃除棒	巡回洗矢	洗滌刷毛	手入用洗頭	掃除器	目録
二	八	六	三	六	六	九	九	三	員数
洋形釘抜	乾柄螺廻	手入用毛布	脂油出罐 <small>液体用 固体用</small>		油容器(二立入)	同 木槌	洗矢修正台	練脂器	品目
一	一	一七	四	一	五	二	二	五	員数
									摘要

1000

独立歩兵第十一聯隊編制改正ニ因ル不足兵器請求表

品目		員数	品目	員数	備考
三十二年式軍刀乙		一九	九二式重機関銃	一四	
三十年式銃剣		八四	高射用具	八	
三式歩兵銃携帶豫備品		六二	空包銃身	八	
十四年式拳銃		一七二	刀剣 附刃器	四六	
十年式擲彈筒		一	喇叭	六一	
八九式重擲彈筒		七二	大隊旗	一	
十年式輕機関銃		五四	九二式甲器具箱	二	
三脚架		四	重機関銃甲彈藥箱	二	
空包銃身		四五	新校乘馬具	一八	
十年式彈藥盒		四九	九二式步兵砲鞍馬具	二	
彈匣		一八〇	三八式機関銃	八	
彈表		二七	野馬具	二	
			器具箱		

二編制改正に伴い過数トナル兵器ヲ九記通り兵器部ニ通牒ス

七 記

九三式野戰輕測遠器	九三式野戰輕測遠器	二	二	馬	杭	二		
九三式五十種觀測鏡	九三式五十種觀測鏡	四	四	馬	甲	二		
九三式双眼鏡	九三式双眼鏡	五三	五三	馬	甲	二		
八九式双眼鏡	八九式双眼鏡	二	二	馬	具	二		
九三式浮秤	九三式浮秤	一	一	馬	索	二		
手榴彈箱	手榴彈箱	二	二	馬	甲	八		
八九式彈藥箱	八九式彈藥箱	一	一	馬	鏡	二		

九三式野戰輕測遠器	九三式野戰輕測遠器	四八〇						
九三式五十種觀測鏡	九三式五十種觀測鏡	三〇五〇						
八九式双眼鏡	八九式双眼鏡	二六八						
九三式浮秤	九三式浮秤							
手榴彈箱	手榴彈箱							
八九式彈藥箱	八九式彈藥箱							

三 編制改正後聯隊一ヶ月ニ要スル兵器手入材料ノ数量ヨリ

兵器部ニ通牒シ爾後ノ補給ニ支障ナカラシム

一ヶ月ニ要スル手入材料ノ基準一次ノ如シ

品目	單位	數量	品目	單位	數量	摘要
スピンドル油	缶	一〇	晒木綿	疋	三〇〇	
複合脂	缶	二	鞋布	枚	一〇〇	
腔中油	缶	一	袋組	組	一〇	
冷凍機油	缶	二	洗滌用洗頭	本	五〇	
棚砂	缶	五	手入用洗頭	本	五〇	
截斷一不綿	缶	五〇				

四 兵器部^{修理甲}ノ所要數ヲ算出シ兵器部ニ請求ス

〔品目、頁數ハ省略ス〕

五 编制改正に伴い不足となる兵器用物品、品目員数ヲ尤記、
 通り兵器部ニ請求ス

品目		員数	品目		員数	摘	要
小銃	保心筒	一三五三	銃	腔反射鏡	二二五		
補	足棚杖	一五三四	輕機用	洗	矢	四五	
練	階	三六六三	輕機用	瓦斯	シフ支桿	一〇八	
重	重式遠抽紐	一四七	連機用	洗	矢	二二	
小銃	用洗矢	三三八	藥室掃除棒			一一	
同	洗滌台	一四四	重機用	手入具		一〇二	
同	携帶用洗滌台	六六	塗油器			一〇八	
藥室	検査鏡	二二五	輕機用除銅作業用具			六	

獨立歩兵第十一聯隊编制改正ニ因ル不足兵器用物品請求表

品目		員数	品目		員数	摘要
重機用除銅作業用具		二	洋形釘抜	二六		
腔中洗條洗頭	小銃用	二七一	銃	二八		
	重機用	九〇	小銃手入枕架	四六〇		
塗油用洗頭	小銃用	一八〇〇	火銃手入	一四		
	重機用	九〇	重機手入	三〇		
蘇不室塗油用	一四〇	籠式格納箱	四八			
切出刷毛	四〇	液体用脂油小出金	二六			
革具手入刷毛	七〇	固体用	八			
差手銃收容箱	一四	油煎器	七			
光學手差器收容箱	四三	鶴頸形油差	六〇			
洗矢修正台	八八	表筒手入刷毛	一六			
同本機	八三	活塞桿分解結合器	四			
小銃用筒掃除桿	二〇三五	駐退管分解結合器	四			
転柄螺廻	二六	導通検査器	二			

器具材字入用筆刷毛	七五	練脂	器	二〇〇			
							要

大編制改正に伴い不足トナル彈藥ノ品目員數ヲ凡記ノ通り良器

部ニ請求ス

陸生歩兵部十二聯隊編制改正ニ因ル不足彈藥不請求表

品目	員數	品目	員數	備
三八式銃實包 <small>弾子</small>	二〇九三	九二式ルツ九二式榴彈 <small>榴彈</small>	四四三	
同 挿 彈 子	二七〇〇	九四式三七榴彈 <small>榴彈</small>	七六	
十四年式小銃實包	四三七八	九二式榴彈 <small>榴彈</small>	一四四	
九二式重機銃	四四四七	九二式榴彈 <small>榴彈</small>	二六〇	
九二式機中実包	三三二六	九二式機中実包 <small>榴彈</small>	八七六	
九二式機中実包	二四〇〇	八九式重榴榴彈	三二六〇	
九二式機中実包	二七〇			

1006

六 編制改正ニ伴ヒ至急補填ヲ要スル亡失毀損兵器ノ代品補

充ヲ兵器部ニ請求ス

其ノ品目員數左ノ如シ

品目	員數	品目	員數	備	要
三〇年式銃剣	三	三九三式双眼鏡	三		
三八式歩兵銃	二	三六式二輪軸車	五		
二九式輕機関銃	一	三八式軸車馱馬具	一〇		

附録第五

衛生材料

一、獨立歩兵第十一聯隊ニ差出スヘキ衛生材料ハ規定ノ如ク轉出同時ニ交付セルモ左記一部ノ材料ハ古堆ロニ残置シアリテ授受シ定了セス

左記

隊醫扱「三号四号」一組

担架 四具

ニ當隊不足衛生材料ハ關医乙第八七四號ヲ以テ關東軍々醫部長通謀ニ依リ第二十六師團軍醫部ニ全由シテ十月二十五日大同ニ於テ受領セルカ之ニ依ル過不

1008

足別表ノ如ツ

1009

別表

衛生材料過不足表

千田部隊

品目	区分	梅呼	定数	現在数	過不足	摘要
隊医	一四夜勤	組	三	三		
擔架		具	二四	二二	二	不足ハ整備人員携行ノ旨
軍医携帶嚢		〇	七	五	二	不足ハ整備人員携行ノ旨
医療嚢		〇	四	四		
繃帶嚢		〇	二八	二七	一	不足ハ整備人員携行ノ旨
隊支斯医板		〇	三	三		
互斯治療嚢	甲	〇	七	七		
同	乙	〇	四	四		
同	丙	〇	八	七	一	

備考

- 一本表外ニ編制改正ノタメ除毒包ニニ箇、吳氏副本ニロ、
- 三角巾五枚ヲ受領シ該枚料ハ過不足ナシ
- ニ對互斯枚料ヲ除ク個人裝備用諸豪ハ整備人員携
- 行シ素ル答ニシテ然ル時ハ左記ノ通過制トナリ豫
- 定ナリ

左記

- 軍医携帶豪 二具
- 編帶豪 一一具

附録第六

馬匹及獸医材料

十月五日編制改正ニ関スル聯隊長ノ訓示並指示事項ヲ傳達
セラシ左記日時ニヨリ編制改正ニ着手ス

左記

一十月六日 水曜晴 晴

轉出馬匹選定ニ就キ各銃砲隊長ト協議シ整備馬匹区分表
ヲ聯隊本部ニ提出ス

二十月十日 日曜 晴

編制改正ニ関スル細部ノ指示アルニ井上大尉出席ス

三十月十二日 火曜 晴

獨立歩兵第十三聯隊ノ要求ニ依リ轉出馬匹名簿ヲ送付ス

四十月十三日 水曜 晴

第二十六師團通信隊並獨立歩兵第十三聯隊ニ交付スヘキ馬
匹ニ對シ頭札ヲ附シ交付準備完了ス

五月十五日 金曜 晴

獨立歩兵第十三聯 = 左記馬匹ヲ交付セリ

左記

乘馬 七頭 鞍駄馬 = 七頭

六月二十一日 木曜 晴

獨立歩兵第十三聯隊整備馬匹トシテ兵站病馬廠ヨリ蒙古馬
四十三頭、大澤部隊ヨリ蒙古馬八頭授受完了ス

七月二十五日 月曜

第二十六師團通信隊 = 左記馬匹ヲ交付セリ

左記

乘馬一頭、鞍駄馬五頭

十月二十一日入隊セル整備馬匹 = 四頭ヲ各大隊、機関銃隊、聯

隊砲隊、通信隊 = 編制表 = 依リ配當セリ

八、獸医材料定数表別表第一ノ如シ

九、第二十六師團大(小)行李基準表ニ基キ馬匹一九九頭、車輛
一五〇車輛ヲ購入セリ、又馬夫頭以下一九一名ヲ徵傭ス
驢馬二十六頭徵傭シ各大隊ニ配當セリ
整理馬ノ過剩ハ第三大隊ニ一時保管ヲ命セリ

別表第一

獸医材料過不足表

獨之歩兵第十聯隊

課目	分	枚		摘要
		定数	過不足数	
獸医行李 甲	具	—		
同 乙	〃	—		
獸医携嚢	〃	—		
馬 療嚢	〃	—		
野戰蹄鐵工具	〃	二	一	
携帶蹄鐵工具	〃	二	六	
化兵獸医行李	〃	—		
化兵療嚢 甲	〃	—		
化兵療嚢 乙	〃	—		

極秘

昭和十二年十月二十五日

編成詳報

編成担任官 獨立歩兵第十二聯隊長

十月四日晴

於張家口

編成三團
ル命令受
領

一、今次會戰特ニ南口ノ戦跡ヲ顧ミテ我兵團ノ物的戦力ノ貧弱ナルヲ感セラレ茲ニ急遽ニ計畫改メテ多年念願ノ師團改編ヲ見ルニ至リタリ
即チ本日午後十一時三十分旅團高級副官中山少佐ハ聯隊ヲ訪レ左ノ書類ヲ手交スルト共ニ直ニ編成業務ニ着手スルニ命令ヲ傳達ス

尾記

- 一、滿洲派遣第三六師團編成要領
 - 二、滿洲派遣第三六師團編成ニ関スル規定（各三部）
- ニ、於是明五日ヲ第一日トシテ之カ準備ニ着手セリ

編成担任
官

十月五日 晴

於張家口

- 一、別冊「滿洲派遣隊第二六師團編成前之規定」ニ基キ
獨立歩兵第二十二聯隊長八同十二聯隊ノ編成改正及同十
三聯隊ノ編成ヲ擔任シ別紙第一案作命蹄外ヲ下達シ
編成委員長以下委員ヲ任命シ直ニ編成ニ着手セシ
カ當時各部隊ハ戰鬥態勢ニ在リテ分散離隔シ連
絡極メテ困難ナル狀況ニアリ
- 二、聯隊長八午前十一時三十分編成ニ関スル打合ノ為旅團
司令部ニ到リ午後〇時二十分別冊「滿洲派遣隊第二六
師團編成要領細則」ヲ受領シ來リ之ニ基キ逐次業
務ヲ進捗セシム
- 三、委員長堀井八先八午後一時三十分打合セノ為旅團ニ到リ
同三時歸隊ス
- 四、別紙第一「昭和十二年十月編成(編成改正)要領」ニ基キ
編成要領ヲ作製シ之ニ基キ業務ヲ進展セシム
- 五、千田部隊長ヨリ尤ノ通報ニ接ス

—
第二大隊ニ對シ獨歩十三ニ轉出ヲ命セリ依テ編
成ニ關シ第二大隊長青野少佐ニ何分ノ指示相
成度

別紙第一

作命瑞外

奈良部隊命令

十月五日

一、右、如ク編成並編制改正委員同助手ヲ命ス

委員長

陸軍歩兵大佐

掘井富太郎

委員

中佐

坂田善治

同

少佐

近森重治

同

同

伊集院兼後

同

同

小西秀雄

同

獸醫大尉

佐々木孝仕

同

主計大尉

中嶋嘉之丞

同

同

沖山文明

同

中尉

上田行一

同

少尉

石川正市

同

同

松田博太

助同司

手

陸軍歩兵曹長
司同
軍曹

中野
堀野
伊藤

寛
正
正
二夫

別紙第二

昭和十二年十月五日
奈良步兵部隊

昭和十二年十月編成(編制改正)要領ニ基ク編成要領

一、聯隊平時ノ馬ト整備ノ馬トヲ以テ現況ニ即
應スル如ク最モ速ニ編成ヲ完結スルト共ニ
其素質及能力ヲ概ネ平等ナラシムルコトニ
努ムルモノトス
其編成着年八月十五日トシ其完結八月二
十五日ト豫定ス

二、獨立歩兵第十三聯隊ノ編成ハ滿洲派遣第
二十六師團編成ニ関スル規定以下規定附表
第二ニ示ス獨立歩兵第十一及第十二聯隊ヨ
リ建制各一大隊(何レモ第二大隊)ヲ充當

II			II			I			大塚
III 9	8	7	III 6	5	4	III 3	2	1	中塚
III 4	5	4	III 6	4	4	III 5	6	5	差
III 5				6		6			出
II: 9	12: 9	12: 9	12: 9	12: 9		11: 9			部
12: 9									隊

シ
左ノ如ク編成ス

三、兩聯隊共各大隊ハ既設ノ一般歩兵ニテ中隊ヨリ別ニ示ス所ニ依リ概ネ其能力ヲ平均シタル所要人員ノ編入替ヲナシ新設中隊ヲ編成スルモノトス

四、兩聯隊共本編成及編成改正ノ時期ニ於テ各級幹部ハ勿論各中隊ハ第二回迄ノ補充員ヲ合シタル現役(第一第二回迄ニ区分)豫後補役並特業工務兵等ノ関係ヲ充分調査シ其素質ヲ平等ナラシムル如ク充足要員ヲ算定シ以テ整備ノ馬ヲ決定スルモノトス

編成部新設整理申請報告請求返納事項一覽表

昭一三〇五
奈良部隊

件名	上申報告請求返納官	責任者	期日	参照規
特分業者及任務兵定員表中変更申請	關東軍司令官	師團長	編成完結後	規一
編制改正部隊裝備用兵器不足請求	關東軍司令部	編成部長	同	規三
過剩兵器特別支給兵器返納	同	同	同	規四
兵器用物品請求	同	編成担任	速ニ	規五
陸糧林角行李給養兵器具馬具縫靴具	關東陸糧倉庫	同	編成途中	規一八
衛生材料	同	同	同	規一九
獸醫材料蹄鐵	同	同	同	規二〇
戰時諸條規勤務令	關東軍司令部	同	同	規二一
將校各部將校職務命課意見	關東軍司令部	編成担任官	陸軍大臣御用者決定後速ニ	規二三
編成完結	同	同	編成完結後速ニ	要領七
將校各部將校職務命課意見一覽表	同	同	同	規二四
編成詳報	關東軍司令部	同	同	規二五
編制改正ノタメノ所要ノ經理申請	同	同	速ニ	規二六

原田參謀
ト打合せ

近森大隊
独立十三
轉出決定

將校職
員表

十月六日 晴晴

於張家口

一 掘井大佐ハ午後〇時三十分兵團ニ到リ貞東軍
原田參謀等ト打合セテ實施シ午後三時歸隊
ス

二 正午近森少佐ヲ招致シ第二大隊ハ獨立歩兵第十
三聯隊ニ轉屬スヘキヲ命ス

三 部隊簡地ニ分散セル爲業務ノ維持ニ多少ノ支障
ヲ来シ深更ニ至ルモ尚作業ヲ續テ午前四時概
テ豫定人馬ノ編成及整備區分ヲ完了ス

獨立歩兵第十二十三聯隊將校職員表別紙第一
第二ノ如シ

獨立歩兵第十四十三聯隊馬匹用役區分區不足表

別紙第三第四ノ如シ

整備人員整備區分表 別紙第五第六ノ如シ

第一

獨立歩兵第十二聯隊將校職員表

昭和十二年十月十五日

<p>聯隊長 大佐 23 奈良良晃</p> <p>副官 少佐 30 小西秀雄</p> <p>旗手 少尉 少井上万壽郎</p> <p>附 中佐 坂田善市</p> <p>少佐 31 吉田修一</p> <p>同 大尉 25 津川直志</p> <p>同 大尉 26 坂本義晴</p> <p>中尉 27 松田博太</p> <p>主計 大尉 中嶋嘉之吉</p> <p>大尉 本宮千冬</p> <p>軍醫 大尉 佐永孝仕</p> <p>獸醫 大尉 佐永孝仕</p>	<p>I</p> <p>大隊長 大佐 30 伊集院兼俊</p> <p>副官 中尉 28 常岡昇</p> <p>軍醫 大尉 坂本健郎</p> <p>附 大尉 1</p>			<p>II</p> <p>大隊長 大尉 坂本義晴</p> <p>副官 中尉 下里直見</p> <p>軍醫 大尉 1</p>			<p>III</p> <p>大隊長 大尉 坂本義晴</p> <p>副官 中尉 大島良秀</p> <p>軍醫 大尉 1</p>					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	ITA	RIA	ITA
	大尉 1 田中久三	中尉 2 若居大留夫	中尉 3 上田行一	中尉 4 内堀次郎	中尉 5 米山直一	中尉 6 田中清一	中尉 7 中興清光	中尉 8 中島章	中尉 9 松島實	大尉 板倉三郎	大尉 板倉三郎	大尉 眞志田博
少尉 1 神田一真	少尉 2 有川四郎	少尉 3 城丸定	少尉 4 都留精司	少尉 5 海老海純次	少尉 6 平瀬尚武	少尉 7 山田長治	少尉 8 岡崎村市	少尉 9 米川忍	少尉 10 瀧森勇	少尉 11 田畑義祐	少尉 12 瀧本政太郎	少尉 13 成田豊三郎

備考

一 入院中免員外ノ者ハ大尉(如高山利夫)同(如石川寛一)中尉(如久保邦三)同(如徳永節三郎)トス

二 大佐(如坂井源太郎)中尉(如坂本義晴)ハ本表外トス

三 中尉(如八道)ヲ退院見込ニ付充當ス

別表

獨立歩兵第十三聯隊將校職員表

昭和十二年十月廿

備考 一 入院中定員外者ハ中尉時高橋榮松 同時池上恒三トス 二 印ハ道ノ退院見込ヲ補充ス	聯隊本部													聯隊長 大佐 三好 勲 副官 大尉 山根 毛松次 旗手 少尉 山根 池正夫 附 中佐 山根 有田清樹 中佐 佐 少佐 山根 小野 豊郎 同 大尉 同 中尉 主計 大尉 山根 文明 中尉 山根 藤 藤 豊一 同 軍醫 中佐 佐 佐 佐 大野 豊一 獸醫 尉官 一
	I				II				III					
	大隊長 大尉 山根 青野 三郎 副官 中尉 山根 坂本 相良 軍醫 中尉 山根 細見 禎一 尉官 一				大隊長 大尉 山根 近藤 重治 副官 中尉 山根 石川 正市 軍醫 大尉 山根 高田 正一 尉官 一				大隊長 大尉 山根 山根 豊一 副官 中尉 山根 山根 清次 軍醫 尉官 二					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	III MG	RI A	iTL		
大尉 山根 幸昌	中尉 山根 中 勇	中尉 山根 池 興 次郎	大尉 山根 山口 達春	中尉 山根 堀 口 徹二	中尉 山根 金 田 精 治	大尉 山根 大 關 恒 雄	中尉 山根 山根 良 優	大尉 山根 山根 儀 市	中尉 山根 山根 崎 時 雄	中尉 山根 山根 島 藤 吉	大尉 山根 山根 惠 美 時 定	特 山根 坂 梨 健 雄		
大尉 山根 山根 國 盛	大尉 山根 山根 善 雄	中尉 山根 山根 征 勝	大尉 山根 山根 英 夫	中尉 山根 山根 下 吉 太郎	中尉 山根 山根 橋 本 保 美	大尉 山根 山根 三 好 肇	大尉 山根 山根 東 初 男	大尉 山根 山根 嶋 崎 一 男	大尉 山根 山根 柴 田 岩 太郎	大尉 山根 山根 緒 方 保 孝	大尉 山根 山根 南 一 二	大尉 山根 山根 安 島 竺		

極秘

別紙第三

計	驍騎馬	乘馬	用編被交代區分		獨立歩兵第十二聯隊馬匹用役區分過不足表 奈良歩兵部隊 調製表
			役別定数	他部隊差出馬数	
一七九	一四〇	三九	獨立歩兵 第十三聯隊	師團	
三四	二六	八	通信隊		
四	三	一	計		
三八	二九	九	現在馬数	轉出後	
七八	六四	一四	過(不足)	是数対	
(一〇〇)	(七六)	(三五)	要	摘	


標
別
級
第
四

計	輓馬	乘馬	用 編 差 出 部 隊 別 或 定 数	區 分		他 部 隊 ヨリ 轉 入 馬 数	定 数 對 比	過 不 足	摘 要
				獨 立 步 兵 第 十 一 聯 隊	獨 立 步 兵 第 十 一 聯 隊				
一七九	一四〇	三九		七					
三四	二七	七							
三四	二六	八							
六八	五三	一五	計						
(一一一)	(八七)	(二四)							

獨立步兵第十一聯隊馬匹用役區分過不足表

奈良步兵部隊
調製

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="507 510 1002 770"><tr><td data-bbox="507 510 751 770">1</td><td data-bbox="751 510 1002 770">2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

整備人員整備区分表(第...部團)

昭和十二年十月五日

要員種別 編制定員 現在人員 充て置き 陸軍大臣 配属者 整備人員

Table with columns for ranks (大佐, 中佐, 少佐, 尉, 中尉, 少尉) and various technical roles (通信手, 測以手, 瓦斯兵, etc.). Includes numerical data for personnel counts.

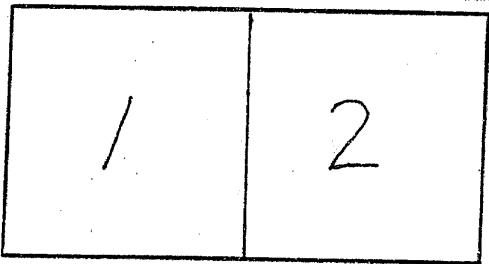

1030

Table with columns for ranks (大佐, 中佐, 少佐, 尉, 中尉, 少尉) and various technical roles (無線通信手, 観測手, 銃工兵, etc.). Includes numerical data for personnel counts.

考 備	隊														聯										二										十																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
															兵										等										上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
															主計少佐(大尉)										主計中(少尉)										主計下士官										縫工下士官										裝二下士官										軍醫中(少佐)										軍醫尉										衛生下士官										衛生上等兵										衛生(三等兵)										獸醫尉										獸醫少佐										技術注新										火工下士官										銃工下士官										無線通信手										觀測手										銃工兵										火工兵										蹄銃工兵										縫工兵										裝工兵										(一)										(二)										機関銃手										歩兵砲手										聯隊砲手										遠射砲手										輕機関銃手										擲彈筒手										瓦斯兵										喇以手										通信手								
2568	2	1	1	1	1	14	14	4	6	1	1	1	4	2	1	470	54	54	18	76	4	6	18	32	58	190	216	414	30	30	66	264	499	64	193	203.36	347.67	26.4	26.4	57.9	226.38																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
974	1		1	1	1	7	7	4	3	1	1	1	4	1	1	761	22	10						32	37	60	69	103	18	30	46	114	31.6	13	47.13	59.10	87.16	14.4	23.7	37.9	96.18																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
207	1						2									128	3								6	8							5.1	6	5.3		28				41																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1267						7	5		3					1		181	29	44	11	48	4	6	18	15	15	15	122	147	283					45	107.15	121.26	245.38	12				109																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1264		1				7	5		3					1		181	29	44	11	48	4	6	18	15	15	122	147	283					45	107.15	121.26	245.38	12				109																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

一 本表整備人員、外陸軍動員計區(第六十八條)予備員
 二 大佐強井富太郎(本表外)トス
 三 幹部候補生三八名(甲種一四乙種二四)及憲兵修業者
 四 第二年度下士官候補者トシテ計トス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

考 備	隊 聯 三														第 十																					
	計	銃工下士官	火工下士官	技術准尉	獸醫務下士官	獸醫尉	衛生一、二等兵	衛生上等兵	衛生下士官	軍醫尉官	軍醫中(少)佐	裝工下士官	縫工下士官	主計中(少)尉	主計下士官	兵 等						上														
																一、二等兵	靴工兵	縫工兵	蹄鐵工兵	銃工兵	火工兵	鍛工兵	無線通信手	通信手	刺刀手	瓦斯兵	擲彈筒手	輕機関銃手	速射砲手	聯隊砲手	歩兵砲手	機関銃手	上等兵	(長)	副長	通信
一本表軍曹(在長)中六、第二年度下士官候補者小銃一、二名機関銃二名ヲ含有スアリ	2568	3	1	1	1	14	14	4	6	1	1	1	4	2	1	470	54	54	18	76	4	6	18	32	58	190	216	444	30	30	66	268	116	3	4	5
	1089	1				8	3	4	2				4	1	1	127	27	27	5	33			4	15.5	9.5	22	72.10	72.10	179.17	12	12	36	28.8	91.26	92.2	1
	120															47	3	7						1	1	2	4					12.9	12			
	1359	1	1	1	1	6	11		4	1	1	1		2		276	24	20	13	43	4	6	14	45	107	112	216	18	18	30	136	12	7	4	4.6	
	3																																			
1256	1	1	1	1	6	11		4	1	1	1		2		276	24	20	13	43	4	6	14	45	107	112	216	18	18	30	136	12	7	4	4.6		

十月七日

晴

於張家口

一 奈良部隊 堀井大佐 近森少佐 伊集院少佐

小西少佐 棚田大尉 上田中尉 集合ノ下ニ

准士官 下士官 配當ヲ決定ス

二 別紙第一ノ如ク兵序列名簿調製ニ関スル指示ヲ交付ス

三 各部隊人事掛准尉ヲ集合セシメ新編成業務上ノ細部

ノ指示ヲ行フ

四 棚田大尉編成業務打合ノタメ午前九時來張

五 獨立歩兵第十三聯隊ノ編成ニ関シテハ近森少佐 棚田

大尉主トシテ之ヲ行フ

六 兵團經理部ニ於テ編成改正ニ伴フ被服物品ノ補給

付調辨ニ関スル打合セヲ行フ

本打合ニ於テ決定シタル事項九ノ如シ

一 新要ノ被服該陣中用物品、各部隊ノ請求ヲ俟タズ

関東軍ヨリ交付セラレ可キヲ以テ現品度領後攝不

足表ヲ提出スルコト 但シ陣營具ニ屬スル物品ハ是

敷着レシ不足レ且駐留、場合ニ必要ナル備品ハ欠如
 レアルヲ以テ現地ニ於テ調辦スル場合アルハ又若
 慮レ豫メ之カ調査ヲ為シ置クニト
 又諸長官、事務用消耗品ハ各部隊ヨリ之カ所要品
 種数量ヲ請求スルニト
 3. 防寒被服ハ兵團ニ於テ不取敢ニ一ロカ分ヲ交付シ不
 足分ハ兵團ヨリ軍ニ對シ補給方請求ス

別紙第へ

兵序列名簿調製ニ関スル指示

昭和十三年十月七日
陸軍省兵部隊

一本序列名簿ハ昭和十二年十月行ハレル編成(編制)改正ニ
伴、人員分配ノ為、隊隊ニ於テ統制分配スル為ニ調製

スルモノトス

二名簿ハ中隊成績序列順次ニ連、番簿ヲ附シ二年兵

初年兵、豫後備兵、補充兵ニ調製シ、隊大隊本部ニ

各一部宛提出シ、中隊控トシテ一部ヲ設置スルモノトス

三、要ニ務兵名稱

隊隊砲手、速射砲手、歩兵砲手、機關銃手、擲彈筒手

瓦斯兵、刺刀手、通信手、無迴轉銃測手、銃三兵

縫三兵、裝三兵、蹄鐵三兵、服兵、衛生兵、馬取扱兵

鳩犬、暗蹄兵

三名簿ハ海ク又十月十日(在東京)部録(十日)迄ニ限限本部
ニ到着スル如ク提出スルモノトス

四同一人ニレテ二種以上ノ特業ヲ有スルモノハ全部記入シ置
クモノトス

五初年矣ニレテ通信手鏡、縫、装、蹄、鉄、之、兵、修業者ニレテ
修業中途出勤セシモノモ特業者ト見做シ調査スルモノト
ス

十月八日 晴

於張家口

行軍豫定表

一、別紙第一へ編成業務豫定表ヲ作成シ業務ノ有クマ期ス
 二、獨立歩兵第十二聯隊、第十三聯隊ニ對スル所要ノ諸帳簿、事務用消耗品一切ヲ兵團ニ請求ス

三、獨立歩兵第十三聯隊ハ獨立歩兵第十一聯隊ノ離隔シテ
 ル關係上編成業務遲滞ノ尙准士官以下ノ編成業務


ニ從事シアリ

四、午後五時獨立歩兵第十一聯隊宛テ通報ヲ發ス

青野大隊ハ建制ノ大隊トシ大隊砲小隊モ其内ニ含
 ミアルヲ以テ所要ノ幹部ヲ考慮セラレ度

細部ハ明日九日歸還スル棚田大隊ニ就テ承知セラレ度

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="563 454 866 804"><tr><td data-bbox="563 454 866 633">2</td></tr><tr><td data-bbox="563 633 866 804">1</td></tr></table>	2	1
2			
1			
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため		
<p data-bbox="242 1196 1284 1352">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="300 1503 898 1581">8 年 12 月 9 日</p> <p data-bbox="502 1700 799 1762">主務者又は</p> <p data-bbox="497 1832 1393 1935">撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

別紙第一

6801

備考	日	曜日	主	細部	馬	兵
	二五	月	編成完結豫定			
	二四	日		整備人員受領者集合		
	二三	土	整備人員、配當			
	二二	金				
	二一	木		整備人員配當計畫		
	二〇	水	整備員到着豫定			
	一九	火				
	一八	月				
	一七	日	編入替完了			
	一六	土	編入替實施			
	一五	金				
	一四	木				
	一三	水		各大隊先發者宿營準備		
	一二	火				
	一一	月	張家口張北部隊 陽地部隊(除張北) 編入替者決定	入替實施細部計畫立案		
	一〇	日			馬匹配當計畫	
	九	土		各隊宿營、決定		
	八	金		大隊長集合編成要領説明		
	七	木	整備人員整備區分表完成豫定	入替實施細部計畫立案 中隊、事務係集合説明		
	六	水				
	一五	火	編成着手			

12is
13is
編成業務行事豫定表

業務行事豫定表

昭一三、一〇、五

年細部行事	馬	兵器	経理	摘要
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>			<p>入編成ニ伴フ事務用品ノ請求</p> <p>入現地調料ノ調査以下同シ</p>	
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>			<p>入宿舎ニ要スル諸施設又物品ノ調査報告</p> <p>入轉屬部隊ノ轉屬者勞行被服物品ノ請求</p> <p>入轉屬部隊ノ轉屬者勞行被服物品ノ請求</p>	
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>	<p>馬匹配當計畫</p>	<p>不足兵器ノ請求</p>	<p>入宿舎ニ要スル諸材料物品ノ調料 補給受</p> <p>入前渡金ノ請求受領</p>	
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>	<p>馬匹配當計畫</p>	<p>不足兵器ノ請求</p>	<p>入宿舎ニ要スル諸材料物品ノ調料 補給受</p> <p>入前渡金ノ請求受領</p>	
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>	<p>馬匹配當計畫</p>	<p>不足兵器ノ請求</p>	<p>入宿舎ニ要スル諸材料物品ノ調料 補給受</p> <p>入前渡金ノ請求受領</p>	
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>	<p>馬匹配當計畫</p>	<p>不足兵器ノ請求</p>	<p>入宿舎ニ要スル諸材料物品ノ調料 補給受</p> <p>入前渡金ノ請求受領</p>	
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>	<p>馬匹配當計畫</p>	<p>不足兵器ノ請求</p>	<p>入宿舎ニ要スル諸材料物品ノ調料 補給受</p> <p>入前渡金ノ請求受領</p>	
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>	<p>馬匹配當計畫</p>	<p>不足兵器ノ請求</p>	<p>入宿舎ニ要スル諸材料物品ノ調料 補給受</p> <p>入前渡金ノ請求受領</p>	
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>	<p>馬匹配當計畫</p>	<p>不足兵器ノ請求</p>	<p>入宿舎ニ要スル諸材料物品ノ調料 補給受</p> <p>入前渡金ノ請求受領</p>	
<p>決定</p> <p>入各隊宿舎ノ決定</p>	<p>馬匹配當計畫</p>	<p>不足兵器ノ請求</p>	<p>入宿舎ニ要スル諸材料物品ノ調料 補給受</p> <p>入前渡金ノ請求受領</p>	

有田中佐
張

十月九日

晴

於張家口

第^一年度
下士官候
補者編入
督
經理

- 一 午前九時三十分有田中佐來張編成委員長堀井大佐ト編成業務ニ関シ打合セラナス
- 二 編入替者ノ決定要領別紙第一ノ如シ
- 三 命令受領者ヲ集合セシメ編入替者ノ決定要領ニ関シ細部ノ指示ヲナス
- 四 獨立歩兵第十二聯隊第一年度下士官候補者編入替ハ別紙第二ノ如ク決定ス
- 五 毛布ノ不足ヲ補フ為獨立歩兵第十二聯隊同第十三聯隊用トシテサ浦團五〇〇枚ヲ蒐集セシムヘク張家口商務會ニ下令ス
- 六 別紙第三奈作命第一四八號ヲ下達シ各大隊砲小隊ヲシテ十月十一日ニ於テ新編成ニ其ノ機關銃中隊長ノ指揮下ニ入ラシム

別紙第一

編入替者ノ決定要領 昭和二三〇七、奈良部隊
 一編入替者ノ決定ハ編成(編成改正)要領ニ基
 ノ部隊編成要領(昭和二三〇五)ニ準據シ各中
 隊ヨリ提出スル兵列序名簿ニ依リ左記ノ
 如ク編入替者ヲ決定スルモノトス

1042

十月十日		十月十日		決定期日	
4	5	7	8	独	部
ZMG ZBIA	6	4	5.3.1 MIG BIA 9.2 MG BIA MG BIA RIA IL	歩	隊
掘井大佐	青野少佐	外園少佐	近森少佐 掘井大佐 伊集院少佐 掘井大佐 近森少佐 掘井大佐 伊集院少佐	決	定
				担	任
				者	

ニ編入替兵ノ決定ハ現編成ニ依ル人員殘留者
 他部隊勤務者總テヲ包含セルモノヲ現役兵
 (初、二年兵區分) 豫後備兵ニ區分シ各種特
 業者及上等兵ノ員數ヲ顧慮シ各中隊歩
 兵砲小隊毎ニ各三分、一ヲ編入替人員トシテ
 決定ス

歩兵砲隊人員及通信隊決定ニ關シテハ軍規
 定附表第二ニ依ル

但シ第二年度下士官候補者(各部ヲ含ム)ハ
 進士官下士官職員表ニ依リ編入替シ入院
 中ノモノ憲兵修業者航空兵志願者ニシテ
 試験ノ爲派遣シアルモノ及幹部候補生

(甲乙共)ハ決定人員ヨリ控除シ原所屬中
 隊ノ定員外トス 尚第二大隊所屬ノ幹部
 候補生ハ原所屬聯隊ノ定員外トス
 三前項編入替決定担任者ハ決定終了ノ翌
 日(隔地部隊ニ在リテハ翌日)迄ニ別表整備区
 分表ヲ以テ其結果ヲ報告スルモノトス
 四前項決定ニ基キ新旧各中隊(砲隊通信隊以下
 同)長ハ速ニ編入替實施ニ伴フ諸準備ヲ
 ナシ特ニ示スモノ、外決定後三日以内ニ之
 ヲ完了シ別ニ示ス編成實施計畫ニ依リ新
 各中隊長ニ於テ之カ實施ヲ担任完結スル
 モノトス

但し編入替者ノ功績書類ノ整理ハ遅クモ
十月末日迄ニ完了受授スルモノトス
其細部ハ新旧兩部隊長相互間ニ於テ協
定スルモノトス

別隊第二

編入部隊

現所屬部隊

編入者

新第一大隊

第一中隊

第七中隊

市來年光

同

同

徳永盛次

第三中隊

第八中隊

長岡代吉

同

同

前田英

同

同

推屋錢男

新第二大隊

第四中隊

第三中隊

立野岩満

同

同

高井良義雄

同

同

小野田義綱

同

同

有川登雄

第六中隊

第九中隊

有川 茂

同

同

上園 博志

同

同

藤田 忠

第五中隊

第九中隊

石井 玉記

同

同

古川 恒夫

同

同

村上 榮

同

同

村上 直

第二機関銃中隊

第一機関銃中隊

南川 俊榮

同

同

市来 久

同

同

松永 義之

同

第三機関銃中隊

源川 正

同

第三歩兵屯小隊

栗田 長憲

第三大隊

第九中隊

同 同

獨逸歩兵第十三聯隊

第七中隊

第八中隊

同

獨逸歩兵第十三聯隊
歩兵砲隊

黒木高義

森 大作

古賀 寛太

谷口 進

第三編
秋祭
祭作命第一四八號

奈良歩兵部隊命令

十月九日午後五時
於張家口部隊本部

一各大隊砲小隊ハ十月十日中ニ夫々新

編成ニ基ク所屬機關銃中隊長ノ指

揮ニ入ルヘシ

ニ第三大隊砲小隊ハ十月十日午前八

時張家口發ノ列車ニ依リ出發スヘシ

三予ハ張家口部隊本部ニ在リ

1050

下達迄
要旨ヲ口達後印刷交付

部隊長奈良大佐

經理方面

編成定員表

編入替者決定

宮永參謀
編成三團
之細部
打合せ

十月十日 晴

於張家口

一宮永參謀來隊セラレ編成委員會同シ午前十時ヨリ約二時間ニ亘リ編成ニ関スル細部打合せヲ實施ス

二在張家口部隊ノ人車掛ヲ集合セシム編入替者ヲ決定ス

三整備人員整備區分表全ク完成ス

四編成定員表(別紙第一)ヲ依製各隊ニ分配シ

之ニ基キ編成整備ヲササシム

五獨歩十二十三准尉下士官ノ編成表別紙第二

其一其二ノ如シ並獨歩十二ヨリ他隊轉出者別

紙第三ノ如シ

六新編成部隊ノ為差當リ必要ナル左記物品ノ現

地調辨ヲナス

謄寫版

五台

同原紙一千枚

アンペラ

三〇枚

壁

紙二千枚

其他事務用品

七、有田中佐ヨリ森澤騎兵部隊長ニ對シ左ノ
電文ヲ發ス

貴隊ヨリ獨歩十三ニ差出サルヘキ銃工伍長八明
後十二日中ニ張家口奈良部隊有田中佐ノ
許ニ差出サレ度

又同中佐ヨリ棚田大尉宛左ノ電文ヲ發ス

獨歩十三通信員不足ニ付青野大隊通信要員ハ
總テ之ヲ他隊ニ轉出セシメサル如ク取計ラワレタシ

別紙第一ノ其一

一般中隊編成定員表 第一中隊

種別	區分		編成定員	現	後	補充兵	整備定員	摘	要
	種別	區分							
中隊長	中隊長	中隊長	一						
小隊長	小隊長	小隊長	三						
准尉	准尉	准尉	二						
營長	營長	營長	二						
軍曹(伍長)	軍曹(伍長)	軍曹(伍長)	一三						
輕機	上等兵	上等兵	八						
機	二等兵	二等兵	三八						
擲彈	上等兵	上等兵	四						
筒手	二等兵	二等兵	二〇						
瓦	上等兵	上等兵	二						
斯	二等兵	二等兵	一二						
衛	上等兵	上等兵	一						
生	二等兵	二等兵	一						
喇	二等兵	二等兵	四						

現 員 内 譯					銃 工 兵	縫 工 兵	装 工 兵	上 等 兵	一、二 等 兵	兵、計
上等兵	軍曹(在長)	曹長	准尉	現 將 校						
					一九三	五七	一一	四	四	文
			衛生兵	一、二等兵						
合 計										
名										

別紙第一ノ其二

機関銃中隊(歩兵砲)編成定員表

要員種別	員	編成定員	現役	補充兵	整備人員	協	要
中隊長	一						
小隊長	四						
准尉	二						
曹長	二						
車機関銃	一						
位 歩兵砲	三						
上 機関銃	一						
上 歩兵砲	三						
一 機関銃	七						
一 機関銃	三						

軍伍定員 十五名
 上等兵定員 二十二名
 一等兵定員 百三十八名トス
 衛生兵八二名 兵三合カサルト
 馬取扱兵八二名 兵三合カサルト

1055

人員合計	衛生兵	蹄鉄又兵	装束又兵	鱗又兵	銃又兵	刺刀手	上等瓦斯	上等觀測手	步兵又砲
一七六	二	四	四	四	六	四	一三	三一	一九

歩兵第十二聯隊砲隊整備區分表

隊	要員區別		准尉	曹長	砲隊長		連射砲長	連射砲隊	連射砲	連射砲	連射砲	連射砲
	編成定員	現任補充整備員			上等兵	二等兵						
隊長	一			二				七	七	七		
聯隊砲隊長	三											
連射砲隊長	三											
			二									

摘要

計	衛生兵	通信兵	通	馬兵	縫	脚銃	銃	火	鍛	裝	測	砲
	上等兵	上等兵	上等兵	上等兵	又兵	又兵	又兵	又兵	又兵	又兵	一等兵	上等兵
一四七	一	一	一〇二	二二	四	四三三	二	四五	四五	四	五	一

別紙第一其四

獨立歩兵第十三聯隊通信隊整備區分表

階級	無線		通		(長位)普通		營	准	小	隊	總	別	區	分	定	員	現	役	補	充	整	備	員	摘	要	
	一等	二等	上等	下等	無線	通																				無線
銃工兵	二	二	四	三	七	四	五	一	一	二	一															

1060

計	新瓦		刺	生衛		表	縫	匠
	一 三 等 瓦	上 等 瓦		一 三 等 瓦	上 等 瓦			
九 六	五	一	二	一	一	二	二	二

別紙第一 獨立歩兵第十二聯隊 下士 官職員表 昭一六〇一〇一〇現在

1901

聯隊本部		大隊本部		中隊		班		下士候(在隊)	
曹 永松 全一	曹 神田 理一	曹 田尻 秀雄	曹 波岡 健二	曹 西井 官次郎	曹 野中 大吾	曹 八木 正一	曹 足立 卯三郎	曹 栗原 久一	曹 栗原 久一
曹 神原 雄	曹 小西 勇	曹 上田 武市	曹 早川 公平	曹 淡井 國策	曹 杉原 基一	曹 墨田 重一	曹 外園 武満	曹 中野 一夫	曹 中野 一夫
曹 比平 義信	曹 野村 梅芳	曹 原野 義實	曹 武井 政勝	曹 江口 勝太	曹 櫻井 孝義	曹 楠原 義治	曹 田村 武雄	曹 牛村 三郎	曹 牛村 三郎
曹 大宮 利介	曹 山本 勲	曹 日和田 健治	曹 新川 政光	曹 江口 勝太	曹 櫻井 孝義	曹 楠原 義治	曹 田村 武雄	曹 牛村 三郎	曹 牛村 三郎
曹 小原 榮造	曹 三浦 勢郎	曹 大野 新榮	曹 名富 富重	曹 新川 政光	曹 日和田 健治	曹 櫻井 孝義	曹 田村 武雄	曹 牛村 三郎	曹 牛村 三郎
曹 石田 喜代志	曹 下村 長一	曹 名富 富重	曹 名富 富重	曹 新川 政光	曹 日和田 健治	曹 櫻井 孝義	曹 田村 武雄	曹 牛村 三郎	曹 牛村 三郎
曹 下村 長一	曹 名富 富重	曹 名富 富重	曹 名富 富重	曹 新川 政光	曹 日和田 健治	曹 櫻井 孝義	曹 田村 武雄	曹 牛村 三郎	曹 牛村 三郎
曹 下村 長一	曹 名富 富重	曹 名富 富重	曹 名富 富重	曹 新川 政光	曹 日和田 健治	曹 櫻井 孝義	曹 田村 武雄	曹 牛村 三郎	曹 牛村 三郎

同 鏡 火 坂 在
河 野 三
一 一 一

備 考

一ノ院上ノ足負外ノ漢尉ノ草間長生ハ酒本仲藏 曾長ノ山谷八郎ハ松下稻美ハ時本泉一
同ノ越田英雄ハ越川六郎ハ丸山忠雄 軍曹ノ二藤長助ハ長ノ藤原義隆ハ里替ノ古殿小吉
色長ノ澤田虎夫ハ坂井三三ハ白田重盛ハ秋吉助ハ二藤下重下ハ上野兵ハ白田一ハ竹定ハ里外ハ

通 信 隊	歩 兵 砲 隊	軍 官				軍 曹	軍 士
		附 官	9	8	7	附 士	
池之邊 肇	樋口 中 江 豊一 山口 重次 大田 三郎	有田 當良 吉井 善市 澤村 義秀 尾 二夫 秋田 惣三 川人 彌太郎 海 未雄	松本 義房 山内 國治 西森 鶴喜 一 尾 二夫 川人 彌太郎 海 未雄	佐々木 鐵男 小泉 佐次郎 相馬 實 西尾 利水 利政 櫻井 敏郎 木村 敏平	和田 政二郎 飯田 正 和田 清虎 新井 實二郎 栗 利男 古里 正吉 藏内 正吉	菅野 進 末男 西村 盛彦 三村 貞 今井 藤四郎 出田 忠男 山本 秀雄	
佐藤 修	小松 哲夫 島田 松三郎 柴田 貞喜	船木 武二 岡林 友幸 尾上 主三 橋田 常雄 美代 志	下 盛美 右田 一丸	長田 武光 下 清三 吉富 清三	櫻井 敏郎 木村 敏平 山 五郎 古里 正吉 藏内 正吉	山本 秀雄	

別紙其五第三

轉出者下士官職員表

第二十六師團司令部 歩軍曹ノ石堂輝雄

同歩兵團司令部 歩軍曹ノ武市康典

大隊本部	科				長	軍曹	任	長
	4	5	6	IIIII				
彈丸野清 彈丸島芳江	10 龜谷 友勝 11 田 友勝 12 尾崎 政雄	10 伊藤 武雄 11 井上 幸一 12 尾崎 政雄	10 北川 利信 11 中島 伊太郎 12 新原 武盛	10 石川 松吉 11 大 松吉 12 大 松吉	10 川村 武雄 11 川村 武雄 12 川村 武雄	10 藤戸 庸夫 11 藤戸 庸夫 12 藤戸 庸夫	10 藤附 正一 11 藤附 正一 12 藤附 正一	10 藤附 正一 11 藤附 正一 12 藤附 正一
歩兵砲	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ津野由成章	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三
通 信	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三	歩軍曹ノ小川寛三
言 記	歩軍曹ノ安藤近雄	歩軍曹ノ安藤近雄	歩軍曹ノ安藤近雄	歩軍曹ノ安藤近雄	歩軍曹ノ安藤近雄	歩軍曹ノ安藤近雄	歩軍曹ノ安藤近雄	歩軍曹ノ安藤近雄
主 計	主計曹ノ服部祥英	主計曹ノ服部祥英	主計曹ノ服部祥英	主計曹ノ服部祥英	主計曹ノ服部祥英	主計曹ノ服部祥英	主計曹ノ服部祥英	主計曹ノ服部祥英
衛 生	衛軍曹ノ飯田萬喜	衛軍曹ノ飯田萬喜	衛軍曹ノ飯田萬喜	衛軍曹ノ飯田萬喜	衛軍曹ノ飯田萬喜	衛軍曹ノ飯田萬喜	衛軍曹ノ飯田萬喜	衛軍曹ノ飯田萬喜
第二十六師團通信隊	歩軍曹ノ永島群一	歩軍曹ノ永島群一	歩軍曹ノ永島群一	歩軍曹ノ永島群一	歩軍曹ノ永島群一	歩軍曹ノ永島群一	歩軍曹ノ永島群一	歩軍曹ノ永島群一
備 考	一 入院中定員外トナル者 但長ノ前原繁美 同戸田一二 同菊池要 二 同ノ豫備役ヲ示ス	一 入院中定員外トナル者 但長ノ前原繁美 同戸田一二 同菊池要 二 同ノ豫備役ヲ示ス	一 入院中定員外トナル者 但長ノ前原繁美 同戸田一二 同菊池要 二 同ノ豫備役ヲ示ス	一 入院中定員外トナル者 但長ノ前原繁美 同戸田一二 同菊池要 二 同ノ豫備役ヲ示ス	一 入院中定員外トナル者 但長ノ前原繁美 同戸田一二 同菊池要 二 同ノ豫備役ヲ示ス	一 入院中定員外トナル者 但長ノ前原繁美 同戸田一二 同菊池要 二 同ノ豫備役ヲ示ス	一 入院中定員外トナル者 但長ノ前原繁美 同戸田一二 同菊池要 二 同ノ豫備役ヲ示ス	一 入院中定員外トナル者 但長ノ前原繁美 同戸田一二 同菊池要 二 同ノ豫備役ヲ示ス

編入替
實施

大隊砲小
隊新編成
MG隊長
指揮下
隔地部隊
個人着
兵器

十月十一日

晴

於張家口

一、別紙奈作命第一五一號（其十廿）ヲ下達シ編入替ヲ行ヒ令任務カニ就カシム

二、大隊砲小隊ハ各大隊機關銃中隊長ノ指揮スル

三、隔地部隊ノ編入替者ヲ決定ス

四、第十三聯隊要員ノ宿營地ヲ決定ス

五、兵器ニ關シテハ不足兵器ノ請求ヲナス

六、(1) 獨立歩兵第十三聯隊ニ轉出スル第二大隊ノ携

行品ヲ左ノ如ク定ム

1. 被服 個人着用被服（櫛（冬））毛布（一枚宛

ハ貨與スルコト）ナシ後日關東軍ヨリ交付

セラレタル場合返却スルモノトス

豫備被服ハ一切携行セズ

2. 糧秣 正規ノ携帶糧秣

3. 行李 金櫃、公用行李ハ編成要領ニ宗ス定數

4. 諸事務用品、現ニ其隊ニ携行シアルモノ一切

(四) 獨立歩兵第十二聯隊内ニ於テ轉出スル人員ハ

着用被服及毛布一枚並携帶糧秣ヲ携行スルモ止

六午後九時千田部隊長ヨリ左ノ電報アリ

独歩十三要員轉属ハ目下ノ情況上十月十

六日トセラシ度 駐屯警備隊並ニ第一線出

動部隊ニ關スル命令未夕ナキニ對スル十三

四日頃ノ轉属ハ困難ナリ 至急返

別紙第一

奈作命第一五一號

奈良歩兵部隊命令

十月十日午後五時
於張康口城内部隊本部

一、各部隊ハ別紙計畫ニ基キ編入替ヲ行ヒ任

務ニ就クヘシ

部隊長 奈良大佐

秘表

編入替實施計畫(其一)

昭和一、一〇、一〇
獨歩一、二

備考	通信班	RIA	IMG	IMG	IMG	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
	ITL	RIA	IMG	IMG	IMG	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
張家口	張家口	張家口	柴溝堡	張家口	張家口	七里茶房	陽高	天鎮	萬全	張家口	張北	張家口	張家口	張家口	15
張家口警備	張家口警備	張家口警備	柴溝堡警備	張家口警備	張家口警備	七里茶房及榆林飛行場警備	陽高警備	天鎮警備	萬全警備	張家口警備	張北警備隊	軍旗中隊	張家口附近警備	張家口警備	15
張家口	張家口	張家口	柴溝堡	張家口	張家口	七里茶房	陽高	天鎮	萬全	張家口	張北	張家口	張家口	張家口	15
張家口警備	張家口警備	張家口警備	柴溝堡警備	張家口警備	張家口警備	七里茶房及榆林飛行場警備	陽高警備	天鎮警備	萬全警備	張家口警備	張北警備隊	軍旗中隊	張家口附近警備	張家口警備	15
張家口	張家口	張家口	柴溝堡	張家口	張家口	七里茶房	陽高	天鎮	萬全	張家口	張北	張家口	張家口	張家口	15
張家口警備	張家口警備	張家口警備	柴溝堡警備	張家口警備	張家口警備	七里茶房及榆林飛行場警備	陽高警備	天鎮警備	萬全警備	張家口警備	張北警備隊	軍旗中隊	張家口附近警備	張家口警備	15

備考
一、鐵道輸送不要部隊八部隊直接各停車場司令部ニ交渉スルモノトス
二、步兵砲隊、獨歩一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

摘要

一、第一中隊要員ハ十五日迄中隊ノ勤務ニ使用シ得
二、十五日第三中隊要員ヲ上田中尉ノ下ニ差出ス
三、監視監視兵勤務擔任
一、十四日第三中隊要員ヲ以テ軍旗衛兵交代
二、十五日九、二高地警備ヲノ下ト交代
三、十四日八、九高地及高家屯ノ警備ヲ下ト交代
四、十五日第三中隊要員ヲ上田中尉ノ下ニ差出ス
一、十五日二編隊ス
一、十六日ヨリ軍旗中隊ニ撥入ス
一、十六日ヨリ張北警備兵擔任ス
一、十五日第六中隊要員ヲ乃全ニ差出ス
一、二十日第九中隊ヨリ中隊要員ヲ受領張家口ヨリ
二、自動貨車ヲ以テ乃全ニ差出(四中尉中尉指揮)
一、二十日張北旧第三中隊ヨリ中隊要員ヲ受領岸長中
隊ト勤務交代(自動貨車ニ以テ輸送ス)
一、岸長中隊ハ二十日乃至十四日乃全出警張家口、
自動貨車ニ
一、十四日第九中隊要員ヲ七里茶房ニ差出シ松島中尉
指揮ス
一、十四日第九中隊要員ヲ七里茶房ニ差出シ松島中尉
指揮ス
一、十四日第七、第八中隊ヨリ中隊要員ヲ受領十五日中ニ
警備交代
一、山口部隊ノモ、ハ十五日中ニ張家口ノ河場ヲ
一、十一日旧第一歩兵砲隊要員ヲ受領
一、二十日第二機南鏡中隊要員ヲ差出シ加藤中尉指揮
ス
一、十四日張家口防衛勤務中ノ小隊ヲ司上ノ
四、野戰倉庫衛兵擔任如故
一、十四日中隊要員ヲ第一、第三機南鏡中隊長ヨリ
受領
一、十五日ヨリ西門衛兵勤務擔任
一、十一日旧第三歩兵砲小隊員ヲ受領
一、二十日第二機南鏡隊要員ヲ張家口ニ輸送シ加藤
中尉ノ指揮下ニ入ラシム
一、十四日獨歩步兵第十三聯隊要員差出
一、南門警備兵擔任如故
一、十四日新獨立步兵第十二聯隊各中隊ヨリ通信
隊要員受領



附表

690T

備考	IMG	6	5	4	日部 正分	獨立步兵第十三聯隊へ轉出部隊編入替實施計畫(其二) 昭和一三、一、一〇 獨歩一三
	17	17	17	17	基礎 編成 日	
一、本表、如、計畫、此、之、警備、其他、之、關係、若干、變更、スル、コト、アル、ハ、シ、 二、步兵、砲、隊、ノ、編、入、ハ、本、日、以、前、に、行、ハ、ル、コト、ヲ、期、ス、 三、轉、出、ス、ル、ハ、本、日、以、前、に、行、ハ、ル、コト、ヲ、期、ス、 四、本、部、前、に、於、テ、軍、旗、奉、拜、	口 家 張				編成地	警備關係事項
	一、十六日張家口城外ノ諸勤務ヲ交代ス 二十四日張家口城内宿舎ヨリ城外ニ轉音	一、十五日八前迄及高家屯警備ヲ土居中隊ト交代ス 二十五日孔家庄警備部隊引揚 三十四日張家口城内宿舎ヨリ城外獨歩一三宿舎ニ轉音	一、十三乃至十四日萬全警備ヲ田中中隊ト交代 萬全出發 二、張家口着ト共ニ張家口城外獨歩十三聯隊宿舎ニ入ル	一、十五日九二四高地ヲ土居中隊ト交代ス 二十五日七里茶房 榆林梁洋場勤務ヲ松島中隊ト交代ス 三十四日張家口城内宿舎ヨリ城外宿舎地ニ轉音	一、十六日午前十時ヨリ松島部隊本部前ニ於テ軍旗奉拜	

編成改正ニ
伴フ兵器
關スル指示
ナス

十月十二日 晴

於張家口

- 一、獨立歩兵第十三聯隊ノ馬匹配當計畫ヲ立案ス
- 二、昨十一時ノ千田部隊電ニ對シテ、回答ヲ與フ
貴電ノ通りニテ差支ヘナシ但シ編成ニ必要ナル幹部
ハ至急張家口ニ派遣セシメラレ度
- 三、有田中佐ヨリ青野大隊長宛左ノ通報ヲナス
菊地中尉ノ交代ヲ其中隊ヨリ派遣シ成ルヘク連カ
ニ菊地中尉ヲ張家口ニ遣及セシムル如ク手配アリ度
- 四、編成改正ニ伴フ兵器ニ關スル指示ヲナス

十月十三日晴

於 張 家 口

一、獨立歩兵第十三聯隊ハ張家口ホテル事務室ニ於テ各部隊入替名簿ヲ決定ス

二、獨立歩兵第十二聯隊ハ各中隊ノ素質ヲ平等ナラシムルヲメ、再調査ヲ實施ス

三、獨立歩兵第十二聯隊第五中隊ハ獨立歩兵第十三聯隊ニ編入ノヲメ萬全警備ヲ交代シ引揚ケ張家口ニ歸還ス

四、本日編入替馬匹ノ決定ヲナシ又獨立歩兵第十一聯隊ヨリ馬匹名簿ヲ受領ス

五、午後六時千回部隊宛左ノ電報ヲ發ス

獨立歩兵第十三聯隊編成ノタメ左記ノ人員ニ序

列名簿ヲ携行セシメ至急張家ニ派遣セシメ
ラレ度

- 一、通信隊長（此公ヲ得サレハ代理者）編成改正前
ノ獨立歩兵第十一聯隊全通信手ノ分
- 二、聯隊砲隊人事掛准尉

編成改正ノタメニ全人員ノ分

六同時又有田中佐ヨリ千田部隊ニ友ノ電報ヲ發ス
西川大尉、柳村中尉、中島中尉、福田准尉ヲ明
十四日張家ニ派遣セシメラレ度、委細ハ本夜
大同着ノ連絡兵ニヨリ承知アリ度

步兵團長
第一步兵隊
第二步兵隊
第三步兵隊

編入部

馬車

經理

十月十四日晴

於張家口

一、黒田隊長、久野村隊長、川口長及藤川中佐午後

五時八分張家口着列車ニテ來隊セラル

二、部隊ハ編入替ヲ開始ス

三、馬匹差出並ニ適當要領及平時保管馬各隊別配

當馬車運名簿別冊第一ノ如シ

尚師團通信隊交付馬ヲ大同ニ發送

四、寢具事務用物 若干ヲ新編成部隊ニ交附ス

五、午後三時千田部隊長宛左ノ電報ヲ發ス

獨立歩兵第十三聯隊編成、爲貴隊ヨリ差出ス

千馬匹ハ兵團ニ於テ日本馬廿六頭ト規定

セラルニ送附セラレタル馬匹名簿ハ日本馬二十頭

分ナリ規定通り十六日中ニ到着スル如ク差出サ
レ度

六、森澤騎兵部隊長ニ對シ左ノ電報ヲ發ス

己ニ要求シアル實際ヨリ獨立歩兵第十三聯隊ニ
轉出セシムヘキ銃又長ハ達カニ張家口奈良部隊ニ
派遣サレ度

七、午後十時兵團ヨリ左ノ電報ニ接ス

一、獨立歩兵第十三聯隊將校各部隊將校(准士官
ヲ含ム)ノ職務ハ左記ノ他十月十日關參等二六號
內報ノ通り命課セラル十月五日附)

二、獨立歩兵第十三聯隊附矢野軍醫中佐ヲ田代
軍醫中佐ニ、獨立歩兵第十三聯隊附田代軍醫
中佐ヲ天降軍醫中佐ニ變更ス

1075

別冊

昭和十二年十月八日

編成茲編制改正ニ伴馬匹差出茲配當要領

奈良歩兵部隊

編成之縮制改正ニ伴フ馬匹ノ差出及配當要領
第一三〇部ノ取

一當部隊保管馬中他部隊へ轉出スル馬匹差出區

今ハ附表第一ノ如シ

二獨立歩兵第十二聯隊ノ馬匹ノ編成ハ平時保

管馬中他部隊差出馬轉出後ノ現在馬數ヲ以

テシ乘馬ノ大部分及歩兵砲輓馬(機關銃中隊

所屬歩兵砲小隊ノ分ヲ含ム)ノ約半部ハ日本馬

機關銃及通信隊輓駄馬ノ基幹馬ハ概テ平均

ニ配當スル平時保管滿洲馬ヲ以テシ其不足ハ
關東軍交付馬ヲ以テ充足ス之カ差出及配
當區分ハ附表第一ニ如シ

三獨立歩兵第十三聯隊ノ馬匹ノ編成ハ獨立歩兵
第十一第十二聯隊ヨリ差出ス平時保管馬匹
ヲ基幹トシ不足馬ハ關東軍交付馬ヲ以テシ其
ノ配當要領ハ獨立歩兵第十三聯隊ニ同シ之カ
差出及配當區分ハ附表第三ニ如シ

四 轉出馬ノ差出日次及場所ハ追テ示ス

五 各部隊ハ轉出馬ニ對スル馬匹名簿ヲ整理記入

シ馬匹差出ノ際編成委員ノ點檢ヲ受ケタル後

馬匹ト共ニ交付部隊ニ交付スルモノトス

六 交付部隊ニ對スル配當馬ノ連名簿(各馬ノ性癖其

ノ他取扱上ノ注意事項ヲ摘記ス)ハ編成委員ニ於

テ之ヲ調製シ交付部隊ニ交付スルモノトス

七 轉出馬ニ對シテハ携帶豫備蹄鐵(蹄釘共)ヲ携

行セシムルモノトス

ハ、轉出馬ニ名稱、毛色、年齢ヲ記入シタル白布片
ヲ確實ニ鬣毛ニ結着シ標識ヲ明瞭ナラシムル
モノトス

附表第一

隊外轉出馬差出區分表

奈良部隊

奉備	合計	滿洲派遣 第十六師團 通信隊			獨立步兵第五聯隊			支隊 新隊 數	被用馬 部 隊	差出
		計	輓駄	乘	計	輓駄	乘			
一本表三轉屬第三大隊所屬馬(乘馬三輓駄馬一四)ヲ含ム 二本表中()内滿洲馬ヲ示シ右側數字ハニ含マズ	三八	四	三	一	三四	二六	八			第一大隊
	五	一		一	四	三	一	隊中銃機		第二大隊
	五	一		一	四	三	一	計		第三大隊
	二				二		二	部本		
	(五)二				(五)二	(五)九	三	隊中銃機		
	四				四	四		隊小砲步		
	(五)八				(五)八	(五)三	五	計		
	四				四	三	一	隊中銃機		
	四				四	三	一	計		
	三	三	三					班通信		
三	三	三		三一	三	一	隊砲隊聯			
二	三	三	一	二	一	八	計			
(二)八	三	三		(七)七	(七)九		摘要			

獨立步兵兵第										配當		
第	第二大隊			第一大隊			聯隊本部	隊	所差	馬	出區	
本	計	機關銃中隊	本	計	機關銃中隊	本	乘					
乘	計	機	乘	乘	計	機	乘	乘	役	數	分	
四	三九	三三	二	四	三九	三三	二	四	八	五	聯隊本部	
					一			一			通信班	
	(二) =	(三) =	一	一	(四) 五	(四) 三	一	一	一	一	第一大隊	
	二	二			(一) 三	(一) 二	一				隊中銃機	
	(一) 四	(一) =	一	一	(二) 九	(二) 五	二	二	一	一	隊小砲兵步	
											計	
					(一)	(一)					第二大隊	
	一		一								隊中銃機	
	一		一		(一)	(一)					隊小砲兵步	
											計	
二											第三大隊	
一	(一) 三	(一) 二	一						一	一	隊中銃機	
	一	一									隊小砲兵步	
	三	(一) 四	(一) 三	一					一	一	計	
	(三) 一	(三)	一						一	一	聯隊砲隊	
一	二	二		一	二	二		一			關東軍交作馬	
	三	三			三	三					計	
四	三九	三三	二	四	三九	三三	二	四	八			

獨立步兵第十二聯隊編制改正馬匹差出配當區分表

奈良部

附表第二

備考	隊 聯 二 十													
	合 計			豫 備 馬	通 信 隊			步 兵 砲 隊			隊 大 三			
	計	魏 馱	乘	乘	計	魏 馱	乘	計	魏 馱	乘	計	魏 馱	乘	
一本表中()ハハ滿馬ヲ示ス但シ關東軍交付馬ハ日滿馬區分不明トス	一七九	一四〇	三九	三	一九	一六	三	三二	二五	七	三九	三三	二	
	七		七					一		一				
	(三)二	(三)	二		(三)二	(三)	二							
	二		二											
	(六)八	(六)三	五					一		一				
	(一)五	(一)四	一											
	(七)五	(七)七	八					一		一				
	(一)	(一)												
	一		一											
	(一)一	(一)	一											
	二		二								二			
	(五)九	(五)四	五		一		一	一	一		(四)三	(四)一	一	
	(一)五	(一)四	一								(一)四	(一)三	一	
	(六)六	(六)八	八		一		一	一	一		(五)九	(五)四	二	
一	一	七					一	九	五	一	一			
(三)七	(三)〇						一	四	九	五	一	一		
一〇一	九五	六	三	一	一	三	一	五	一	二	二	三		
一七九	一四〇	三九	三	一九	一六	三	三二	二五	七	三九	三三	二		

考備 不明ト又	獨五歩兵第十聯隊																		編成 部隊 役馬 數	用所 要 出 部 隊	差 出 部 隊				
	合 計	豫 備 隊	通 信 隊			步 兵 砲 隊			第 三 大 隊			第 二 大 隊			第 一 大 隊			聯 隊 本 部							
			乘	計	輓 駄	乘	計	輓 駄	乘	計	輓 駄	乘	計	輓 駄	乘	計	輓 駄					乘	計	輓 駄	
	三	三	一九	一六	三	三六	二九	七	三九	三三	二	四	三九	三三	二	四	三九	三三	二	四	八				
三 (六)六			(一)	(一)	(一)	九	五	四	(一)四	(一)二		二					(四)九	(四)四	二	三	四				獨立歩兵 第十一聯隊
二 (七)七			(一)二	(一)	二	七	四	三	(一)五	(一)二	二	一	(四)九	(四)四	二	三					四				獨立歩兵 第十聯隊
一一 一一		三	一 四	一 四		一 六	一 六		二 六	二 五		一	二 六	二 五		一	二 六	二 五		一					關東軍 交付馬
一七 九		三	一 九	一 六	三	三 二	二 九	七	三 九	三 三	二	四	三 九	三 三	二	四	三 九	三 三	二	四	八				計

獨五歩兵第十聯隊縮成馬匹差出配當區分表 奈良前隊

中村善作司 同

用役名稱	馬種	毛色	年齢	体高	卷出部隊	備	要
乘城直	日鹿	鹿	六		聯隊本部		
乘盛芝	日鹿	鹿	十四	一五八	同		
乘藤烈	日鹿	鹿	十四	一五三	同		
乘花櫻	日青	青	十五	一四八	第三大隊 機銃中隊		
乘竹水	日栗	栗	十八	一五四	聯隊本部		
乘花熊	日鹿	鹿	十九	一五九	第一大隊 機銃中隊	榮養注意	
乘砂石	日鹿	鹿	二十	一五三	聯隊本部		
乘東望	日鹿	鹿			聯隊本部	心臟注意	

交件馬連名簿

獨立歩兵第十三聯隊本部

交作馬連名簿							獨立歩兵第十二聯隊通信隊	
用役	名稱	馬種	毛色	年級	本馬	差出部隊	摘	要
乘	福明	日	析栗	十	一九四	聯隊本部		
乘	城改	日	黒鹿	十七	一四七	通信班	榮養ニ注意	
乘	盛勲	白	青	十八	一五六	第三大隊 機關銃中隊	時ニ在奔スルトコリ	
輓	森花	嵩	粕	十八	一三八	通信班		
輓	長鉄	嵩	河原	十三	一三三	同右		
輓	義忠	嵩	栗	十五	一三三	同右		

支那馬種名簿

獨立歩兵第十三聯隊第八大隊

用役	名稱	馬種	毛色	年齢	体高	差出部隊	摘	要
乘	岩崎	白鹿	鹿	十六	一五六	第一大隊 機銃中隊		
乘	富岡	白栗	栗	十一	一五八	聯隊本部		
乘	藤岸	白栗	栗	十三	一五四	第一大隊 機銃中隊		
乘	城	白栗	栗	十七	一五〇	同		
乘	花	白青	青	十九	一五九	同 歩兵砲小隊		
駄	然	白青	青	五		同 機銃中隊		
駄	秋天	白鹿	鹿	十七	一五九	同 志		
駄	梅枝	白栗	栗	十八	一五九	同 歩兵砲小隊		

馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱
泉勇滿	凌南滿	長蘇滿	福岡滿	福金滿	福高滿	富炎日	泉路日
班	系	芦	駁	芦	粟	栗	蔗
十一 一三六	十三 一三〇	十三 一三二	十一 一三三	六 一三三	六 一三四	十	十一 一四七
同右	同 機對統中蒙	同 者與理小蒙	同右	同右	同右	同 機對統中蒙	同 者與理小蒙

同	同	同	"	"	狀	"	"	"	乘	用役	文件馬輝名簿 獨立歩兵第三聯隊第三大隊 摘要
福谷	東武	本達	若早	高平	廣正	川雲	藤岡	松原	谷豊	名稱	
満	日	日	日	日	日	日	日	日	日	馬程	
其	栗	黒津	栗	澁	鹿	栗	鹿	栗	黒鹿	毛色	
六	二十	十六	九	十五	十八	十九	十三	十二	六	年齢	
一三二	一五二	一五六	一五〇	一五三	一五七	一四六	一五五	一五四		体高	
同 機銃中隊	第一大隊 歩兵砲小隊	同 機銃中隊	同 歩兵砲小隊	第三大隊 機銃中隊	同 歩兵砲小隊	同	第一大隊 機銃中隊	第二大隊 機銃中隊	第三大隊 歩兵砲小隊	差出新隊	
		孤痛経歴								備	

	同	歎	乘	同	同	同
	承 當	松 大	本 山	松 見	勝 長	福 政
	同	瑞	目	瑞	同	同
	思 兼	班	柳 栗	栗	鹿	芦
	九	九	十 四	十 二	十 七	十 一
			一 五 夕	一 三 夕	一 三 夕	一 三 夕
	同	聯 隊 砲 隊	機 銃 中 隊 第 三 大 隊	聯 隊 砲 隊	機 銃 中 隊 第 三 大 隊	同

1090

同	同	同	馱	同	同	同	同	乘	用役	文件馬連名簿 獨立歩兵第十二聯隊第三大隊 摘要
名杉	政駒	花忍	清駿	白單	河只	鳥根	市越	水神	名稱	
白	白	白	白	白	白	白	白	白	馬種	
鹿	栗	麻	青	黒栗	栗	栗	栗	栗	毛色	
十八	十	十	六	八	十六	十一	二十	六	年齢	
一五九	一四七			一五五	一五九	一五三		一五五	体高	
聯隊砲隊	同機関銃中隊	同	同先兵砲小隊	同機関銃中隊	同先兵砲小隊	同	同	機関銃中隊	差出部隊	
									摘	
									要	

同	同	同	同	同	同
義春	大嵐	越海	經秋	義弘	樂竹
同	同	同	同	滿	白
廉	廉	廉	芦	粉	鹿
十六	十三	十四	十三	八	十九
一三八	一三〇	一三七	一三一	一三五	一五一
同	同	同	機同 筒銃中策	同	大第三大隊 兵砲小隊 策

同	靦	同	同	同	同	同	同	乘	用役	文件馬連名簿 獨立歩兵第十一聯隊歩兵砲隊 摘要
龍	春	群	磐	坎	谷	深	城	城	台	
富	高	南	山	西	星	厚	信	杉	稱	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	馬種	
鹿	鹿	栗	青	栗	栗	栗	栗	黒林	毛色	
九	九	十二	十三	十三	七	十八	十六	五	年齢	
一五	一五 一四	一五 一四	一五 一四	一五 一四		一五 一五	一五 一四		体高	
同	同	同	同	同	聯隊砲隊	第一 天 機 銃 中 隊	同	聯隊砲隊	卷出部隊	
									檣	
									要	

同	同	同	同	同	同	同	同
城	新	厚	横	染	秋	熊	新
松	卒	呂	松	伊	晴	久	虎
日	日	日	日	日	日	日	日
青	栗	鹿	鹿	鹿	鹿	黒	栗
五	十八	十七	十七	十七	十六	十四	十三
	一五八	一五九		一五六	一五七	一五七	一五四
第 三 大 隊	同	同	同	同	同	同	同

十月十五日 晴

於張家口

各隊編
成人名決定

經理

- 一 有田中佐編成事務連絡、為大同ニ出張ス
- 二 各中隊ニ編成人名ヲ決定ス
(但機關銃 歩兵砲 通信隊ヲ除ク)
- 三 宿營ニ要スル諸材料物品、調辦補給並交付
ヲナシ 又第三大隊復介任官、前渡金決算授
受ヲ了ル

十月十六日

晴

於張家口

一、獨歩十三轉出、近森大隊八軍旗ヲ拜シ是ニ全ク獨

歩十三ニ轉出ス

二、兵參電五〇ニ依リ獨歩十三轉出部隊携行兵器
品目員數ヲ報告ス

三、左ノ日口命令ヲ下達シ編成委員長以下ノ免命
ヲナス

奈良部隊日口命令

免委員長

陸軍歩兵大佐

堀井富太郎

命同

陸軍歩兵中佐

坂田善市

免委員

陸軍歩兵少佐

近森重治

免同

陸軍主計大尉

沖山文明

免同

陸軍歩兵少尉

石川正一

命同

陸軍歩兵大尉

津川直志

命同

陸軍歩兵准尉

佐々木鐵男

免助手

陸軍歩兵曹長

中野寛造

免	免	命	命	命	命	頭書
助	同	同	同	同	同	通り
手						編成
						委員
						長
陸軍歩兵曹長	陸軍歩兵軍曹	陸軍歩兵軍曹	陸軍歩兵軍曹	陸軍歩兵軍曹	陸軍歩兵軍曹	委員
堀正夫	伊藤正三	西森鶴喜	此平義信	金丸一男	陸軍歩兵伍長	助手
					長	ヲ免命ス

十月十七日

晴

於張家口

編入替
兵 器
獨歩十三
聯隊ノ編
成地大同
ヲ移轉ス

一編入替ハ豫定通り全ク完了ス

二規定第十五條ニ依ル兵器用物品不足報告ヲ提出ス

三午前八時兵團ヨリ左ノ電報ヲ受領ス

獨歩十三 第三大隊缺ノ編成地ハ大同ニ同第二大隊

ハ張家口ニ變更セララル

編成擔任官ハ變更セラレス

是ニ於テ此ト日直チニ久野部隊ニ通報スルト共ニ獨歩

十三聯隊ノ編成地大同移轉ニ伴フ編成要領ヲ別紙ノ如

ク定ム

四在張家口隊内馬匹ノ編入替及第三大隊差出馬ノ編入替

ヲ實施ス

又兵站病馬廠ヨリ整備馬匹ノ轉送交付ニ関スル連絡

260T

ノ為下士官來隊協議ス

尚大同森部隊長宛ノ電文ヲ發ス

久野部隊交付馬四十五頭ハ大同ヲ於テ受領ス奈良部隊交付馬中十頭ハ榮滿堡駐シテ三十五頭ヲ張家口ニテ受領ス輸送日時ヲ承知シ度

五久野村部隊長ヨリ兵團宛テノ電文ヲ發ス

第三六師團編成ニ関スル規定第三條編成細則第十七條ニ示ス諸條規勤務令殘用地圖陸軍成規類聚電信符號等至急交付ヲ配相成度

極秘

別紙

660T

獨立歩兵第十三聯隊編成地変更ニ
伴フ同隊編成要領

十月十七日獨立歩兵第十三聯隊(第二大隊欠)
ノ編成地ヲ張家口ヨリ大同ニ変更セラレタル
結果編成担任官ノ所在地ト編成地トヲ異ニス
ルニ至レルニ付同隊ノ編成ニ關スル今後ノ業
務要領ヲ左ノ如ク定ム

一 獨立歩兵第十三聯隊本部ノ大同移轉(十
月十九日ト予定ス)ト共ニ同聯隊ノ編成ニ關

那馬縣呈報部法費村大字大輪二四五番地

スル編成担任官ノ業務ノ大部ヲ同聯隊長ニ
委任シ業務ノ円満ナル進捗ヲ期ス

一 獨立歩兵第十二聯隊ヨリ獨立歩兵第十三聯
隊編成ノタメ差出スヘキ人馬物件ハ同聯隊
第二大隊ノ編成ニ充當スルモノヲ除キ成ルヘク
速ニ十月十九日ト予定ス大同ニ輸送シ同聯
隊ノ基礎的編成ノ完成ニ支障ナカラシム

三 獨立歩兵第十三聯隊ノ整備人員旅家口ニ
到着セハ直ニ之ヲ大同ニ輸送シ同地ニ於テ
同聯隊長之ヲ部下各隊ニ配當シ第二大

隊ニ屬スヘキ人員ノミハ成ルヘク速ニ之ヲ張
家口ニ輸送シ編成担任官ニテ同大隊ノ
整備ヲ行フ

四 獨立歩兵第十三聯隊整備用馬匹兵器材
料モ亦右ニ準ス

但狀況ニヨリ編成担任官ニ於テ第二大隊
整備ニ要スルモノヲ張家口ニ於テ抽出シ整
備ニ充當スルコトアリ

五 前條人馬兵器材料等ヲ兩聯隊ニ區介追

送セラレサル場合ハ編成担任官ニ於テ適宜
之ヲ區分整理シ獨立歩兵第十三聯隊（第二
大隊）ノ分ノミヲ大同ニ輸送ス

六、右人馬物件ノ輸送ハ張家口ヨリスルモノハ編
成担任官、大同ヨリスルモノハ獨立歩兵第
十三聯隊長之ヲ担任ス

七、獨立歩兵第十三聯隊ニ於テハ編成業務
處理ノタメ司隊編成委員ヲ設ケ編成担任
官ノ定ルル獨立歩兵第十二聯隊ノ編成委員
ト密ニ連絡セシム

但獨立歩兵第十三聯隊第二大隊長及同大
 隊副官ハ編成担任官ノ組織スル委員中ニ
 加ヘ同聯隊ノ編成業務ニ参シ畫セシム

八、獨立歩兵第十三聯隊長ハ編成担任官ノ
 編成詳報作製資料トシテ同聯隊ノ直接
 實施セル編成業務ニ關スル記録ヲ編成完
 結後四日以内ニ編成担任官ニ提出スルモノ
 トス

配布箇所

近	獨	獨	獨	步	師
森	步	步	步	兵	團
部	一	一	一	團	司
隊	三	二	一	司	令
				令	部
				部	
	二	六	六	一	一
					四

十月十八日

晴

一、兵團ヨリ左ノ電文ニ接ス

於張家口

軍規定第十八條ニ依ル被服以外ノ諸物品ハ軍ニ請テ
交付セラル、如ク指示アリタルニ付所要品目員数至
回答アリタシ

二、午後二時千田部隊長宛左ノ電文ヲ發ス

編成擔任官トシテ報告ノ必要アル付員隊ヨリ獨
歩兵第十三聯ニ轉出セシ大隊ノ携行兵器物品ノ品
目員数ヲ至急回答アリ度

三、午後十二時兵團ヨリ左ノ電報ヲ受領ス

獨歩十三充當ノ兵力(少クモ大隊長ノ指揮スル止
兵ニ中隊)ヲ明朝張家口ヲ出發セシメウルヤ至
急返(渾源方面討伐ニ必要)(三六號參電一五三)

十月十九日

晴

於張家口

一昨十八日二六師參電五区返トシテ左ノ電報ヲ發ス

獨歩十三要員タル近森大隊ヲ派遣ス

二規定第十七條ニ依ル新設部隊所要ノ兵器修理用物品及手入材料(約三月分)所要數量ヲ請求ス

三大同森部隊長ヨリ左ノ電文ニ接ス

貴隊補充馬四五頭三日張家口ニテ交付ス

四近森大隊ハ午前十一時張家口ヲ出發大同ニ向ヘリ

五午後四時兵團ヨリ左ノ命令ヲ受領ス

一第五師團後方部隊ハ目下蔚縣廣靈附近ニ於テ

敵包圍ヲ受ケアルカ如シ

二兵團ハ二六師團編成業務ヲ一時中止シ該地附近ニ

アル第五師團後方部隊ヲ救出セントス

三獨歩十三聯隊長ハ歩兵一大隊(聯隊砲ヲ附ス)ヲ列車

ニ依リ大同ニ派遣シ予ノ直轄タラシムヘシ

六久野村部隊長ハ兵團宛左ノ電文ヲ發ス

- 一 後作命甲元号ノ要旨第四項ノ聯隊砲ハ交付セラ
レラス 聯隊編成ノ現況ニ鑑ミ各種重火器ヲ速ニ
交付セラレ度
- 二 聯隊ハ豫定ヲ繰上ケ在張家口部隊全部ハ明ニ
十日午前八時張家口出發大同ニ向フ
- 三 編成委員ハ之ヲ改編シ爾後ハ各任地ニ移テ固有ノ任
務ヲ實行ノ傍編成業務ヲ實施スルコトセリ

十月二十日

晴

於

張

家

口

一兵站病馬廠ヨリ交付セラレタル整備馬匹四十五頭

張家口驛前ニテ假受領シ之ヲ検査ノ上左ノ如ク配當

各機関銃中隊 十頭

歩兵砲隊 七頭

通信隊 八頭

又午後獨立守備隊司令官ヨリ交付セラレ、整備

馬匹五十九頭ヲ張家口驛ニテ假領ス

二毛布ヲ留守隊ヨリ三千枚追送セシム

三其ノ他特記事項ナシ

十月二十一日

晴

於 張 家 口

一、規定第十八條ニ依ル所要被服糧秣公用行本手
給養器具馬匹手入具縫工具(但被服糧秣ヲ除ク)

ヲ請求ス

二十日受領セル馬匹ヲ左ノ如ク配當ス

聯隊本部

通信隊

歩兵砲隊

各機周鏡中隊

三頭

六頭

八頭

十四頭

十月二十二日

晴

於張家口

一、整備人員兵器其ノ他諸品、到着遅延シ
 豫定通り安負施サレズ業務ハ一時中止ノ状態ニ
 二アリ

十月二十三日晴
一 記事ナシ

於張家口

張家口 張家口 張家口 張家口 張家口 張家口 張家口 張家口 張家口 張家口

十月二十五日 晴

午後十時兵團長より左記電報ニ接シ茲ニ獨立

歩兵第十二聯隊編成ハ是結マ独立步兵第十二聯隊人員一覽

左記

表別紙ノ如シ

電文

第二十六師團ノ編成ハ十月二十五日午後一時ヲ

以テ完結ス

編成改正ニ關スル所見

編成改正全般ニ就テ

戰鬪後引續キ對敵勢ニ敬言備ニ在シツ

編成業務ヲ實施シタル結果幹部ノ交代移動

ト分散配置ノ關係上人員ノ調査其他書類

提出連絡等種々不便ヲ生シ從テ業務遂

行ニ支障シ來セシコト多大ナリ
 將來戰場ニ於ケル編成改正ハ成可ク之ヲ
 避クルカ若シ止ムラ得サル場合ハ成可ク一地ニ
 集結實施スルヲ可トス
 2. 他部隊転出部隊ヲ完全大隊トシタルモ各
 大隊ヨリ一中隊宛転出セシムルヲ可トス
 編成ヲ複雑セシメタリ
 3. 今次編成改正ニ伴ヒ平時保管馬ノ約三分
 ノヲ他部隊ニ転出シ且ツ編成改正ニ依ル
 救正備馬正ハ全部荷州馬ニシテ而モ其ノ資
 格ハ甚ク乏々ニシテ就中失格損徴ノ重患
 ナルモノヲ帶有シ軍馬トシテノ性能ヲ疑ハ
 シムルモノ十餘頭ニ達シ從來ニ比シ隊馬

十月二十四日晴
一託事ナシ

於張家口

ノ資格ハ格段ノ低下ヲ見タリ
 殊ニ整備馬匹中ニハ全ク調教ヲナシアラサル
 為直ニ使役シ得サルモノヲ混シ部隊ノ行
 動上憂慮スヘキモノアリ
 將來ニ於ケル馬匹ノ補充ハ棄馬及歩兵砲
 輓馬ノミニテモ日本馬ヲ次テスルヲ原則トシ
 他ノ輓馬ニ対スル満馬補充ニアリテハ
 調教馴致ノ完成セルモノヲ補充セラレ度シ

人馬一覽表

昭和十三年十月二十七日調製

獨立步兵第二十聯隊

Main data table with columns for ranks (將, 佐, 尉, 曹, 長, 兵, etc.), departments (醫務部, 衛生部, 經理部, etc.), and counts for different divisions (本部, 工, Ⅱ, Ⅲ, 計, 定員外).

備考 (Notes) - Detailed handwritten notes on the left side of the table, including dates and personnel details.

昭和十二年十月
自十四日
至二十五日

第二六師團搜索隊
編成詳報

獨立騎兵第一隊隊長 森澤市亀

十月十四日

一午後五時森澤少佐ハ花雲ヨリ大同ニ歸還後速ニ該地在
後宮部隊本部ニ出頭編成改制ニ關スル編成擔任官ヲ
命セラレ細部ニ關スル事項ヲ打合セ編成要領及同細則
ヲ受領シ午後六時ニ十分宿營地タル大同西門外ニ歸還
速ニ將校ヲ中隊長宿舍ニ集合セシメ該者ニ編成ノ要旨
ヲ傳達シ附表第一日課予定表ヲ作成ス

十月十五日

一編成擔任官森澤少佐ハ午前九時ニ十分下士官以上中隊
本部ニ集合セシメ編成ニ關スル事項ヲ傳達シ附表第二
ノ委員及助手ヲ命ス

二中隊ハ午前九時十分ヨリ四編成ニ依ル小隊編成ヲ内務力

班編成三人馬及兵器入換受授ヲ實施午後四時終ル

十月十六日

一、本林澤少佐ハ午前九時下士官以上集合セシメ同時左記
ノ通り新編成ニ依ル將校ニハ命課ノ傳達下士官以下ニ
ハ命課ス

左記

第一甲隊正副	全	陸軍騎兵少佐	森澤市	龜
全	全	全	細谷	豊
全	全	全	吉邑	信
全	全	全	渡邊	忠
全	全	全	小川	忠
全	全	全	豊田	朝一郎

第一中隊附
 合 本部 附
 合 合 合 合 合 合 合 合
 第一中隊附

陸軍騎兵中尉
 合 曹長
 合 曹長 要員
 陸軍騎兵軍曹
 合
 陸軍砲兵曹長
 合 主計曹長
 合 衛生曹長
 合 縫工軍曹
 合 獸醫務軍曹
 陸軍騎兵准尉

塩澤邦男
 篠尾季明
 土屋慶三郎
 倉澤信明
 小林基一郎
 長澤寅夫
 中島規
 小柳貞司
 福島久吉
 原谷嘉作
 冲中定人
 小林繁天

第 一 甲 隊 附
令 令 令 令 令 令 令 令 令 令 令

陸軍騎兵准尉
令 曹長
陸軍騎兵軍曹
令 曹長 要員
令 伍長
令 下士官 要員
令

樫村 徹
浦野 清 藏
小林 唯 義
山内 勇
和田 武 雄
圓谷 欽 吾
藤野 忠 雄
秋山 享 介
佐々木 新 吾
中村 鑛 三
内野 良 男
野白 茶 郎

全

第三大隊向

全

准尉

原 春

雄

全

曹長要員

江下勝

次

全

全

井上光

三

全

下官要員

戸田外

次

溝上祐次

郎

二、各内務班新編成ニ依ル人馬ノ入換ヲ實施ス
三、午後三時會報ヲ實施ス

十月十七日

一、午前九時ヨリ、武器馬具ノ入換ヲ實施ス

二、午後三時會報ヲ實施ス

三、基礎編成完結セルニ付、後官部隊長間東軍司令官ニ

報告ス

十月十八日

一午後三時會報ヲ實施ス

二第二中隊長陸軍騎兵中尉池田豊午後七時着隊ス

十月十九日

一後宮作命甲第三一師ニ依リ編成ヲ一時中止シ編成改制

前ノ編成ニ移シ部隊ハ第五師團後方部隊多ク援ノ爲

午後二時出發發源方面ニ向ヒ前進ス

二搜索隊長 陸軍騎兵中佐 岩田文三

午後七時着隊ス

十月二十三日

一後宮作命甲第四凡號ニ依リ午後六時大同ニ歸還後速

三人車及兵器ヲ新編成ニ移セリ

二午後八時會報ヲ實施ス
十月二十四日

一午後三時會報ヲ實施ス

十月二十五日

一第六師團作命甲第一號^第依^止十六師團編成ヲ完結ス

二第六師團搜索隊ハ午後一時編成完結ス(新編成^依止^兵器^不利^用)
物件

附表第一

日課予定表

編成日次 日課予定

十月十四日 第一日	一 将校ニ対スル編成ニ関スル要旨ノ傳達 二 書類ノ研究
十月十五日 第二日	一 下士官ニ対スル編成要旨ノ傳達 二 委員及助手ノ命課 三 四小隊編成ヨリ内務班編成轉移 四 會報
十月十六日 第三日	一 将校ノ新編成ニ関スル命課ノ傳達 二 下士官及下士官ニ対スル命課 三 新編成人山ノ校舎地 四 會報
十月十七日 第四日	一 武器器具ノ檢査 二 各隊編成ノ完結 三 會報
十月十八日 第五日	一 兵營ノ邊小口ノ清掃 二 會報
十月十九日 第六日	
十月二十日 第七日	
十月二十一日 第八日	
十月二十二日 第九日	
十月二十三日 第十日	
十月二十四日 第十一日	
十月二十五日 第十二日	一 編成完結
備	秀

附表第二

編成委員及助手		官	氏	名
委員及助手区分				
編成委員	陸軍騎兵中尉		細谷	豊
人員関係業務	令 准尉		梶村	徹
令 助手	各 内務班長			
馬匹業務	陸軍騎兵准尉		江下勝	次
令 助手	各 内務班長			
被服業務	陸軍騎兵中尉		塩澤	邦男
令 助手	令 縫工軍曹		原谷	嘉作
兵器業務	陸軍騎兵中尉		篠尾	季明
令 助手	陸軍砲兵工曹長		中島	規
經理業務	令 主計中尉		吉邑	信義
醫務室関係業務	令 軍醫大尉		渡邊	忠
令 助手	令 衛生曹長		福島	久吉
獸醫関係業務	令 獸醫中尉		小川	忠司
令 助手	令 獸醫務軍曹		沖中	定人
庶務	令 騎兵曹長		土屋	慶三郎

1127

昭和十二年十月二十五日

編制改正詳報

獨立野戦兵隊十一聯隊

編制改正詳報

一 昭和十二年十月七日山西省朔縣ニ於テ編制改正ニ關スル書類ヲ受領ス當時聯隊ハ戰鬥行勅中ナリシモ速ニ編制改正ヲ準備スルヲメ翌八日精成主任若碓兵少佐馬場喜直ヲ張家口後宿兵團戰鬥司令部所ニ八日同宿ヲ大同後宿兵團司令部ニ派遣シノ所ニ要ノ指示ヲ受ケケシム

二十月九日精成業務打合せノ爲碓兵大尉内藤ニ三男ヲ大同戰鬥司令部所ニ派遣シノ所ニ要ノ準備ヲケケシム 碓兵少佐相川 要 左衛門ハ編制要員トシテ大同ニ至リ先發買内藤大尉ト合シ業務ヲ援助シ(要ニ十一日聯隊ハ大同ニ歸還スルヤエニ合ス)

三十月十日關奉編第二〇號滿州派遣第二十六師團編成ニ關スル規定(以下區規定ト略稱ス)第五條ニヨリ整備人員整備區ハ

表ヲ軍司令官ニ提出ス

四十月十日聯隊六大同編成地ニ歸還シ聯隊編制改正ニ關スル
規定ヲ定メ遂ニ編制改正業務ヲ進捗セシム同日將校職務令
課内報ヲ受領ス

聯隊長八十二日正午部隊ニ先行シ大同戰團司令所ニ至リ編制
改正業務ニ關シ打合セラ行フ

五十月十六日別紙久魂日令第四一號知ク聯隊内將校(准士官ヲ含ム)
下士官ノ命課換ヲ行フト共ニ庫下規定第四一號^條ヨリ左記三名ヲ滿州派
遣第一六師團司令官^部轉屬ス

- 陸軍砲兵軍曹 岡澤 廣美
- 同 火工曹長 釜付 正吉
- 同 主計任長 安藤 治

六十月十七日現在編成第一隊ニ第三中隊ヲ各大隊ノ基幹トシ各中隊ノ馬ヲ以テ大隊本部及第三中隊ヲ編成シ茲ニ獨立野砲兵第一聯隊ノ基礎編成ヲ完成ス同日軍醫大尉岡部一昇主計大尉菅原良峯著任ス

七十月十八日第一大隊ハ牛田支隊ニ配屬セラレ第五師團後方部隊救急ノ爲蔚縣、靈邱方面ニ出動ノ爲同大隊ハ一時編成業務中止ヲ命ゼラル

八十月十九日聯隊附砲兵中佐樺井貢次ニ大隊長砲兵少佐乾新治著任ス

九十月二十日宿營地大同ヲ大同西北方約五料大同中學校ニ移轉シ編制改正本員長以下ヲ別紙及砲兵令第四九號ノ如ク変更強化シ編制改正業務ノ進捗ヲ圖ル

- 一、十月三十四日兵團軍醫部ヨリ衛生材料ノ部ヲ受領ス
- 二、十月二十五日ヨリ二十五日ニ至ル間編制改正ノ結果人馬兵隊材料ノ増加ヲ顧上慮シ宿營設備ノ擴充兵隊並戰用諸品ノ整備ヲ計ルト共ニ各隊長ヲシテ部下ノ掌握(團結)ニ努メシメ十月三十五日午後一時編制改正ヲ完結シ虎結ヲ兵團司令部ニ報告スルト共ニ人馬一覽表及將校各部隊將校職員表ヲ提出ス
- 三、二百兵團命令ニシテ錦縣ニ残置マル作戰及教育用諸資材前送ノ爲砲兵少佐馬場喜重以下十三名ヲ錦縣ニ派遣ス
- 四、整備人馬兵器材料及戰用諸品ハ未タ到着セザルモ近ク補填セラルル狀況ニ在ルヲ以テスカ受領分配等ニ關シテハ別ニ規定ヲ定メ周密ナル準備ヲ整ヒ以テ編制改正ノ完遂ヲ期セントス

入隊日命第四九號

入江成兵部隊日命令

十月十日午後五時
大前西兵

一、大ノ如ク論制改正並業務本員ヲ命ス

本員長	本員	助員
櫻井中佐	馬場少佐	得津曹長
	各大中隊長	川久保軍曹
	相川大尉	各大隊書記
	岡部軍醫大尉	坂田主計准尉
	曾原主計大尉	田代軍醫務准尉
	國本主計中尉	萩原衛生曹長
	祐泉軍醫中尉	豊田電工軍曹
	三塩技術准尉	

1136

昭和十三年十月二十五日

編成詳報

椎橋部隊

編成詳報

十月五日

第一日

一 午前十一時軍令陸甲第二十四號ニ依リ滿洲旅遣踏重六第
 二六聯隊編成下令セラル

二 午前十一時隊長少佐小出龍勇ハ少尉瀧山大藏、軍曹三馬雅
 フ帶同大同戰闘司令所ニ出張シ關東軍兵隊原田中佐ト
 編成ニ関スル打合セヲ實施ス

三 午後七時左記ノ如ク書類ヲ調整関東軍司令部及獨立
 混成第十一旅團司令部ニ提出ス

左記

1. 戰時職務命課意見
2. 整備人員修正備區分表
3. 馬匹整備區分表

四午後三時ヨリ中尉萩原國雄ヲシテ編成部隊ノ宿營地ノ
偵察ヲ實施セシムルト共ニ少尉杉山大藏ヲシテ兵站宿舎
概ニ連絡セシム

五午後七時ヨリ編成ニ関シ左記小出部隊命令ヲ下達ス

左記

小出部隊命令

十月五日

一 當隊編成下令ニ伴ヒ十月八日迄ノ業務ヲ別紙方針要
領ノ如ク定ム

二 毎日主任者ノ會報ヲ行フ

時刻ハ其ノ都度指示ス

小出部隊長

小出龍勇

編制改正實施方針

人從來ノ如ク作戰行動ノ實施シテ、編制改正業務ヲ遂
行ス

2. 關係業務ノ進行ニ伴ヒ編成改正業務ハ各期ニ區分シ情
況ニ合スル如ク業務ヲ遂行ス

3. 編成地ハ大同トス

要領 第一期 (十月五日ヨリ概不八日迄)

1. 本期間ノ業務分担及業務ヲ別紙ノ如ク定ム

2. 現役人馬ノ配當及現有ノ兵器被服等裝備ノ配當ヲ
實施シ充足人馬其他裝備ノ研究ヲ行ヒ編成改正業

務ノ基礎工作ヲ實施セシム

3. 充足人馬ノ收容並ニ編成團結ヲ計ル為メノ諸設備ヲ

實施セシム

別紙

編制改正第一期業務分担表

一 現役人馬ノ配當及之レニ伴フ業務

二 現有兵器被服等ノ配當及新編成ノ多
充足裝備ノ研究準備

三 充足人馬ノ收容並ニ編成團結ヲ圖ル為
メノ諸設備等ノ實施

備考

一 警備中尉八第一、第三ニ連帯ス

救原中尉八第一、第二ニ連帯スルモノトス

從來ノ本部庶務掛
大尉

從來ノ兵器委員
經理委員、軍獸醫

主任救原中尉
經理委員、軍獸醫

五午後十時ヨリ出勤者ヲ除ク將校以上ヲ集メ編成規定ニ就キ研究ヲ行フ

十月六日

第二日

一般事項

六午前八時ヨリ本部事務室ニ於テ現役人員配當ニ関スル準備ヲ實施ス

六午前九時ヨリ編成充當人馬中他隊ニ既屬シタル人馬ノ原所屬ニ復歸セシムル件ニ付キ獨立混成第十一旅團司令部ニ電報ヲ宛送ス

六午前十時ヨリ在森家口柳澤在尉ニ對シ編成要領同細則ヲ旅團司令部ニ付受領送付スル事ヲ行ハス

四午前十時ヨリ中尉萩原國雄ヨリ予編成部隊宿地ノ偵察ヲ

實施セシム

五午後二時。分少尉杉山大藏主計在尉岩木固志ヲシテ兵站支部ニ付宿營地及倉營設備ニ関シ連絡セシム

六午後三時。分軍令陸甲第二五五號ヲ受領ス

七午後七時隊長小出龍勇ハ編成業務實施ニ伴フ宿營地選

定ニ関シ兵站監部ニ到リ協議ノ結果概テ予定地ヲ決定ス

兵器關係事項

午前九時ヨリ編成ニ関スル規定中ノ第十三條、第十四條、第十五

條第十六條ニ関スル研究ヲ行フ

經理關係事項

一編成完了後ニ於ケル人馬ノ収容建物調査ヲ為大同旧憲兵隊跡ニ到リ午後三時ヨリ約壹時間ニ亘リ調査ス次イテ大同驛西北方支那兵營ヲ調査ス

ニ編制改正ノ為新ニ増加編成セラル、人馬ノ収容設備材料
ノ調達ニ着手ス

十月七日

一般事項

一午前八時五分ヨリ隊長川出龍勇本部員ヲ集メ現役
人員ノ配當及整備人員ノ充足ニ関テ研究ヲ行ヒ左ノ如ク方
針要領ヲ定メ又

現役人員配當

方針

一乘馬小隊ハ車輛甲隊ニ自動車小隊ハ第三中隊ニ配
當ス
車輛丙中隊ハノ配當ハ其餘人員ノ能力ヲ平等ナラ

第 三 日

シハルヲ主義トスルモ努メテ從來ノ建制ヲ保持シ團結ノ
強化ヲ圖

要 領

一、第一分隊ヲ第一中隊、第三分隊ヲ以テ第二中隊ノ基
幹人員トナシ第二分隊ヲ西中隊ニ分割ス

二、分割スル分隊ハ西中隊ニ初年兵教育ヲ含マシムトス
三、上等兵各持業兵工務兵ヲ平等ニ分割シ概不能力ヲ平等
ナラシム

三、健康保護兵ハ平等ナラシム

四、衛生兵ハ現役兵ヲ一、二中隊ニ一名宛配當ス

五、定員外ハ西中隊ニ平等ニ配當ス

六、分隊遣者中(殘留隊ノモノヲ含ム)編成完結迄原所屬
ニ復歸セサルモノハ配當中隊ノ所屬トス

整備人員軍曹伍長以下ノ充足

方針

短時間ニ處理シ得ヘキ具体的方法ニ依リ各中隊ノ能力ヲ平等ナラシム

要領

一 軍曹、伍長ノ配屬要領

一 特業ヲ有スルモノハ本部及自動車中隊ニ配屬ス

一 其他ノモノハ幹部候補生出身、特別補充下士官、現役

ニ在職セシ下士官ノ數ヲ夫レ夫レ概中隊ニ配屬ス

ニ兵ノ配屬要領

車輛中隊

一 特業上務兵ヲ兩中隊平等ニ充足ス

一 次ニ殘餘ノ上等兵ヲ同一徵集年次ノモノヲ平等ニ配屬

スル如ク控配ス

又殘餘ノ一、二等兵ハ留守部隊ニ服務セシモノト昭和十
年度動員計畫上ノ待命員ハ此度特ニ召集サレタルモノ
トシ各簿ヲ区分シ兩者ヲ概不平等ニ配當ス

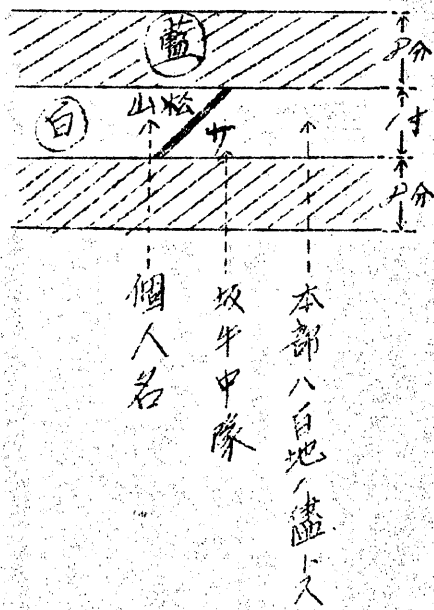
自動車中隊

自動車中隊要員ハ各簿点檢ノ上一轄中隊ニ配當ス
六年前ノ時平介張家口獨立混成第十旅團司令部高級參謀ニ
對シ左記ノ如ク電報ヲ發送ス

左記

軍令陸甲第二四號當隊編成中車輛中隊ノ一、二等兵
一、四名ニ對シ馬匹八〇ニシテ車輛輓車ノ馬匹ナシ
編成實施上必要ニ付昭和十二年度修正動員計畫ノ
企圖ヲ承知致シ度

三年前十時少尉杉山大藏ヲシテ編成部隊宿營地ニ関シ米
 山部隊ニ連絡セシム
 四年後三時米山部隊長來隊宿營地ニ関シ隊長小出龍勇打
 合セテ實施ス
 五年後四時隊長小出龍勇本部員ヲ帶同北門外支那兵營
 ヲ實視シ兵站宿舍概ト連絡ノ結果該地ニ決定ス
 六年後五時編成後ニ於ケル將校以下ノ標識ニ関シ研究ヲ實
 施シ左記ノ如ク決定ス



兵器關係事項

午前十一時ヨリ編成ニ伴フ兵器整備ノタメ兵器自動貨車ノ
檢査實施ス

經理關係事項

一兵營建物調査ノ為大同北門外兵營ニケ所ノ調査ヲ
午後一時ヨリ約二時間調査ス

十月八日

第四日

一般事項

六午前七時在張家口旅團司令部ヨリ左記電報ヲ受領ス

左記

獨深二一副電七三八

十月五日大臣配屬者ニ関シ六補充部隊附輜重兵

中佐 椎橋侃ニ輜重兵ニ大長、輜重ニ八附輜重兵中尉
寺田豊中隊長ニ各々配屬セラル

二午前八時 椎橋中佐宛發送電報左ノ如シ

御榮轉ヲ祝ス、宜敷御指導ヲ乞フ

赴任経路 奉天、承德（汽車）承德、張家口（飛行

機）張家口、大同（飛行機）ハ（汽車）

旅行日程承知致シ度シ

三午前八時 寺田中尉宛發送電報左ノ如シ

御榮轉ヲ祝ス、赴任経路、奉天、承德（汽車）承德、

張家口（飛行機）張家口、大同（汽車）ハ（飛行機）

四午前九時 早介ヨリ隊長小出龍勇本部員ヲ帶同北門

外東側旧支那軍兵營ニ到リ宿營地設備ニ関テ研究ヲ

行フ

五、編成部隊配當兵舎不足ナル為午前十一時在尉柳澤健吉
 フ奥村部隊ニ到ラシメ使用兵舎懷渡ヲ支渉セシメ決定ス
 六、午後一時當隊使用兵營附近ノ掃除ノ實施セシム
 七、午後五時〇分基幹人員ノ配當並ニ宿營地移轉ニ関ス
 ル命令左ノ如シ

小出部隊命令

附 始 日 午 五 時 同

- 一、部隊ハ基幹人員ヲ配當ニ編成實施ノ促進ヲ圖ラントス
- 二、基幹人員下士官以下ニ配當基幹馬匹ノ配當別紙第一、
 第二第三ノ如シ
- 三、雇傭人ノ所屬ハ當分從前ノ通リトス
- 四、作戰ニ関スル業務ハ當分從來ノ編成ニ基キ之ヲ遂行
 スヘシ
- 五、大同ニ於テ當隊ノ位置ヲ北門外東側舊白支那兵營ト

シ各中隊及諸機関ノ配置ヲ別紙要圖ノ如ク定ム
 六本部、坂牛小隊其他各小隊修理班ハ明九日午前中
 ニ前項ノ位置ニ轉移ス
 但シ坂牛小隊ハ北方ヨリ第二號乃至第四號兵舎ニ勢
 篠小隊、会成小隊、佐藤(徳田)小隊修理班ハ第五號乃至
 第七號兵舎ニ配宿ス
 馬夫ハ前述各號兵舎以外ノ空室ニ配宿セシム
 且當分自動車各小隊修理班ノ區處ハ勢篠中尉之ヲ
 担任スヘシ

夕予ハ明九日正午迄ニ北門外舊支那兵營ニ移轉ス
 小出部隊長 小出龍勇

別紙第一

基幹人員准士官下士官配當表

階級	區分	本部	准尉	曹長	軍曹	伍長	第2年次 下士官候補者	技術下士官	各部下士官
		本	今又 覺次	佐藤 隆章	三馬 雅 春藤 敏 森田 勝五郎	佐藤 嘉清		榎 柴田 保之 靴 内田 良之	主 井上 幸之助 大 野田 昭義 伊 三郎
			柳澤 健吉		水 上 信吉 関 口 仰市	庄 田 敏雄			
				德 田 誠	飯 島 鶴吉 土 屋 保行		水 田 新三郎		

1153

車輛中隊基幹人員配當連名簿

基幹人員配置區分表

階級特業	總馬數	第一中隊		第二中隊		附屬部隊	摘要
		配屬數	駐屯數	配屬數	駐屯數		
瓦斯兵	四	上	二	上	二	1, 2	
暗號兵	二	上	一	上	一	3	
蹄鉄工兵	三	二	二	上	一	1, 2	
縫工兵	二	一	一	一	一	2	
裝工兵	一	一	一	一	一	1	
鞍工兵	二	一	一	一	一	1	
喇叭手	二	一	一	一	一	1	
衛生兵	二	初等兵	一	上	一	1	
上等兵	四	二	二	二	二	1, 2	
一二等兵	三四	(二等兵) 二 (初等兵) 四	二	(二等兵) 七 (初等兵) 七	七	七 1, 2	
計	五六	二九	二	二七	二		
定員外	四	(二等兵) 二 (初等兵) 二	二	(二等兵) 二 (初等兵) 二	二	1	

第一中隊(車輛)											
橋	要	特業	階級	氏名	所属中隊						
		瓦	上等兵	本松利男	3						
		瓦	〃	松川慶次	1						
	暗	〃	〃	種村行雄	3						
	蹄	一等兵	〃	松尾勇男	2						
	蹄	〃	〃	黒川鉄雄	1						
	鞍	〃	〃	津田重典	2						
	縫	〃	〃	畑島次郎	3						
	装	〃	〃	津田運	3						
	喇	〃	〃	橋本清	3						
	衛	〃	〃	松本光義	3						
		上等兵	〃	阿比留宏	2						
		〃	〃	若松正也	2						

摘要		特業	階級	氏名	旧所属隊
病馬収容班服務中	蹄工修業兵 残留		二等兵	三砂 考太郎	3
			〃	高田 時長	3
			〃	宮本 弥太治	3
			二等兵	西部 大輔	2
			〃	森田 耕造	2
			〃	西山 隆重	2
			〃	大井 一	3
			〃	久保 利男	3
			〃	山内 勝	3
			〃	高田 武	3
			〃	高口 武俊	3
			〃	田崎 勇作	3
			一等兵	中村 實	3

入院中	入院中	充員外	剩以修業中		
	蹄				
藤氏	一等兵		夕	夕	夕
田島榮一	梅野龜松		永末勝	堤山岬	山中繁
2	3		1	2	3

第二中隊 (車輛)											
階級	特業	姓名	員数	備考							
上等兵	瓦	丸田義隆	2								
一等兵	瓦	丸山 一	3								
一等兵	暗	浦田久吉	3								
上等兵	蹄	南部稻藏	1								
一等兵	鞍	廣崎武夫	1								
〃	縫	波多江徳平	2								
〃	喇	松本茂森	1								
上等兵	衛	花田 博	1								
〃		松田増雄	1								
〃		中村徹次	2								
一等兵		針山勝己	1								
〃		木下重記	2								

摘要	科業階級	氏名	旧所属
歸兵トシテ修業中	〃	大木 惠	〃
歸兵トシテ修業中	〃	宮田 重春	〃
歸兵トシテ修業中	〃	酒井 賢三	〃
歸兵トシテ修業中	〃	松尾 好	〃
歸兵トシテ修業中	〃	原田 未次郎	〃
歸兵トシテ修業中	〃	古田 良人	〃
〃	二等兵	緒方 三千雄	〃
〃	〃	中村 秀夫	〃
〃	〃	森 武	〃
〃	〃	柳谷 三吉	〃
〃	〃	手島 長作	〃
		岡崎 要記	〃
	二等兵	山道次郎一	〃

入院中	旅団分遣シ号入院中	定員外		
二等兵	一等兵		7	7
尾崎行雄	齋藤源一		中野好松	福山幸治
1	1	2	2	

1161

自動車中隊基幹人員配屬連名簿

計	第三小隊	第二小隊	第一小隊	小隊別	區分		
				總員	上等兵	一等兵	二等兵
天	一九	二〇 定員外	二一				
九	三	三	三				
五	九	一三	一三				
六	七	五	四				
三	一	二					
五	一	二	二				
二		一	一				
二	一	一					

基幹人員配備區分表

自動車第一小隊編成表											
摘要											
司令部勤務											
特業											
階級											
氏名											
										上等兵	
										一等兵	
										自動機	
										機工	
										残留	
永田隆英	福永明	尾崎文雄	榎原千秋	佐々野文一	小林行雄	川口嘉平	川淵豊三郎	田中繁雄	山内恭輔	原崎政次	浦明義

階		要		特業階級		氏名	
一等兵	ク	二等兵	ク	一等兵	ク	林 金 六	
尾畑留吉	山田辰男	神田 貞	結城清視	吉田 清	池松廣幸	菅藤義信	

自動車第二小隊編成表									
備要		特業		階級		氏名			
司令部勤務中				上等兵		津田光成			
司令部勤務中				〃		笠元良			
				一等兵		松尾 祝			
				〃		浜 賢			
				〃		荒木初次			
				〃		中村 榮			
				〃		山下 勝			
				〃		桑村 栄助			
				〃		大畑 貞光			
				上等兵		朝井 建司			
				一等兵		松井 新太郎			
				二等兵		西村 勝次			

稿	要	特業	階級	氏名
定員外 現役計年 幹部候補生				
			上等兵	村里武義
			〃	草崎弘
			〃	江口俊廣
			一等兵	田原一男
			〃	岡田喜次郎
			〃	田中尚雄
			二等兵	小松重登
			一等兵	千北辰義
			二等兵	西武春
			〃	泉金八
			一等兵	飯田久米藏

自動車第三小隊編成表																		
摘 要												特業	階級	氏名				
						残留												
一等兵	〃	二等兵	〃	〃	〃	〃	〃	一等兵	〃	〃	上等兵							
瀬尾 又重	岬 春治	樽崎 恒彦	金子 良藏	川崎 好藏	五石 千歳	針本 欣一	春日 安三郎	許斐 素二	渋谷 廣	大石 岩三郎	田丸 亨							

摘 要		特 業		階 級		氏 名	
残 留				二 等 兵	二 等 兵	植 田 久 幸	
				二 等 兵	二 等 兵	小 界 春 田	
				二 等 兵	二 等 兵	矢 部 浅 一	
				一 等 兵	一 等 兵	藤 原 謙 吾	
				二 等 兵	二 等 兵	加 藤 辰 夫	
				一 等 兵	一 等 兵	中 村 藏 治	
				二 等 兵	二 等 兵	川 原 利 二	

備考 ○印ハ現在入班中ノモノヲ示ス																		將校乘馬		
																			乘馬	
																			栗	
																			帶	
																			新	
																				西
																				遊
																				城
																				山
																				月
																			松	
																			松	
																			松	
																			良	

第甲隊配屬馬連名簿

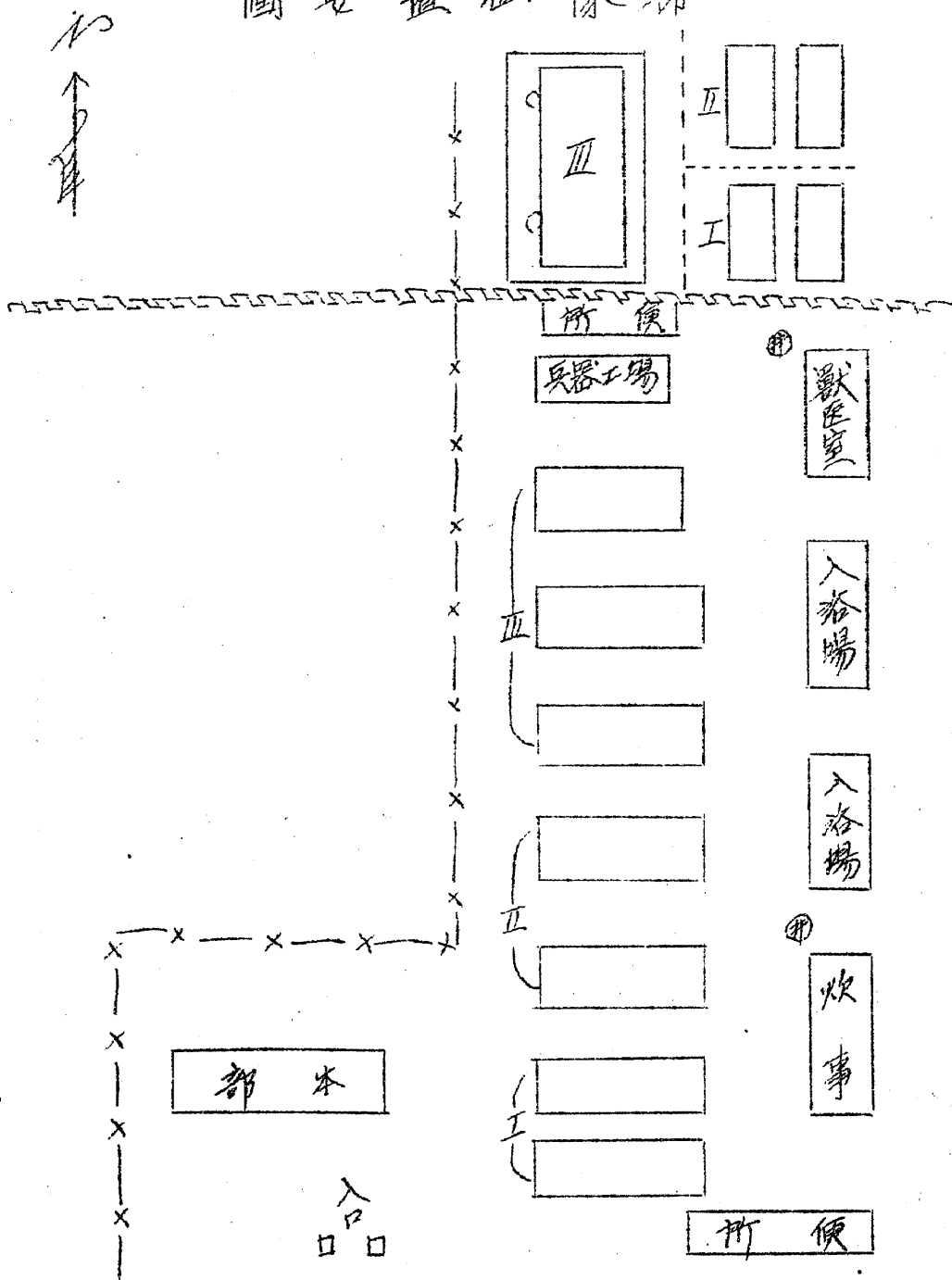
十月十八日調製

備考 一〇印八現在入班中ノモノヲ示ス	川藤隗三長玉長北山	斜枝乘馬
	秀村駒澤花布年上吹	乘馬
	栗栗澤沼山松竹富長深栗龍輕藤玉銀	馬
	勝東秋澤福島氷山竹武清水林月浪津	日馬
	松春長長銀北砂	馬
	杉風本春景室花	馬
	仁新新海関文海貞年海鎮海海龍正新峯海桃全祥蘭海義隆 海章州文海海春海城方城教男恣武快海殿海海城海進吳城 泰新弘園神教海蛸義春義信海錦海龜海陽興玉祭菊松奉訓 式産海陸海賀敷海海産仁符隆永雪 庫城海海海海海久城 標飛新島海海新奉霜新知日火新海鱈鄉奉 海海商勝知貞永岳海花武丸海北月江海海 福福福松松松 智山北相湖草	馬

第二中隊既屬連名簿

十月十八日調製

部隊位置要圖



五午後七時在ノ如ク編成實施ニ関スル第二期要領ヲ命令ス

小出部隊命令

精八日午後七時

ノ爾後整備要員大同到着前迄ニ於テ編成實施ニ

関スル別紙要領(第二期)通心得ヘシ

云 編成ニ関スル要務概

長 坂中 大尉

勢 篠 中尉

杉 山 少尉

編成係

本 勢 篠 中尉

一 坂 中 大尉

二 萩 原 中尉

三 勢 篠 中尉

德 田 曹 長

右頭書ノ通編成ニ関スル業務ノ担任ヲ命入
兵器經理、衛生、馬事等ニ関スル業務ノ担任ハ従前ノ
通りトス
又本項ニ系ス外臨機任務ヲ與フ

小出部隊長 小出 龍 勇

別紙

編成要領（第二期整備要員）
（前頁前送）

一 編成業へ從來ノ小分隊ノ所屬ノ儘担任者ニ於テ
 配當セラレタル基幹人員ヲ使用シ遂行シ作戰ト編
 成業務ノ調和ヲ圖ルモノトス

編成係等ノ下士官以下ノ使用ニ関シテハ從來ノ
 小隊長ト協定スヘシ

二 本期間ノ業務ハ整備人員到着後ノ業務ノ遂
 行ヲ円滑ナラシムル如ク準備スルニ在リ

之レカ實施スヘキ業務左ノ如シ

一 第一期ノ業務中未究成ノモノ

二 整備要員收容ニ関スル諸準備

三 整備要員充足ノ研究

4. 整備人馬受領後ノ業務ノ研究準備
 5. 個人及部隊裝備實施ノ準備
 6. 其他
- 三. 各主任者ノ會報ヲ毎日午後四時會報室ニ於テ行フ

大年後十時編成ニ関スル會報ヲ實施ス

其概要左ノ如シ

1. 宿營地移轉ニ関スル細部事項
2. 新宿營地ノ水使用ニ関スル件
3. 衛生施設特ニ厠ノ設備ニ関スル件
4. 編成業務ト作戰行動ノ調和ニ関スル件
5. 編成概ニ関スル事項
6. 整備人員到着迄ニ於ケル準備事項
7. 被服ニ関スル事項
8. 輸送品受領ニ関スル計畫ノ立案
9. 衛生材料ニ関スル件
10. 物品蒐集ニ関スル件
11. 消耗品補充ニ関スル事項

兵器関係事項

午前八時ヨリ大同北門外支那兵營利用ニ関シ自動車工場及兵器庫ノ位置設備ノ研究ヲ實施ス
經理関係事項

大同北門外兵營實施ニ設備ニ就キ研究ヲ行フ
衛生関係事項

一 編成ニ関スル打合せ

二 村上軍醫中尉兵營調査ヲ實施ス

獸醫関係事項

自午後四時至午後六時日馬ノ分配業務ヲ實施ス

十月九日

一般事項

第五日

六午前七時ヨリ宿營地後轉準備ヲ實施ス

六午前十時ヨリ移轉ヲ開始シ午前十一時完了ス

本部ハ取散ス中隊ノ一隅ニ位置ス

六午前十一時ハ少尉杉山大藏ヲシテ宿營地移轉ニ

伴ヒ電話取付機ハ連隊營具蒐集ニ關シ未老部隊並ニ憲兵隊ニ連絡セシム

四午前十一時ヨリ小隊各部ヲシテ新宿營地附近ノ清

潔整頓及宿舍設備ヲ實施セシム

五午後一時ヨリ少尉杉山大藏軍曹ニ浦忠正ニ自動貨

車ニテ附シ憲兵立會ノ下ニ陣營具蒐集ヲ實施セシム

ム

六午後一時警戒配備ニ付左ノ如ク命令ス

小出部隊命令

十月九日午後一時

本九日以後大同北門外東側支那兵營ニ於テ宿營

地警戒配備別紙要圖ノ如シ

2. 現在地ニ於テ勤務員ノ交代ハ午後五時トス

但シ本日ハ午後一時ヨリ服務スヘシ

3. 本日ノ勤務員ハ左ノ如ク服務スヘシ

目直 將校 勢 篠 中尉

巡察 下士官 水 上 軍曹

4. 予ハ大同ニ在リ

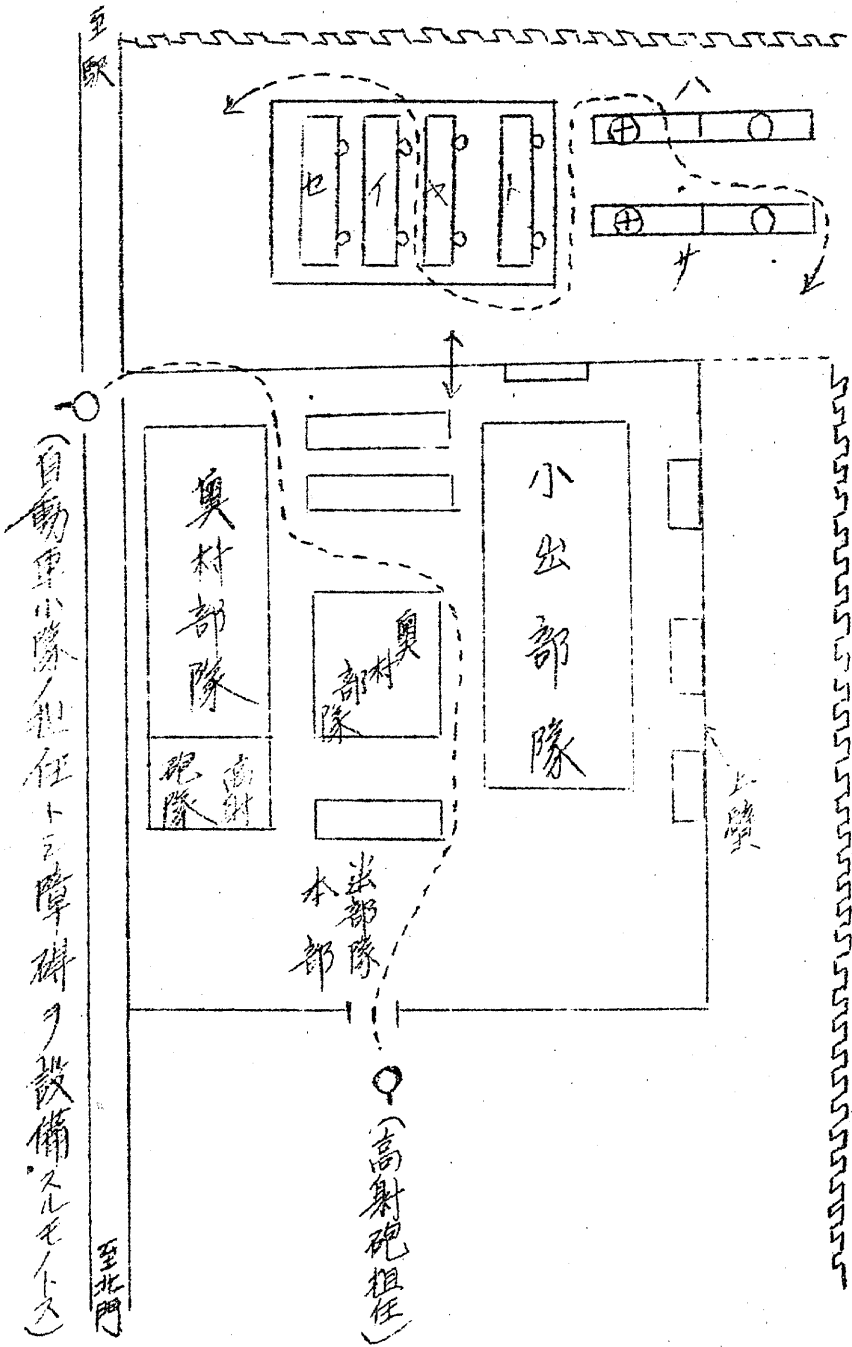
輜重隊長 小出 龍 勇

下 違 法

命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

大同北門外宿營地要圖 (十月九日以後)

↑ ↓ 陣
備考、兵舎内ニハ夜ル各小隊毎ニ不寝番ヲ設ケ
附近ノ巡察ヲ兼ネシムルモノトス



(自動車小隊ノ担任トシテ障礙ヲ設備スルモノトス)

七、午後四時本部事務室ニ於テ編成ニ関スル會報ヲ行

フ其概要左ノ如シ

一、廁所構築ニ関スル事項

二、防火設備ニ関スル事項

三、戰時諸條規勤務令整備ノ件

四、整備人員到着日時照會ノ件

五、整備人員到着前後ノ行事計畫

六、整備人員到着後ノ週間内外ノ教育計畫

七、内地編成部隊附將校ノ行動並ニ部隊指揮ニ関シ整備要

員中ノ將校ニ参考トスルノ件ヲ筆記提出ノコト

八、風呂ノ準備ニ関スル件

九、炊事ノ實施ニ関スル事項

十、當番兵ノ運轉手等差出配當ニ関スル事項

ハ雇傭人整理ニ関スル事項

ハ部隊全部同一ヶ所ニ集メタルヲ以テ日課時限ヲ完ム

但シ行動スル部隊ハ状況ニ合スル如ク定メ實施セム

兵器関係事項

ハ左ノ如ク兵器用物品ノ過不足未提出ス

左部

編成改正ノ為兵器用物品不足ニ関スル報告

昭和十二年十月八日

小出部隊長 小出龍男

関東軍司令官 植田謙吉殿

十月五日関東編第一二二號 滿洲派遣第二十六師團編成

ニ関スル規定第十五條依リ取敢ヘス所要ノモノ別紙

ノ通り不足致ス可ニ付報告ス

兵器用物品不足表

昭和十一年十月日
川出 部隊

品目	分	前量	数量	現在	不足	不足品數之備忘		備忘
						單價	小計	
八式噴銃手入用 批架	水	一五〇	九〇	一〇〇	二〇〇	二〇〇	〇〇	〇〇
同	洗	一五〇	九〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	〇〇	〇〇
同	光	一五〇	九〇	一〇〇	九〇	一五〇	〇〇	〇〇
同	係心	一〇〇	五〇	九〇	一〇〇	一〇〇	〇〇	〇〇
同	矯正	一〇	八	一〇	二〇	一〇	一〇	〇〇
同	矯正	三〇	八	一〇	二〇	一〇	一〇	〇〇
同	葉集掃除器	一〇〇	二五	二五	九〇	三七	五〇	〇〇
同	圓筒掃除器	一〇〇	二五	二五	五〇	二七	五〇	〇〇
合計					一〇〇	一〇〇	一〇〇	〇〇

經理關係事項

一 大同北門外支那兵營午前八時移轉ス

二 先少當分ノ氣候ニ對スル兵舎ノ防寒設備材料トシテ

ア、マ、白布、丸太、板、栗稗等ヲ調辨ス

三 支那兵營設備ノタメ工夫及大工ヲ備入ス

衛生關係事項

一 兵營ニ引越シ假宿營及醫務室決定

二 村上中尉編成會報ニ參加

獸醫關係事項

一 自午前八時至正午野外糞場開設在リ備

二 自午後一時至午後四時獸醫事務室ノ整備

三 午後一時獸醫材料ノ件ニ關シ獸醫班(戰鬥司令部)ニ連

絡

四 自午後四時縮成會報

十月十日

第六日

一般事項

六年前八時召集セル陣營具ヲ收敵ノ執務ニ得ル如ク各中隊各部ヲ分配ス

六年前九時ヨリ前日ニ引續キ次令ノ設備厠ノ設備井戸溝ノ防火設備等ヲ實施セシム

六年前十時関東軍參謀長宛起任延期中ノ須永部隊内田鞞工曹長ノ着任要求電報ヲ發送ス

四 樵橋聯隊長赴任ノ際承德經由時ニ於テ細部事項ヲ承德留守隊ニ指示ス

五 午後三時縮成會報ニ左記ノ如ク電報ヲ發送ス

左記

1 関東軍野戦兵器廠長宛

支給自動車ノ種類、員數、日時、場所、自動車ノ希望

2 留守第一師團長宛

編成整備要員到着日時下士官以下ノ裝備ニ付照會

六午後四時編成會報ヲ行フ其概要左ノ如シ

1 兵舎修理ノ関スル事項(窓ノ滲突等)

2 附近所在ノ丸太其他材料ノ利用ニ関スル件

3 整備人員到着前後ノ行事計畫

4 聯隊長到着前後ニ於テノ行事計畫

5 聯隊長旅行時ノ飛行機其他各所連絡ニ関スル件

6 職務分担ニ関スル研究

7 戦時諸條規備付關スル事項

ニ整備員ニ對シテ衛生法救急法教育之件

ニ配屬馬復敗ニ關スル件

ニ他隊ヨリ當隊配屬中ノ人車ニ關スル件

兵器關係事項

ニ午前八時ヨリ自動車工場ノ設備ヲ實施ス

ニ各自動車ノ修理ヲ實施ス

經理關係事項

ニ移轉兵舎ニ對シテ電灯ノ設備ヲ為ス

ニ備入セル人夫及大工ヲ以テ便所ノ假設備及井戸ノ清

掃、燃管庭ノ掃除、兵舎附屬庫ノ不足ニ對シテ製作

セシム

衛生關係事項

ニ便所作製要求

六 入森場談備ニ関シ意見具申中
七 左記陣營具ヲ受領ス

左記

柵 三箇

椅子 一箇

腰掛 (四人用) 二箇

腰掛 (二人用) 一箇

八 陣營空内ノ整備及室内使用區分表決定
五 村上中尉縮流會報參照

九 獸醫關係事項

一 自午前七時至午後六時 日馬ノ收養

二 自午前八時 川孝ノ自守直檢疫 (口鼻ニ膿眼ニ依リ)

三 自午後一時至午後二時 午田部隊炭疽発生ノ件ニ関シ同隊ト

連絡

四百午後二時至午後三時電報局に至り左記要件ヲ東獸醫
院打電

動員時携行書類全部徳田曹長へ依頼送送頼ム
五 自午後四時編成會報

十月十一日

第七日

一般事項

一 行動ニ依リ車馬ノ損傷ノ整備ヲ行フト共ニ前日ニ
引續宿舎ノ設備ヲ實施セシム

二 午前九時ヨリ本部ノ宿舎設備ヲ行フト共ニ後轉ヲ實
施シ編成業務遂行ヲ容易ナラシムル如ク設備ス
三 編成ニ関シ連絡ノ為メ發送セル電報左ノ如シ

六 聯隊留守隊氣村樵橋聯隊長宛

旅團司令部ノ位置及連絡事項

七 奉天特務機關長宛
樵橋聯隊長赴任時ノ飛行機ノ請求

八 承德留守隊宛
聯隊長到着時期其他ニ関スル指示

九 獨五混成第十一旅團高級參謀宛
整備人馬收容準備及聯隊長到着予定日ニ

関スル件ヲ左記如ク通牒ス

左記

整備人馬收容準備概不整フ

十五大日 聯隊長張家口ニ到着ノ予定宜シク頼ム
宿舎具蒐集ニ関シ各

四午後二時中尉勢篠民之助ヲ予宿舎具蒐集ニ関シ各

所ニ達終ヲ為サシム

五年後四時編成ニ関スル會報ヲ實施ス其要旨左ノ如シ

一 整備人員身体検査ニ関スル事項

二 鞞置場設備ニ関スル件

三 押収地圖利用ニ関スル件

四 認識票ニ関スル研究

五 暖爐備付ニ関スル事項

六 コレヲ予防接種ニ関スル事項

七 雇傭人分配ニ関スル事項

八 代用蹄鉄土定員ニ関スル事項

六兵站會報ニ於テ後宮師團長明十日大同到着ヲ

定先旨通報アリ

兵器關係事項

午前八時ヨリ鍛工場天輪工場ヲ設備スルト共ニ各自動車
ノ修理ヲ實施ス

経理関係事項

一 當分ノ間辭枝以下陳章ノ附スルト、ナリタルヲ以テ支那
恣ニ依頼シ將章一、二、三ノ製作ニ着手セシム

一 便所ノ假設備、井戸ノ清掃前日ニ同シ
衛生関係事項

一 醫務室内障子紙張り並土間修理、温突上ニ
ンペラ配置

一 コレヲ豫防接種受領

一 患者用厠ノ作製開始

一 衛生旬報並患者旬報提出

一 村上中尉編成會報提出

獸醫關係事項

- 一 自午前十時 川本 隊血防疫部へ檢血依頼ス
- 二 自午前七時 至午後六時 日馬ノ改裝ヲ實施ス
- 三 自午後一時 陣營具、營繕關係整備ヲ實施ス
- 四 自午後四時 編成會報

十月十五日

第八日

一般事項

- 一 午前七時 椎橋中佐宛 釜山發列車及奉天驛氣付トシ
- 左記ノ如ク電報ヲ發信ス
- 奉天、承德間ノ飛行機塔乗ニ付キ奉天特務機關ニ
- 連絡セラレ度 當方ヨリ請承セヨリ
- 荷物ハ飛行場ニ連絡ノ上 殘餘ノモノハ承德迄汽車

便ニモラレ度シ留守隊ニ命ニ下リ

六午前八時五分在張家口旅團司令部宮采參謀ヨリ當隊

照會ニ對シ左記ノ如ク回答アリ

一不足馬匹及車輛ハ進テ交付セラル

二新編成ハ平時編成ニテノ勅員計畫ニ関シテハ進カリ指

示セラル、予定ナリ

三編成上細部ノ規定ハ之ヲ十日送付ス

六午前九時ヨリ各部隊各部ハ一部在職行動ヲ實施スルト

共ニ編成ニ関スル準備業務ヲ實施ス

四午前十時獨立混成第十一旅團長鈴木中將告別ノ為張

家口ヨリ飛行機ニ依リ大同飛行場ニ来リ直々ニ返還ス

五午前十時少尉杉山大藏ヲ千田部隊ニ到ラシメ編成要

願細則ヲ借用セシメ之カ研究ヲ行フ

六午後三時五分隊長小出龍勇新師團長後宮中將大
同ニ到着ノ為飛行場ニ出迎フ

七午後四時在大同將校全員後宮師團長出迎ヘ及同候
式ヲ行フ為將校全員戰開司令所ニ集合ス

八午後五時五分後宮師團長到着隊長小出龍勇以下全
員同候ヲ行フ

九午後八時承德殘留部隊ニ對シ左記ノ如ク命令ス
承德殘留人馬ハ聯隊長人同到着ノ日ヲ以テ承德ニ
於テ其儘輜重兵第三六聯隊長ノ隸下ニ入ル

兵器關係事項

一 鍛工場設備ヲ實施シ概ニ作業ニ得ル如ク完了ス

二 修理工場ノ設備ヲ行フ

三 部品庫移轉準備ヲ行ヒ概ニ部品庫修理ヲ完

了ス
經理關係事項

一人夫及左官ヲ備役ニ炊事場設備オシドルノ修理ヲ
為ス

六井戸ノ清掃ヲ為ス

七障子紙及壁紙ヲ調辨本部各中隊ヘ交付ス

衛生關係事項

八醫務室窓ノ布張リ並ニ入口戸ノ作製

九建者用廁完製

十防火用水配置

四コレヲ豫防接種第一回實施

五新師團長ノ出迎並伺候式

六左記陣營具ヲ受領ス

獸醫関係事項

- 一 自午前七時至正午 日馬装蹄
 - 二 自午後一時至午後五時 獸醫室整備 電燈配備
 - 三 自午後二時至午後三時 防疫部トノ連絡 (川孝鼻疽件陰性決定)
 - 四 自午後四時 荷馬装蹄準備
 - 五 自午後四時至午後五時 荷馬ノ分配
- | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|-----|
| 糶 | 戸 | 腰 | 兼 | 茶 | コツ |
| 糶 | 糶 | 掛 | 罐 | 金 | ソ |
| 四 | 一 | 六 | 一 | 一 | 五 |
| 茶碗 | 小皿 | 湯呑 | 土瓶 | 洗面器 | 吸穀入 |
| 二 | 一 | 五 | 一 | 四 | 一 |

十月十三日

第九日

一般事項

六午前八時関東軍司令部より関八電ニ八號ヲ以テ内田
曹長赴任ニ関シ左ノ如ク電報アリ

七月十一日関副甲第二四號ニ係ル編成改正ニ伴ヒル

地整備師團ヨリ充足セラレシ付承認相成度

六午前九時。分隊長小出龍勇狀況報告ノ為兵團司令部

出頭ス

狀況報告左ノ如シ

左記

狀況報告

小出部隊

比度戰場ニ於テ當隊ノ隊縮成ヲ下令セラレ一同誠ニ
感激ニ不堪志氣甚々緊張ヲ加シ

以下當隊狀況ヲ報告ス。

一、軍紀風紀

昭和十年二月創設以來軍風紀ニ就キテ特ニ注意ヲ要スヘキコト無シ

一同真摯剛健不撓不屈ノ氣慨ヲ以テ精勵シアリ

二、教育

本年度ノ教育ハ第一期ノ教育ヲ終了シタルノミナルモ今大車事變ノ為行動開始以來行動即教育トスル心得ヲ以テ不斷ノ訓練ニ努メ部隊教育ノ向上ヲ圖ルト共ニ幹部以下ノ教育的監督指導ノ下ニ嚴肅ナル節制ノ保持ニ努メアリ

今々戰場諸般ノ任務ヲ遂行スルニ大ナル支障ナシ然共初年兵ノ特業諸工務兵ノ教育ハ未ダ其緒

ニ就カス將來方法手段ヲ講究スルノ要アリ

3、兵器、經理、衛生、馬事

何レモ順調円滑ニ作戰ニ隨應シ特ニ注意ヲ要スヘキ
コトナシ

4、今次事變ニ於テ部隊行動ノ概況

七月十日東京駐地公使兵團ノ集中輸送ニ次イテ兵
團ノ作戰ニ伴ヒ清河鎮西北迄及轉シテ北園ノ攻撃ニ
参加シ南口、八達嶺間ノ山地ノ攻撃ニ於テハ晝夜連
續ニ週間餘自動車及應用ノ馱載輸送ニ依リ
補給ヲ實施シ同地攻略後直チニ主力ヲ以テ関東
軍司令部直轄トナリ恰モ補給給シト社絶セル條
系兵團ニ協力シ爾後篠原、本多、酒井各兵團ノ
為軍隊軍需品ノ輸送ニ任シ今日ニ到リ目下

張家口ニ自動車一小隊大同ニ馳馬一小隊自動車三
小隊アリ

其間上司ノ指導ト各隊ノ協同ニヨリ大ニ支障
ナク任務ヲ達成シアリテ自隊ノ兵力ヲ以テ戦闘ヲ
受ヘタルコト無ク四ノ反ブルモ未ダ一名ノ犠牲者
ナシ又 行動間軍用ニ自動車ヲ廢棄ニ陥ラシメ
タルコトナシ

一同深ク天祐ヲ感謝シヤリ

ケ 編成實施ニ就キテ

從來ノ如ク作戰行動ヲ實施シツ、編成業務ヲ
遂行スル為業務ノ數期ニ區分シ逐次要領ヲ指
示シ準備ヲ進メアリテ且下級役人馬ノ配當準備
備要員ノ收容準備ノ概示終了シ何時整備

要員カ到着スルニ差支ナキ状態ニ在リ。
 裝備ニ関スル事項並ニ編成後直チニ作戦ニ應入
 ル為修止動員計畫ニ関スル件ニ就キテハ夫レ
 夫レ上司ニ連絡中ナリ。

基幹人員ハ車輛中隊ハ定員ノ約四分ノ一自動
 車中隊ハ定員ノ約三分ノ一ニシテ整備要員
 ノ素質ヲ予想スルニ先ツ直チニ戦場ニ役立ツ
 如ク訓練ノ要アルモノト認ム。

之レヲ要スルニ基幹人員一同ハ一層志氣ヲ振起シ
 從來ノ成果ヲ助長向上シ隊訓練團結ノ樞
 軸トナリ閣下ノ企圖ニ副ハンコトヲ期ス。

十月十七日

小出部隊長 小出龍男

三本部八午前各室ノ温突其他ノ修理ヲ實施スルト共ニ個
室ノ整備ヲ行フ

四午後一時柳澤小隊定期列車ニ依リ大同ニ向フ旨電
報アリ

五午後二時兵團司令部ヨリ編成關係書類ヲ左記ノ如
ク受領ス

左記

軍令陸甲第千四號

滿洲派遣第千六師團編成要領 第壹〇四大號
陸滿機密第三大號

滿洲派遣第千六師團編成要領細則第壹〇四號

六午後四時ニ分兵團高級副官鈴木中佐來隊ス

七午後五時ニ分柳澤小隊及第二年度下士官候補者未因

藤田上等兵汽車輸送ヲ以テ大同ニ到着ス

八、編成ニ関スル會報ヲ實施シ各小隊各部ノ業務進歩

狀況ヲ報告セシメタル後會報ヲ行フ其概要左ノ如シ

一、靴置場ノ設備ハ完了ス

二、新馬、新古馬ノ既當ニ關スル件

三、整備人員ノ火災暴発予防注意ニ關スル事項

四、編成要領細則ノ研究

五、本部員給養實施ニ關スル事項

六、裝備繼承ニ關スル件

書類ヲ以テ委員ニ送納新ニ交付スル如クス

現品受取ハ委員之會スルモノトス

七、携帶糧秣ノ整理交付ニ關スル事項

八、隊隊長到着時ニ於ケル行事ノ決定

午後七時左記書類ヲ受領ス

第三十師團整備ノ點檢整備區分表

滿洲派遣第三十師團編成ニ関スル細部ノ規定

兵器關係事項

午前九時ヨリ乘馬具及輓馬具轡重車並ニ部隊

携行材料ノ檢査ヲ實施ス

各自動車ノ小修理ヲ實施ス

馬具ノ修理品ヲ受領シ修理ヲ實施ス

經理關係事項

一 本部各中隊ヘ押収陣營具ノ分配ヲ為ス

二 事務用消耗品ノ送付方ヲ留守隊ヘ打電ス

三 井戸ノ清掃本日ヲ以テ終了ス

衛生關係事項

一 各室並陣營具消毒

二 陣營具配置並ストーク設置

三 醫務室縮圖提出

四 縮成會報ニ出頭

獸醫關係事項

一 自午前七時至午後五時 荷馬裝蹄

二 自午後一時至午後二時 新古馬及新馬ノ分配

三 自午後三時 戰陣司令部獸醫班ノ事務連絡

四 自午後四時 縮成會報

十月十四日

第十日

一般事項

一 午前九時ヨリ引續キ宿營地ノ敷在理ヲ實現ス

六午前十時辛介兵團長後宮中將、參謀長自銀中佐
 副官中山少佐ヲ帶同宿營地ヲ巡視セラル
 三午後一時ヨリ兵舎内修理設備ヲ實施ス
 四午後四時歸城ニ関スル會報ヲ實施ス

其概要左ノ如シ

- 一 裏門ヲ閉鎖シ營内通路構築スル件
- 二 車廠馬繫場内中隊ニ分配スルノ件
- 三 歩兵團司令部ニ交付スル馬匹ニ関スル件
- 四 中隊兵室構築ニ関スル件
- 五 兵器過不足表提出ニ関スル件
- 六 旅團編成ニ関スル規定ノ研究
- 七 中隊長副官ハ発令前事務取扱トスルノ件
- 八 作戰行動ニ整備人員到着後ニ當令ノ間現編成ヲ

今實施スルノ件

只通譯屋入レシ関スル件

五午後八時。分承德留守隊ニ對シ聯隊長到着ノ有

無及出發日時ヲ照會ス

六午後八時。分兵團司令部ヨリ將校各部將校職

務命課内報ヲ受領ス

七午後十時編成ニ関シ左ノ如ク命令ヲ下達ス

左記

小出部隊命令

十月十四日午後十時
大 同

一 部隊ハ聯隊長ノ到着ノ日ヨリ稚橋部隊ト稱ス

但シ編成業務ニ関シテハ小出部隊命令ニ依ルヘシ

二 基幹人馬ハ聯隊長到着ノ日ヨリ予定ノ如ク新

編成ノ本部中隊ニ編入スヘシ

又産備人及馬夫へ本部直轄トシ別示ス區分後
リ大レ夫レ本部中隊ニ於テ服務スヘシ
徴備自動車ハ雷分左ノ如ク配屬ス

徳田小隊

第三中隊

柳澤小隊

第二中隊

3. 作戰ニ関スル任務ハ雷分從來ノ小隊長ノ指揮下ニ
アリテ遂行スヘシ

4. 隊副官

中尉 勢籟民之助

第一中隊長

大尉 坂牛 哲

第二中隊長

中尉 萩原 國雄

右隊隊長到着ノ日ヨリ別命アル迄頭書ノ事務取
扱ヲ命ス

5. 基幹人馬ニ對テ個人並部隊裝備ハ豫メ準備

セル所ヨリ本部各中隊ニ交付スルモノトス

小出部隊長 小出龍勇

兵器関係事項

午後一時ヨリ乗馬具ヲ第一第二中隊ニ分配ス

自動車修理ヲ毎實施ス

經理関係事項

一時第一中隊兵舎ニ在リシ經理室ハ所定位置ニ移轉

ス

衛生関係事項

新師團長營内巡視

ミゴム印注文

三診療(馬犬)實施ノ為醫務室ニ通譯一名徵傭

ノ件請求

編成會報之出頭

獸醫關係事項

- 一 自午前七時至午後五時 滿馬ノ裝蹄
- 二 自午後一時至午後四時 獸醫部ノ連絡
- 三 自午後四時 編成會報

十月十五日

第十一日

一般事項

- 一 午前八時五分本部内配置ヲ決定シ移轉ヲ實施ス
- 二 午前八時五分承德留守隊ヨリ左記電報ヲ受領ス
 樺橋部隊長八十四日午後八時承德到着十五日午後
 〇時五分出發飛行機ニテ張家口ニ向フ
- 三 午前九時在張家口官承參謀宛左記電報ヲ發送ス

樺橋聯隊長本十五日午後。時予分承德發飛行
機依り張家口ニ向フ宜シク頼ム
張家口出發日時飛行機汽車ノ區分通報相

煩度

四午前上時予分兵團司令部ニ出頭ノ命セラレ隊長小出
龍勇杉山少尉ヲ帶同シ參謀部ニ到リ宿營地配當
ニ関スル命令受領ス

當隊ハ大同北方約六村ノ支那兵營ニ定メラル

五午後一時。分ヨリ隊長小出龍勇杉山少尉ヲ帶同
經理部ニ到リ經理部長以下ノ行フ宿營地設備
事項調査ニ立會ス

六午後四時編成ニ関スル會報ヲ行フ其概要左ノ如シ
兵營ノ配當ハ變更セラルシ特ニ永久性アル設備ヲ

差控ヘルコト

2. 裝備充足ニ関スル件

3. 隊隊長到着日時ニ関スル件

4. 基幹人員中隊分配日時ノ件

5. 柳澤徵備自動車小隊ハ第二中隊ニ當分配

屬スルコトニ定ム

六、午後七時榎橋隊隊長ヨリ左記ノ如ク電報アリ

張家口ヨリノ飛行機ナシ明日汽車ニテ行ク本部隊

長ニモ報告セラル度

兵器関係事項

午前九時ヨリ馬具、車輛及自動車修理ヲ實施ス

經理関係事項

炊事場ノ設備本日完成ス

衛生関係事項

一 警務室ノ整備

二 手洗桶ノ備付

三 関東陸軍倉庫大同出張所ニシテ編成ニ関スル衛生材料照

會

四 編成會報ニ出頭

獸醫関係事項

一 自午前七時至午後五時 満馬ノ装蹄

二 自午前十時至午後三時 馬匹名簿ノ分配整理

三 自午後四時 編成會報

十月十六日

第十一日

一般事項

一、編成改正に伴い將校以下ノ業務分擔及將校以下ノ職員
表ヲ別紙ノ如ク定ム

二、午前十時編成主任者會同ノ為少尉杉山大藏ヲ兵團
司令部ニ出頭セシム

三、以達セラレタル事項在ノ如シ

一、十月五日職務命課内報ノ通り命課セシム

二、不足馬匹ハ十月廿日迄ハ兵團大同底ヲ交付セシム

三、歩兵團司令部ハ本月十六日大同ニ移動ス

四、歩兵第十旅隊ノ編成ハ大同ニ於テ實施スル如ク上
申中、但シ一ヶ大隊ハ張家口ニ於テ編成ス

五、基礎編成完結ト共ニ編成ノ概要ヲ報告スルヲト

六、陸軍大臣配屬者ハ十月十八日迄ハ張家口ニ到着
スル如ク命令シアリ

スル如ク命令シアリ

久新旧部隊長業務轉換ノ時機ハ嚴密ニ解釋セ
 ハ編成完結迄旧部隊長ナルモ兵籍記載事項其
 他ノ關係上各隊毎ニ新部隊長到着セハ西部隊
 長協定ノ上業務轉換ヲスルモノトス

但シ編成業務ハ編成擔任官ノ責任トス

又通信隊配屬人馬ノ整理ハ通信隊基礎編成完結
 日タル十月十日トス

又將來承徳殘置人馬物件ハ迄及セシメ承徳トハ絶
 縁スル事ヲ考慮シ必要ナル人員ハ當方ニ招致スル
 下

但シ兵力ヲ甚タシク減少セサルコト

ハ承徳殘置人員ハ軍司令官ノ認可アルニアラサレハ
 自由ニ出來得サルモ當方ニ於テ自由ニ處理シ得ル

如ク目下上申中

但シ必要ナクモノハ兵團司令部ニ上申シ引上ラ可
ナリ

11. 初年兵教育ハ現在地ニ於テ行フ如ク意見具申
中

12. 伍長勤務ハ十月五日附伍長勤務ヲ免ス

下士官候補者モ同様トス

13. 徴傭自動車ハ逐次整理セラルル予定

雑件

1. 鈴木中尉ハ張家口出發ニ當リ特ニ各任ニ宜シクトノ
傳言アリ

聯隊本部將校業務分担表

昭和三年六月
樫橋部隊

分担業務	主任者	副任者
一 作戦 二 教育 三 内務 四 其他全般に關する事項 本部の統制	小出少佐	
一 庶務 二 情報 三 兵器	勢籾中尉	杉山少尉
一 作戦 二 教育 三 兵器 四 機密圖書	杉山少尉	勢籾中尉
經理、衛生、馬事、功績 動員に關する分担は從來 同シ		

備考
 一 兵器業務に關するは左ノ如ク實施スルモノトス
 勢籾中尉ハ十月十六日以前ノ業務ノ處理、兵器に關スル經理諸般ノ處理ヲ担任スルモノトス
 杉山少尉ハ十月七日以降新受領交付スルモノノ處理ヲ担任スルモノトス
 勢籾中尉ノ處理終了後全般に就テ業務ヲ繼承スルモノトス
 兵器に關スル諸計畫等ハ當分兩者連帶スルモノトス

聯隊本部書記喇以長業務分担表

昭和六六年
推橋部隊

分担業務	主任者	副任者
一、全般庶務 二、人事、叙任、叙勲 三、日々命令 四、會報 五、榮翰來翰受付整理 六、陣中日誌、戰鬥詳報 七、儀禮 八、備人、商人關係事項 九、通報、報告 十、人馬異動錄 十一、警戒 十二、宿營給養 十三、兵籍、戰時名簿 十四、兵取締 十五、淨書、校正、印刷 十六、本表ニ示サレテ事項	三馬軍曹 佐藤伍長	森田軍曹
一、作戦 二、教育 三、淨書、校正、印刷	森田軍曹 喇以長	三馬軍曹
一、備付諸物品以監守 二、營繕 三、消耗品 四、淨書、校正、印刷	佐藤伍長	三馬軍曹
一、郵便、電報 二、官報 三、淨書、校正、印刷	喇以長	佐藤伍長
一、臨時業務 二、三馬軍曹主任トナリ協力實施スルモノトス		

三、午後五時五分大同驛着列車ニテ聯隊長椎橋流ニ着任ス
 將校全員大同驛ニ出迎テ
 四、聯隊長椎橋中佐到着後ニ於ケル行事凡ノ如シ

一、同候式

二、狀況報告

三、基幹人員ノ分配

四、小出部隊長訓示

五、椎橋部隊長訓示

六、准士官下士官申告

夕會食

五、午後七時宿營地配當ニ関シ副官勢笠祺民之助少尉杉山
 大藏參謀長ノ許ニ出頭シ宿營地ノ配當ヲ受ク決定案ト
 シテ現位置(大同北門外東側支那兵營)ヲ示セル

兵器関係事項

一 午前九時ヨリ輜重鞍馬具及輜重車輛並ニ部隊準行器材ヲ第一第二中隊ニ分配ス

二 午後二時ヨリ後宮部隊兵器部ニ於テ新編成ニ関シ合同會報ヲ實施シ曹長佐藤隆章ヲ出席セシメ新編成ニ関シ各隊兵器過不足及兵器平入用材料並ニ各隊兵器関係ノ連絡質問事項ノ研究ヲ了ス

三 自動車ノ修理整備ヲ行フ

經理関係事項

一 聯隊長本日到着豫定ニ付寢具トシテ毛布ヲ関東倉庫大同出張所ヨリ補給ヲ受ク

二 午後五時聯隊長ヲ大同驛ニ出迎フ

衛生関係事項

一、健康簿ヲ作製ス

二、應召衛生兵教育計画表ノ調製

三、塵取ノ作製

獸醫関係事項

一、午前七時ヨリ午前十時迄満馬ノ装蹄

二、午前十時ヨリ午前十時迄兵團獸醫部ニ連絡

三、午前十一時ヨリ正午迄通信隊ト連絡

四、午後一時ヨリ午後三時迄獸醫室及附近ノ清潔検査

五、午後四時兩中隊ニ馬匹名簿ヲ交付

六、午後四時ヨリ午後四時三十分通信隊馬四十五頭満人

馬夫十四名受領ス

十月十七日

第十三日

一般事項

一、午後二時ヨリ聯隊長推橋中佐宿營地内ヲ巡視シ
 參謀長ノ要示ニ依ル共營設備ニ関スル工事計畫ヲ立
 案ス

二、本十七日聯隊長着任ニ依リ基礎編成ヲ完結シ
 編成ノ概要ヲ兵團司令部ニ報告ス

三、整備要員補備教育ニ関シ左記ノ如ク指示ス
 整備要員補備教育ニ關スル指示

方針

- 一、諸般ノ業務ヲ訓練第一主義ニ歸納シ且團結ヲ鞏
 固ニシ軍紀ヲ確立ス
- 二、即日ノ戦闘ニ應スル如ク速ニ喫緊ノ要項ヲ補備徹底
 シ爾後逐次指揮並ニ技能ノ向上ヲ圖ル

要則

一精神教育ハ實踐的精神力ヲ涵養ラントス

特ニ不屈不撓困難ヲ打破シテ任務ヲ遂行スルノ氣概

ノ養成ニ努ムヘシ

ニ要員ヲ把握シ之カ深刻ナル徹底ヲ圖リ特ニ戰場ニ

於テ臨機ノ處置ニ適應シ得ルノ能力ノ附與ニ努ムヘシ

三上官ハ常ニ教育愛ヲ以テ部下ニ臨ミ部隊ヲシテ絶

ヘシ嚴肅ナル節制アラシメ指揮官中心ノ團結ヲ確

立スヘシ

四作戰行動中ト雖モ適時教育ヲ施シ決シテ放漫粗

雑ニ溺ラシメタルヲ要ス

五補備教育(初期)ノ重点在リ如シ

一、警戒搜索戰鬥ニ関スル要点

二、行軍宿營、要領中經驗ニ基ク要点

3. 経験ニ基テ補給業務ノ専攻
 4. 特業工務兵各部兵ノ技能向上戰場勤務要領
 要領
 1. 初期ニ週間ノ教育ハ凡ソ如ク實施スヘシ

考 備	第一週	第二週	週 別
特業工務兵ノ教育ハ第二週ニ於テ實施スルニ 但シ立手ノ個人技術ノ補備ハ各工長ノ担任トシ修理班ノ陣 中勤務ハ杉山少尉ノ担任トス	一 行軍痛管ノ専攻 一 補給業務ノ専攻 一 射撃	一 警戒 一 搜索 一 敵断 一 射撃 一 乘馬教練	車輛中隊
	一 全上	一 全上 自動車隊存取扱上ノ専攻及操縦上ノ注意	自動車中隊

二第三週以後ノ教育ハ別ニ指示スルモ行動間ニ於テモ絶ヘズ

教育ヲ續行シ放漫粗雑ニ陥ルヘカラス

三幹部教育ハ聯隊並ニ中隊ニ於テ實施シ聯隊ニ於テ行
フ教育ハ聯隊長ノ意圖ノ指示ヲ主トシ中隊ニ於テハ
指揮官以下ニ其ノ普及徹底ヲ圖ルヘシ

聯隊教育ノ時機ハ其都度指示ス

四各中隊及其他教育担任者ハ教育開始前概略ノ
計畫ヲ報告スヘシ

兵器関係事項

一午前十時自動車工場及彈藥庫燃料倉庫ノ増設研

究ヲ實施ス

二兵器過不足表及手入材料ノ請求増加裝備兵器請求
書提出ス

三自動車、修理ヲ實施ス

經理關係事項

一當隊現在居住セル建物ニ對シ編成改正後ニ於ケル建物
使用区分及新ニ假設備事項調査ノ為午後三時三十分
ヨリ聯隊長ニ隨行調査約四十分ニシテ終了ス

衛生關係事項

一村上中尉ハ編成改正衛生材料不足ニ關スル連絡ヲタメ
兵團軍醫部ニ到リ打合せヲナス

十月十八日

第十四日

一般事項

一午前整備要員收容ニ關スル設備並ニ整備要員教育
ニ關スル準備ヲ行フ
二午後三時第三中隊長中尉寺田豊著任ス

同時軍司令部及後宮兵團司令部ニ陸軍大臣配屬者
著任報告ヲ提出ス

三森澤部隊ヨリ當隊要員屬生下士官八十員ハルピン
屬生下士官候補者教育終了原隊ニ復歸シ南隊ニ派遣
スル旨通牒アリ

兵器関係事項

二午前九時定数彈藥ノ過不足表ヲ提出ス

又自動車ノ修理部品ノ整理ヲ實施ス

經理関係事項

一 新編成ニ對シ本部各中隊ニ要スル事務用品將耗品ヲ
聞東陸軍倉庫承德支庫大同出張所ヨリ補給ヲ受ク
ニ 備兵所採煖用燃料トシテ右出張所ヨリ不炭八百石補
給受ス

三 後宮部 經理部ニ召集ヲ命ゼラレ 備成規定第十八條
ノ被服ヲ除キ外 準備ハ爾東軍日令官ニ於テ準備交
付セラレ 笠ナルヲ改メラレ 各隊所要數 調書提出ニ
依リ 準備交付トナリタル旨ノ指示ヲ度介 行李給養
器具馬匹手入具 縫靴ニ具ノ所要數 調査ニ着手ス

十月十九日

第十五日

一 散事項

一 午前九時 備成ニ牌ヲ戰時諸條規 諸勤務令 過不足
表ヲ提出 及所要地圖ノ請求ヲ行フ

二 午前十時 副官 勢 篠民 土 助 自 銀 參 謀 長ニ 招 致 セラレ
兵團司令部ニ出頭 宿營地ノ配置ヲ度フ

聯隊ハ現在位置(大同北) 旧支那兵營)ノ中央ヲ合シ

西洋部トス

三午後宿舎設備閉シ軍派遣建築班ニ連絡シ現地ニ就
キ計畫ヲ行フ

四午後ニ時縮成ニ伴フ輜重隊輸送機閉希望數量ヲ
元記ノ如ク計畫シ兵團司令部ニ提出ス

縮成改正ニ伴ヒ輜重隊輸送機閉希望數量

甲一A兵團縮成ニ伴ヒ輜重隊ニ出動時次ノ如ク輸送機閉ヲ
整備スルヲ要ス

ノ動物ニ中隊一中隊應及車輛數一八〇輛 計三六〇輛
之、自動車三中隊一中隊應及車輛數 三〇輛 計九〇輛

B平時ニ於テハ自動車約六〇輛増加備付ケルヲ要ス

ニ理由ノ要項

ノ先進輜重ニハ中隊ヲ必要トシ且ニ隨時自動車ヲ使用
シ得ルヲ要ス

と廣範圍ノ作戰遂行ノ爲ノ輸送力トシテ少クモ自動車

ニ中隊ヲ要ス (歩兵大隊基幹、師司令部隊)

3. 先進輜重若クハ軍隊輸送ノ爲自動車ヲ使用スル場合

ニ於テモ後方ニ少クモ自動車一平隊ヲ要ス

4. 各種ノ地形ニ於ケル彈藥糗糧補給ノ爲動物輜重

少クモ中隊ヲ要ス

但シ中隊ハ共同給養兵類一日令ノ輸送力トス

5. 平時増加裝備ヲ要スル理由

1. 輕馬ノ資源ノ關係上急速ノ作戰ニ應ジ難シ

2. 自動車ノ多数ノ徵用ハ現在地附近ニ於テハ絶對ニ

不可能ナリ

3. 出動時最モ急速ノ必要ヲ感スルハ自動車ニシテ初度

備付スル若干ノ費用ヲ要スルモノ爾後ノ維持費ハ

少額 = 正定より以下原數並 = 經濟上是非準備
ヲ要ス

乙 出勤時希望車輛馬匹數

一 自動車	應役車	九ノ
	行李車	二五輛
二 船重車	計	一〇五輛
	應役車	三六〇輛
	行李車	五〇〇輛
	計	八一〇輛
	馬	八三〇頭
	馬	八三〇頭

輸送力算出表

	人	馬	BA	人	馬
♂	70	88			
☆	6	3		412	207
IR3	7704	822	x 1010		5250
K	301	173			
A	1745	1259		466.620 _{kg}	108.6750 _{kg}
P	401	15			
+TL	179	27			
	10406	3027			
x	1010 _{gr}	5250 _{gr}			
	10,510,060 _{gr} kg	10,641,750 _{gr} kg			
	11 種	11 種		1.6 種	= 23 種 6

大行李算人馬ヲ加ヘ 30 種ト概定ス

兵團給養共類ノ命令ノ輸送ニ要スル車輛數

自動車 應役 30 輛
船重車 應役 180 輛

五兵團ハ蔚縣廣靈附近ニ在ル第五師團後方部隊
撤出ノ為一時編成業務ヲ中止ス

十月三十日

第十六日

一般事項

六午前兵舎設備ニ関シ改修増築ニ就キ計畫ヲ立
案ス

六編成ニ伴フ本部及中隊移住書類ノ整備ヲ實
施ス

六午後軍旅選野戦建築班ヨリ兵舎設備ニ関シ來
隊ニ細部設備ニ就キ協定ス

十月三十一日

第十七日

一般事項

一 兵舎設備ニ関シ野戦建築班ヨリ出張隊ニ連絡ノ上
設備ニ着手ス

二 午前十時編成後ニ於ケル輜重隊積載彈藥並ニ
所要車輛ニ就キ過去戰鬥ニ依ル經驗ニ鑑ミ彈藥
積載區分表ヲ別紙ノ如ク立案シ兵團司令部ニ提
出ス

三 午後二時少尉杉山大藏ヲシテ編成後ニ於ケル所要
地圖ニ付兵團司令部ニ連絡セシム

衛生関係事項

一 本日開醫乙第八七四號ニ依ル編成改正衛生材料
第二十六師團軍醫部ヨリ左記ノ如ク受領ス

左記

患者日報用紙調製入

瓦斯治療囊	繃帶囊	醫療囊	担架	品目	數稱	員數
〃	〃	〃	具			
一	四	一	二			
三角巾	吳代副木小	除毒包	瓦斯治療囊丙	品目	數稱	員數
〃	枚	筒	具			
五〇	二〇	七九	四			

十月二十五日

午後一時步兵團司令部ニ乗馬一頭ヲ交付ス

本五日午後一時同師作命甲第一號第三十八師團命

令ヲ以テ編成ヲ完結ス

但シ整備要員ハ未タ充足セズ部隊裝備モ亦充足

シラス

輜重隊彈藥積載區分表

本表ハ清河鎮、南口前半期、後半期ノ戰闘ニ於ケル平均一日
補給彈藥數ヲ基準トシ新編成ノ火砲ノ數ニ比例シテ増加
按配セルモノナリ

歩兵彈薬

彈種	彈数	車輛中隊	自動車中隊
小銃輕機	103680発	18輛	3輛
重擲	1600	10	4
11斤	75600	14	
九二式輕砲	1200	12	2
九二式歩兵砲	960	24	4
四一式山砲	1200	60	10
手榴彈	8400	42	7
計		180	30

1239

砲兵彈薬

彈種	彈数	車輛中隊	自動車中隊
九四山砲	360	10	3
三八(改造)野砲	2400	120	20
十榴	?	42	7
計		180	30

歩 砲 混 載

彈 種	彈 数	車 輛 中 隊	自 動 車 中 隊
小 銃	34560 発	6 輛	} 2 輛
重 擲	640	4	
11 斤	48600	9	} 2
九四式 三七粒 砲	300	3	
九二式 歩兵 砲	240	6	
四一式 山 砲	240	12	2
手 榴 彈	1200	6	1
特 種 彈 藥	?	18	3
<hr/>			
九四式 山 砲 彈	240	12	2
三八式 野 砲	1600	80	13
十 榴	?	24	4
計		180	30

1241

編成ニ関スル意見

一 編成裝備ニ就キテ

重ナル点ヲ挙クレハ左ノ如シ

一 平時自動貨車、定数ヲ約九〇輛トセラレ度

理由

(1) 廣範圍ノ作戰遂行ノ為輸送力トシテ約九〇輛必要アリ

(2) 戦馬ハ資源ノ關係上急速ノ作戰ニ應ジ難シ

(3) 自動車多数、微少ノ作戰地對返ニ於テハ絶対ニ不可能ナリ

(4) 自動車中隊兵教育用トシテ日下、定数ニテハ不充分ナリ

之車輛中隊裝備中乘馬員ハ兵一四名ニ對シ一三ナリ

教育並ニ出勤時、裝備トシテ支障アリ

定数ヲ増加相成度

3 車輛中隊兵用馬匹ハ大部分滴馬ニシテ乘馬教育

上支障アリ

日馬ヲ配當セラル、如ク取計ハレ度

4 自動車中隊兵個人裝備中、拳銃ハ三八式騎銃ニ改

メラレ度

理由

教育及戰時裝備上絶対ニ必要ナリ

ニ編成實施ニ就キテ

重ナル点ヲ挙クルハ左ノ如シ

1 戦闘参加中ノ部隊ノ編成ハ内地又ハ海外後方地帯

ニ於テ基幹部隊人員ヲ除ク編成ヲ完備シテ後方

戦、某時機ニ基幹部隊ト合セシムル如ク取計ハレ度

理由

作战ト編成業務トノ調和上必要ト認ムレハナリ

之整備人員、個人裝備ニ就テハ指示セラレ度シ

理由

元記、如キ事情ニ基キ必要ナレハナリ

元記

個人裝備中拳銃、騎銃何レニ依ルモ可ナルモノアリ
之數地ニ於テハ諸條規ヲ遵守セス
以上、事情ノ為業務遂行上甚ク不便ヲ感ス